



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
- 3. IM-Repositoryについて
 - 3.1. IM-Repositoryとは
 - 3.2. IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧
- 4. 型テンプレート
 - 4.1. 型テンプレート一覧画面
 - 4.1.1. 「型テンプレート一覧」画面を表示する
 - 4.1.2. 型テンプレート一覧の詳細
 - 4.2. カテゴリ
 - 4.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 4.2.2. カテゴリを確認する
 - 4.2.3. カテゴリを編集する
 - 4.3. テンプレート
 - 4.3.1. テンプレートを新規登録する
 - 4.3.2. テンプレートを確認する
 - 4.3.3. テンプレートを編集する
- 5. 辞書項目
 - 5.1. 辞書項目一覧画面
 - 5.1.1. ツリー形式で表示する
 - 5.1.2. リスト形式で表示する
 - 5.2. カテゴリ
 - 5.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 5.2.2. カテゴリを確認する
 - 5.2.3. カテゴリを編集する
 - 5.3. 辞書項目
 - 5.3.1. 辞書項目を新規登録する
 - 5.3.2. 辞書項目を確認する
 - 5.3.3. 辞書項目を編集する
 - 5.4. エイリアス
 - 5.4.1. エイリアスを新規登録する
 - 5.4.2. エイリアスを確認する
 - 5.4.3. エイリアスを編集する
 - 5.5. 辞書項目の制約
- 6. 列挙
 - 6.1. 列挙型一覧画面
 - 6.1.1. 「列挙型一覧」画面を表示する
 - 6.1.2. 列挙型一覧の詳細
 - 6.2. カテゴリ
 - 6.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 6.2.2. カテゴリを確認する
 - 6.2.3. カテゴリを編集する
 - 6.3. 列挙
 - 6.3.1. 列挙を新規登録する
 - 6.3.2. 列挙を確認する
 - 6.3.3. 列挙を編集する

- 7. エンティティ
 - 7.1. エンティティ一覧画面
 - 7.1.1. ツリー形式で表示する
 - 7.1.2. 関連図形式で表示する
 - 7.2. カテゴリ
 - 7.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 7.2.2. カテゴリを確認する
 - 7.2.3. カテゴリを編集する
 - 7.3. エンティティ
 - 7.3.1. エンティティを新規登録する
 - 7.3.2. エンティティを確認する
 - 7.3.3. エンティティを編集する
 - 7.4. エンティティ項目
 - 7.4.1. エンティティ項目を確認する
 - 7.4.2. エンティティ項目を編集する
 - 7.5. 関連項目
 - 7.5.1. 関連項目を新規登録する
 - 7.5.2. 関連項目を確認する
 - 7.5.3. 関連項目を編集する
- 8. 影響範囲
 - 8.1. 影響範囲一覧の確認
 - 8.2. 影響範囲の適用
- 9. タスク
 - 9.1. タスクを確認する
 - 9.1.1. タスク一覧を確認する
 - 9.1.2. タスクを検索する
 - 9.2. タスクを新規追加する
 - 9.3. タスクを処理する
 - 9.3.1. タスクを適用する
 - 9.3.2. タスクを無視する
 - 9.3.3. タスクを削除する
- 10. 履歴
 - 10.1. 履歴一覧
 - 10.1.1. 履歴詳細をツリー形式で表示する
 - 10.1.2. 履歴詳細をリスト形式で表示する
 - 10.2. 差分
 - 10.2.1. 最新の履歴との差分を表示する
 - 10.2.2. 選択した履歴と一つ前の履歴との差分を表示する
 - 10.2.3. 選択した履歴と一つ後の履歴との差分を表示する
 - 10.2.4. 特定の履歴の差分を表示する
- 11. インポート/エクスポート
 - 11.1. インポートを行う
 - 11.1.1. 辞書のインポートを行う
 - 11.1.2. 列挙のインポートを行う
 - 11.1.3. エンティティのインポートを行う
 - 11.2. エクスポートを行う
 - 11.2.1. 辞書のエクスポートを行う
 - 11.2.2. 列挙のエクスポートを行う
 - 11.2.3. エンティティのエクスポートを行う
 - 11.3. ファイルフォーマット (列挙)
 - 11.4. ファイルフォーマット (エンティティ)

変更年月日 変更内容

2017-12-01 初版

2018-04-01 第2版 下記を追加・変更しました。

- 「[カテゴリを新規登録する](#)」にコラムを追加。
- 「[カテゴリを編集する](#)」にコラムを追加。
- 「[辞書項目を新規登録する](#)」にコラムを追加。
- 「[辞書項目を編集する](#)」にコラムを追加。
- 「[エイリアスを新規登録する](#)」にコラムを追加。
- 「[エイリアスを編集する](#)」にコラムを追加。
- 「[インポートを行う](#)」にコラムを追加。
- 「[列挙](#)」を追加

2018-12-01 第3版 下記を追加・変更しました。

- 「[列挙のインポートを行う](#)」を追加
- 「[列挙のエクスポートを行う](#)」を追加

2019-04-01 第4版 下記を追加・変更しました。

- 「[エンティティ](#)」を追加

2021-04-01 第5版 下記を追加・変更しました。

- 「[エンティティのインポートを行う](#)」を追加
 - 「[エンティティのエクスポートを行う](#)」を追加
-

本書の目的

本書は、IM-Repositoryを利用する皆様の支援を目的としたガイドです。

対象読者

本書では次のユーザを対象としています。

- IM-Repositoryの操作方法を知りたい。
- IM-Repositoryの詳細な画面仕様を知りたい。

- IM-Repositoryとは
- IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryとは

IM-Repositoryは、intra-mart Accel Platform上で利用される様々な用語およびそのメタデータを管理できるアプリケーションです。

IM-Repositoryの特徴は以下の通りです。

- アプリケーションが利用する用語の管理
- 用語に対する属性情報（メタデータ）の管理
- 拡張可能な属性情報
- 用語と、その用語を利用しているアプリケーションとの間の依存関係の管理
- 属性情報（メタデータ）の変更に対する影響範囲の算出
- 影響範囲を元としたアプリケーションの修正を行うためのタスク管理

例えば、「ユーザコード」や、「取引先コード」といった用語と共に、論理名、物理名、桁数、データ型、制約といった属性情報（メタデータ）を統合的に管理できます。

また、用語の属性情報を変更した際に、その用語を参照しているものを列挙できます。

例えば、取引先コードの桁数を変更した場合、影響の出るアプリケーションを列挙する、といった事が可能です。

用語の情報はAPIを通じて様々なアプリケーションから参照可能です。

例えば入力チェック等のバリデーション機構に組み込んだり、用語を利用した画面項目の自動生成といった用途に利用できます。

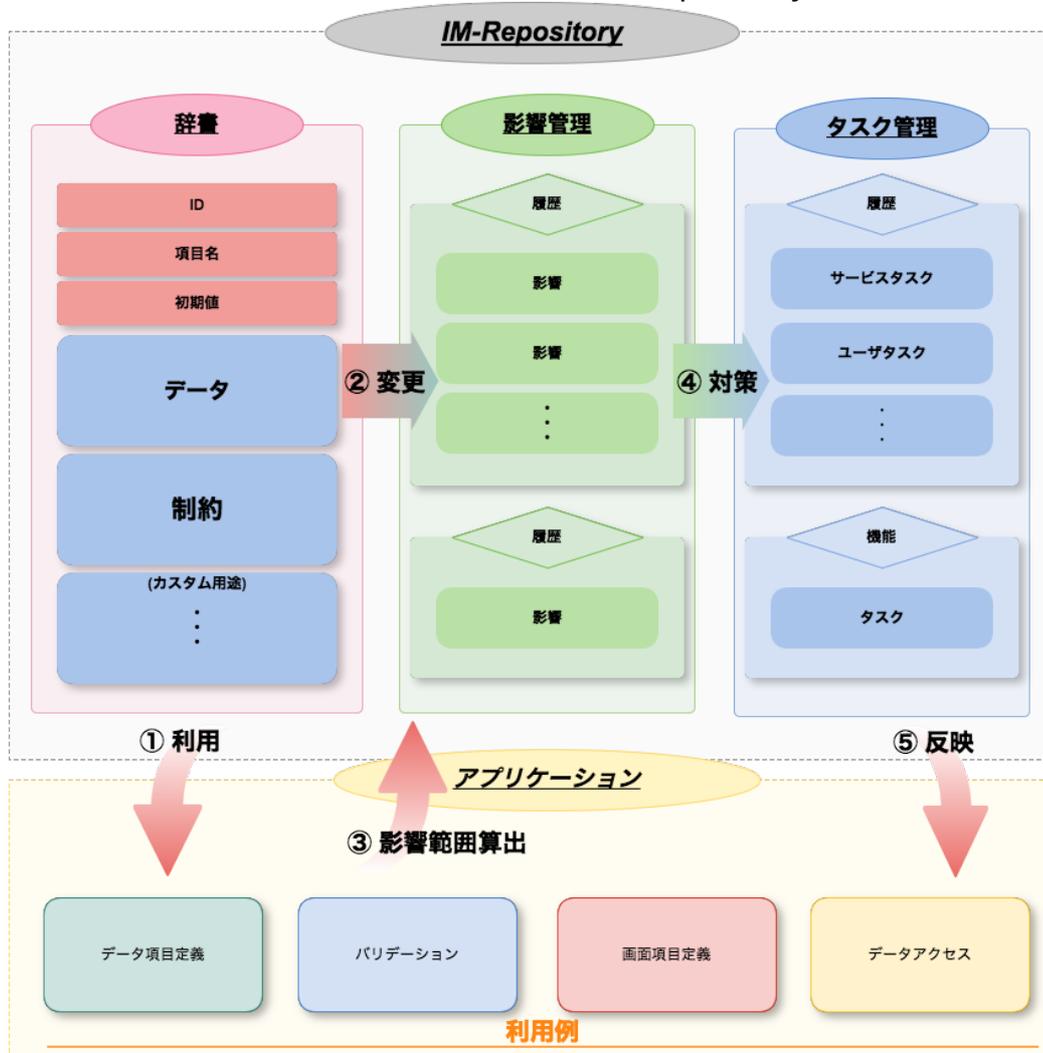
コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

<https://www.intra-mart.jp/download/library/>

IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryの提供する各機能と画面一覧は以下の通りです。



<機能と画面>

機能	対応画面
型テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> 「型テンプレート」 - 「型テンプレート一覧画面」 「型テンプレート」 - 「カテゴリ」 「型テンプレート」 - 「テンプレート」
辞書	<ul style="list-style-type: none"> 「辞書項目」 - 「辞書項目一覧画面」 「辞書項目」 - 「カテゴリ」 「辞書項目」 - 「辞書項目」 「辞書項目」 - 「エイリアス」
列挙	<ul style="list-style-type: none"> 「列挙」 - 「列挙型一覧画面」 「列挙」 - 「カテゴリ」 「列挙」 - 「列挙」
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> 「エンティティ」 - 「エンティティ一覧画面」 「エンティティ」 - 「カテゴリ」 「エンティティ」 - 「エンティティ」 「エンティティ」 - 「エンティティ項目」 「エンティティ」 - 「関連項目」

機能	対応画面
影響範囲	<ul style="list-style-type: none">■ 「影響範囲」
タスク	<ul style="list-style-type: none">■ 「タスク」
履歴	<ul style="list-style-type: none">■ 「履歴」 - 「履歴一覧」■ 「履歴」 - 「差分」
その他 (IM-Repository全般)	<ul style="list-style-type: none">■ 「インポート/エクスポート」

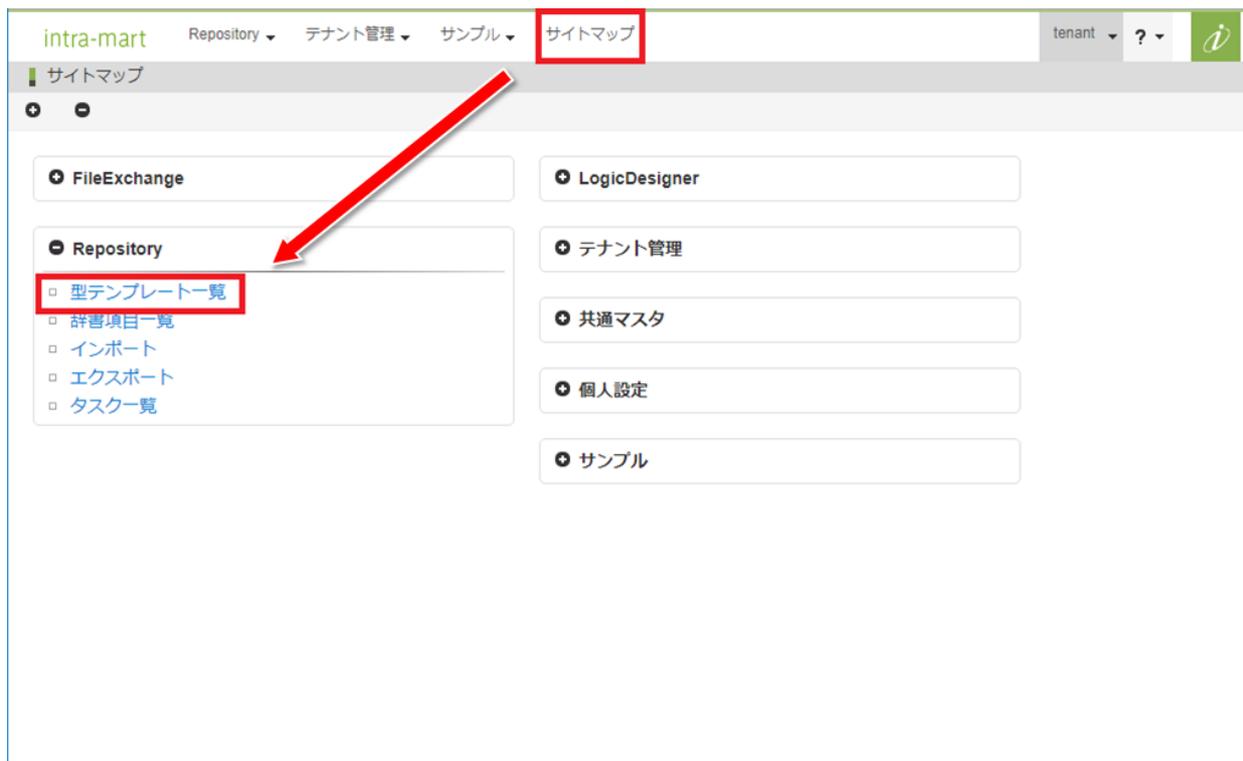
ここではIM-Repositoryで型テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

型テンプレート一覧画面

- 「型テンプレート一覧」画面を表示する
- 型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックします。



2. 「型テンプレート一覧」画面が表示されます。



型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。各ペインの詳細は以下の通りです。



<画面項目>

項目	説明
ツールバー	<p>テンプレート一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> カテゴリ追加 テンプレート一覧ツリーにカテゴリを追加します。 テンプレート追加 テンプレート一覧ツリーにテンプレートを追加します。 「更新」アイコン このページを再読み込みします。

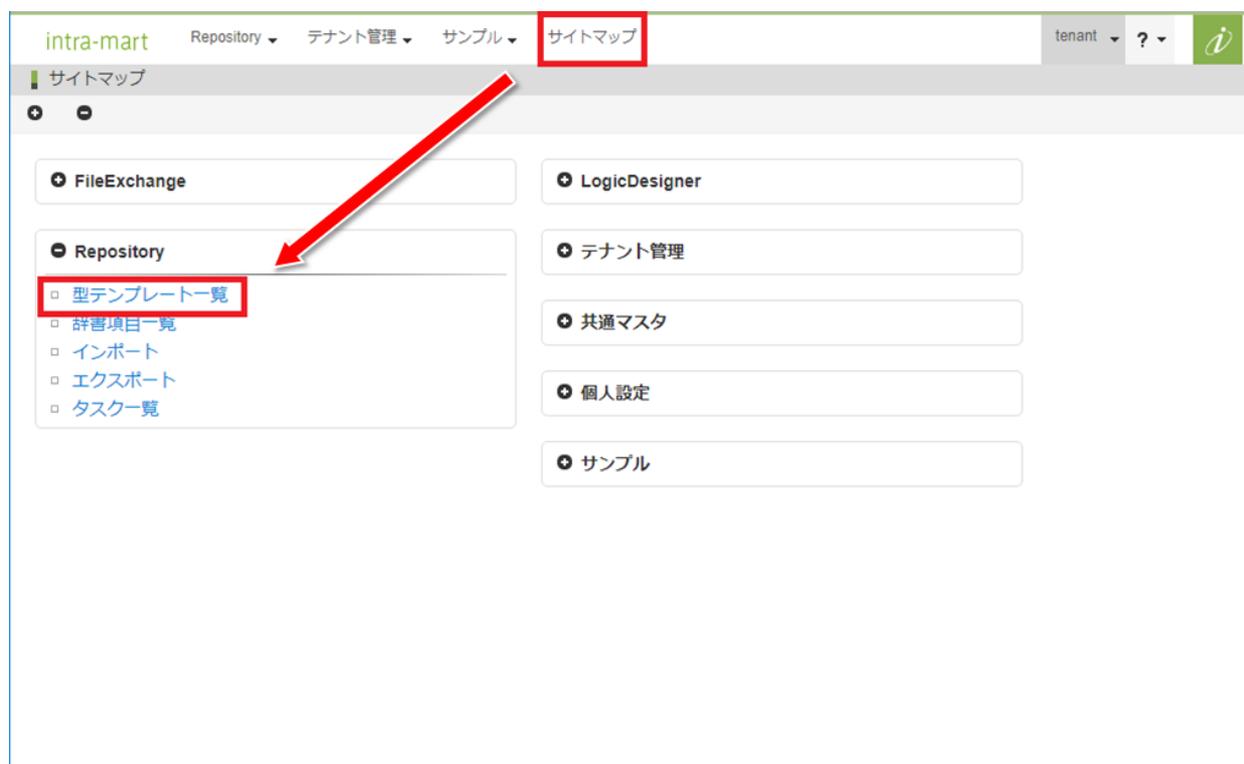
項目	説明
テンプレート一覧ツリー	登録されているテンプレート一覧をツリー形式で表示します。 テンプレート一覧のカテゴリ、または、テンプレートをクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、テンプレートの移動が行えます。
テンプレート情報	選択されたカテゴリ、または、テンプレートの情報を表示します。

カテゴリ

型テンプレートのカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ追加」をクリックします。



4. カテゴリの基本情報が表示されます。

<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

テンプレート一覧

- システム定義
 - TEXT
 - INTEGER
 - LONG
 - BIGINTEGER
 - FLOAT
 - DOUBLE
 - BIGDECIMAL
 - DATE
 - TIME
 - DATETIME
 - BINARY
 - LONGTEXT
 - BOOLEAN
- ユーザ定義
 - 新規カテゴリ

基本情報

型テンプレートID * new_category

型テンプレート名

標準 *	new_category
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和国)	

説明

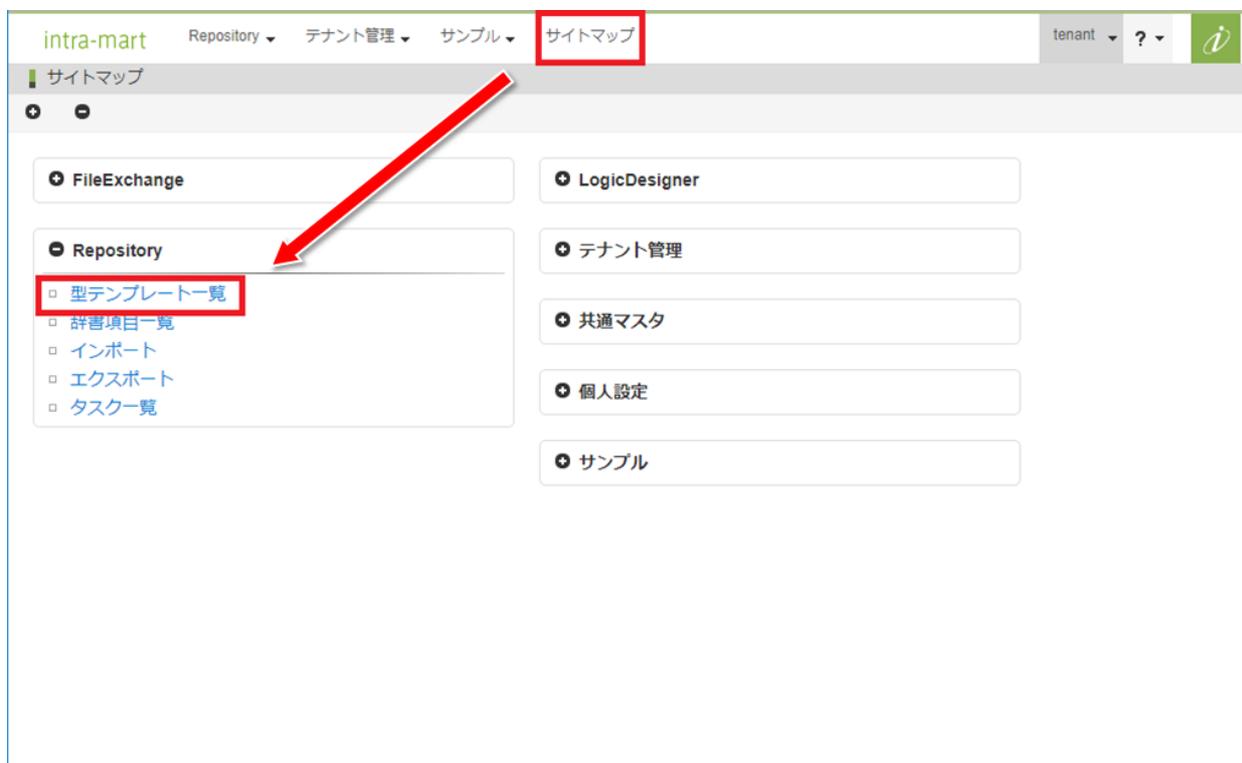
標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和国)	

登録

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



カテゴリを編集する

- カテゴリを更新する
- カテゴリを削除する

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



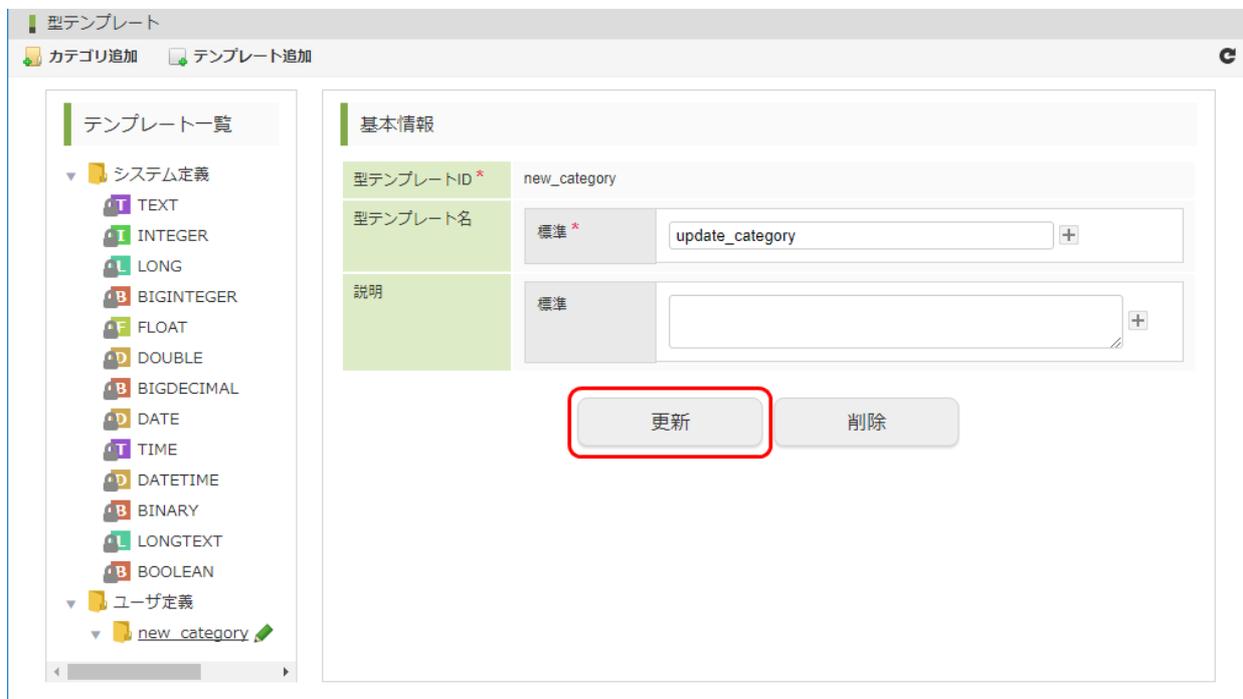
3. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。



5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。



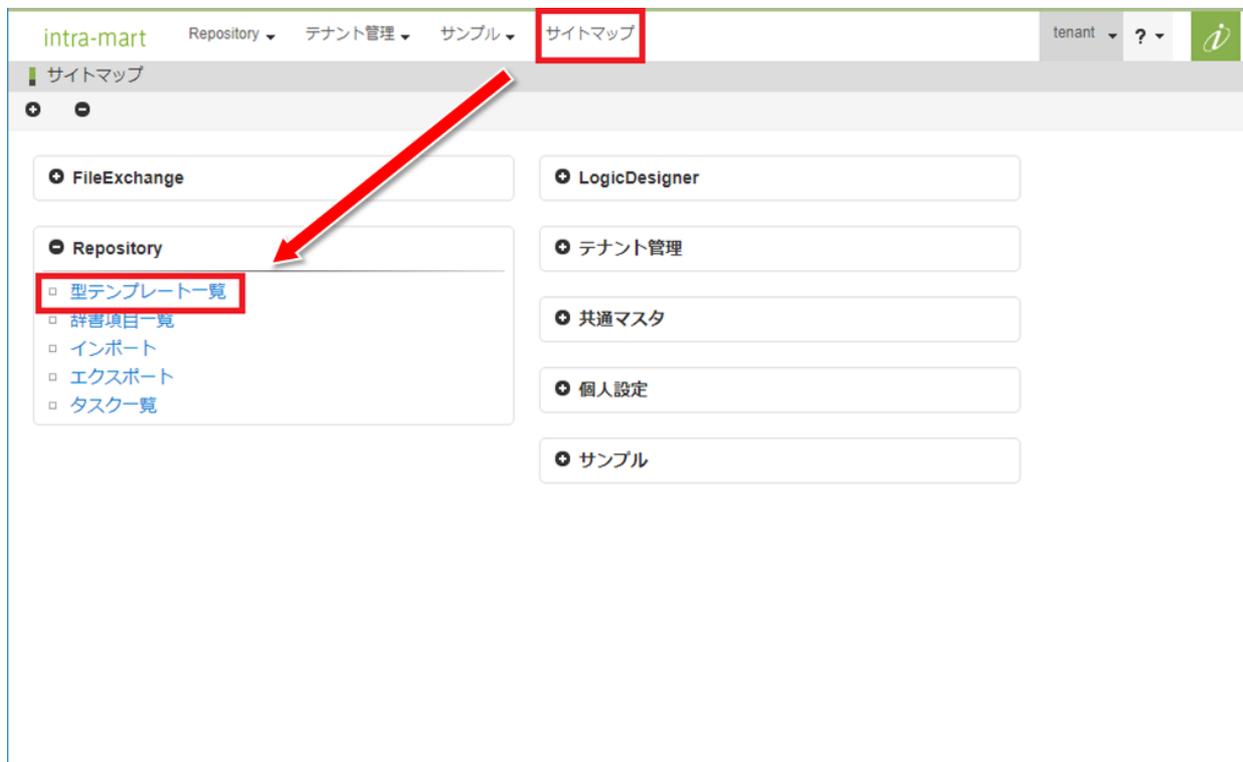
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレート

テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

テンプレートを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーのテンプレートを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「テンプレート追加」をクリックします。



4. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。

型テンプレート
カテゴリ追加 テンプレート追加

テンプレート一覧

- ▼ システム定義
 - TEXT
 - INTEGER
 - LONG
 - BIGINTEGER
 - FLOAT
 - DOUBLE
 - BIGDECIMAL
 - DATE
 - TIME
 - DATETIME
 - BINARY
 - LONGTEXT
 - BOOLEAN
- ▼ ユーザ定義
 - 新規テンプレート

基本情報

型テンプレートID *

型テンプレート名	標準 *	
日本語		<input type="text"/>
英語		<input type="text"/>
中国語 (中華人民共和国)		<input type="text"/>

説明

標準	
日本語	<input type="text"/>
英語	<input type="text"/>
中国語 (中華人民共和国)	<input type="text"/>

データ情報

Java	データ型 *	<input type="text"/>
JavaScript	データ型 *	<input type="text"/>
IM-LogicDesigner	データ型 *	<input type="text"/>
Database	データ型 *	<input type="text"/>
	最大桁数	<input type="text"/>
	小数桁数	<input type="text"/>

<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。

項目	説明
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
Database	データベースの以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「登録」ボタン	型テンプレートを登録します。

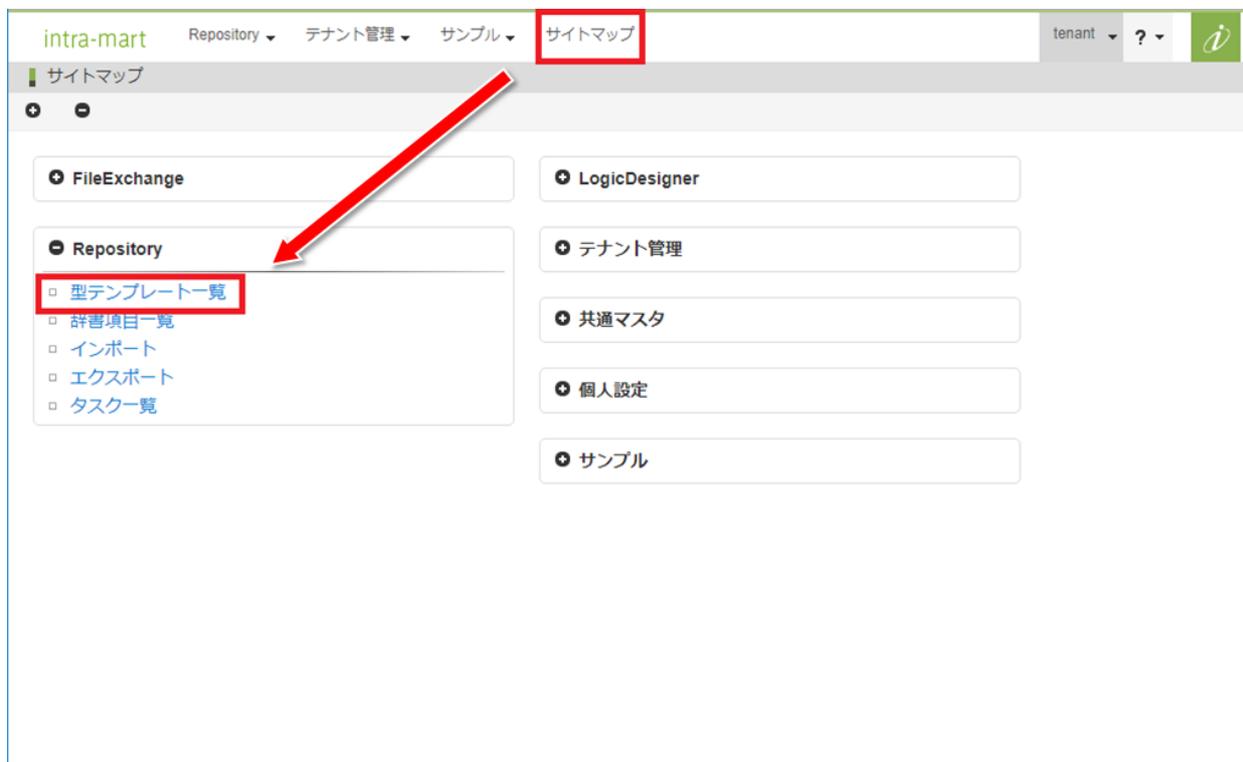
5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for creating a new template. On the left, there is a sidebar with a '新規テンプレート' (New Template) button. The main area is divided into two sections. The top section has two rows for language selection: '英語' (English) and '中国語 (中華人民共和国)' (Chinese (People's Republic of China)), each with an empty text input field. Below this is a section titled 'データ情報' (Data Information). It contains four rows, each representing a different technology: 'Java', 'JavaScript', 'IM-LogicDesigner', and 'Database'. Each row has a 'データ型 *' (Data Type) dropdown menu, all currently set to 'String'. The 'Database' row has three additional fields: '最大桁数' (Maximum Number of Digits), '小数桁数' (Number of Decimal Digits), and an empty text input field. At the bottom right of the form, there is a '登録' (Register) button, which is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレートを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。

型テンプレート

カテゴリ追加 テンプレート追加

テンプレート一覧

- システム定義
 - TEXT
 - INTEGER
 - LONG
 - BIGINTEGER
 - FLOAT
 - DOUBLE
 - BIGDECIMAL
 - DATE
 - TIME
 - DATETIME
 - BINARY
 - LONGTEXT
 - BOOLEAN
- ユーザ定義
 - new template

基本情報

型テンプレートID * new_template

型テンプレート名 標準 * new template +

説明 標準 +

データ情報

Java データ型 * String ▼

JavaScript データ型 * String ▼

IM-LogicDesigner データ型 * String ▼

Database データ型 * 文字列 ▼

最大桁数

小数桁数

更新 削除

テンプレートを編集する

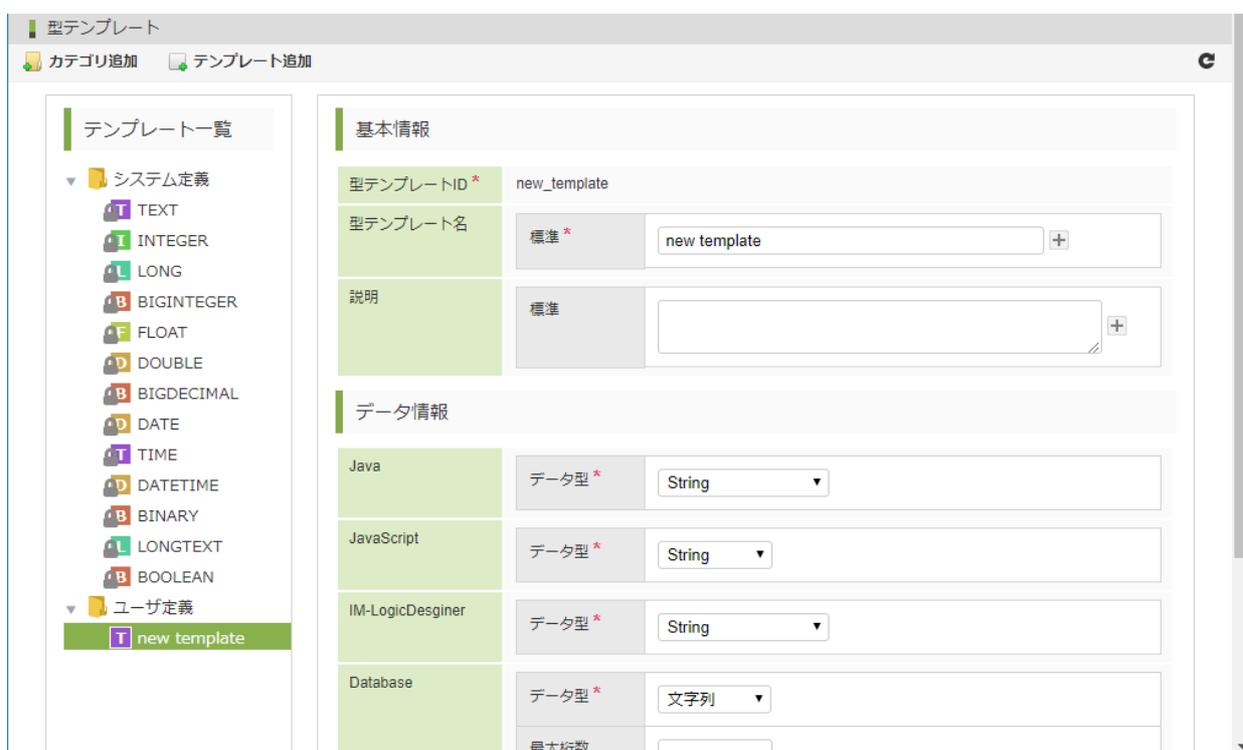
- [テンプレートを更新する](#)
- [テンプレートを削除する](#)

テンプレートを更新する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列が表示されます。 更新時にはこの項目は編集不可です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

項目	説明
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
Database	データベースの以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「更新」ボタン	型テンプレートを更新します。
「削除」ボタン	型テンプレートを削除します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

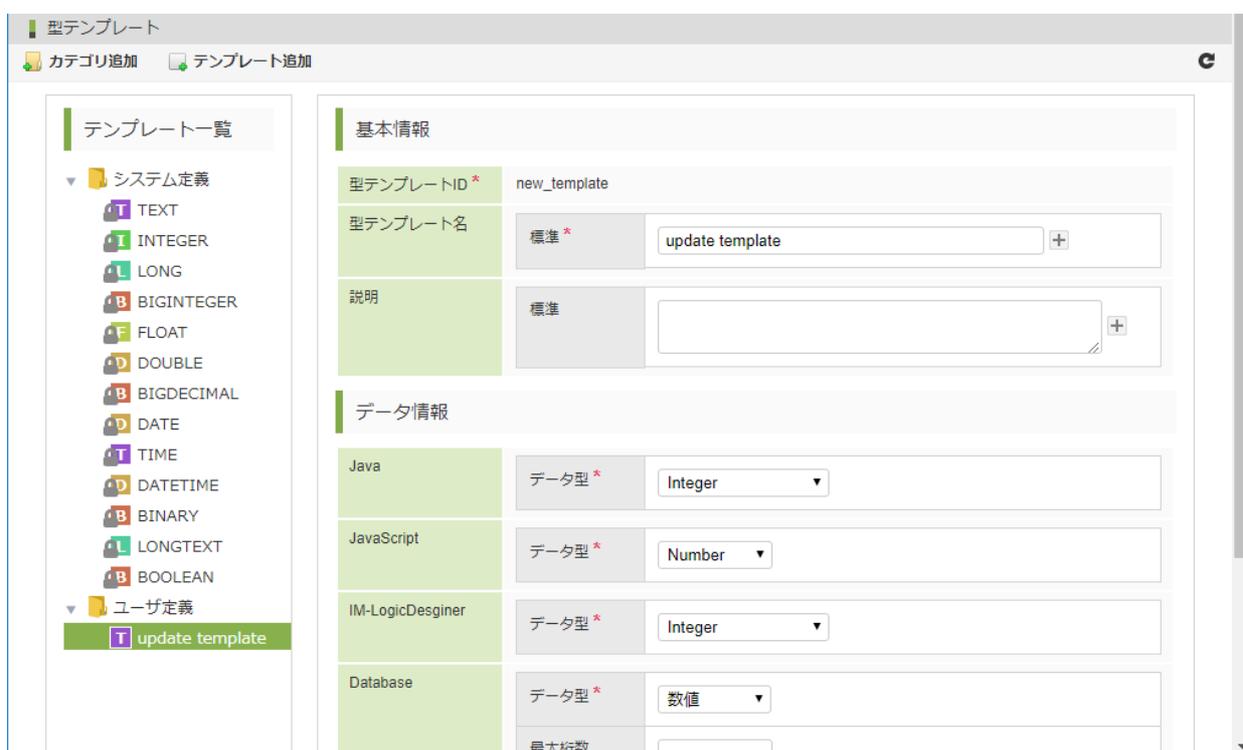
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレートを削除する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧から削除を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



4. 「削除」 ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for managing templates. On the left is a sidebar with a tree view under 'ユーザ定義' (User Definition) containing 'update template'. The main area is a form for editing a template named 'update template'. The form has several sections:

- 型テンプレート名** (Template Name): A text field containing 'update template'.
- 説明** (Description): A text area.
- データ情報** (Data Information): A section with four rows, each for a different language or environment:
 - Java**: Data type is 'Integer'.
 - JavaScript**: Data type is 'Number'.
 - IM-LogicDesigner**: Data type is 'Integer'.
 - Database**: Data type is '数値' (Number), with fields for '最大桁数' (Maximum number of digits) and '小数桁数' (Number of decimal digits).

At the bottom of the form are two buttons: '更新' (Update) and '削除' (Delete). The '削除' button is highlighted with a red rectangular box.

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

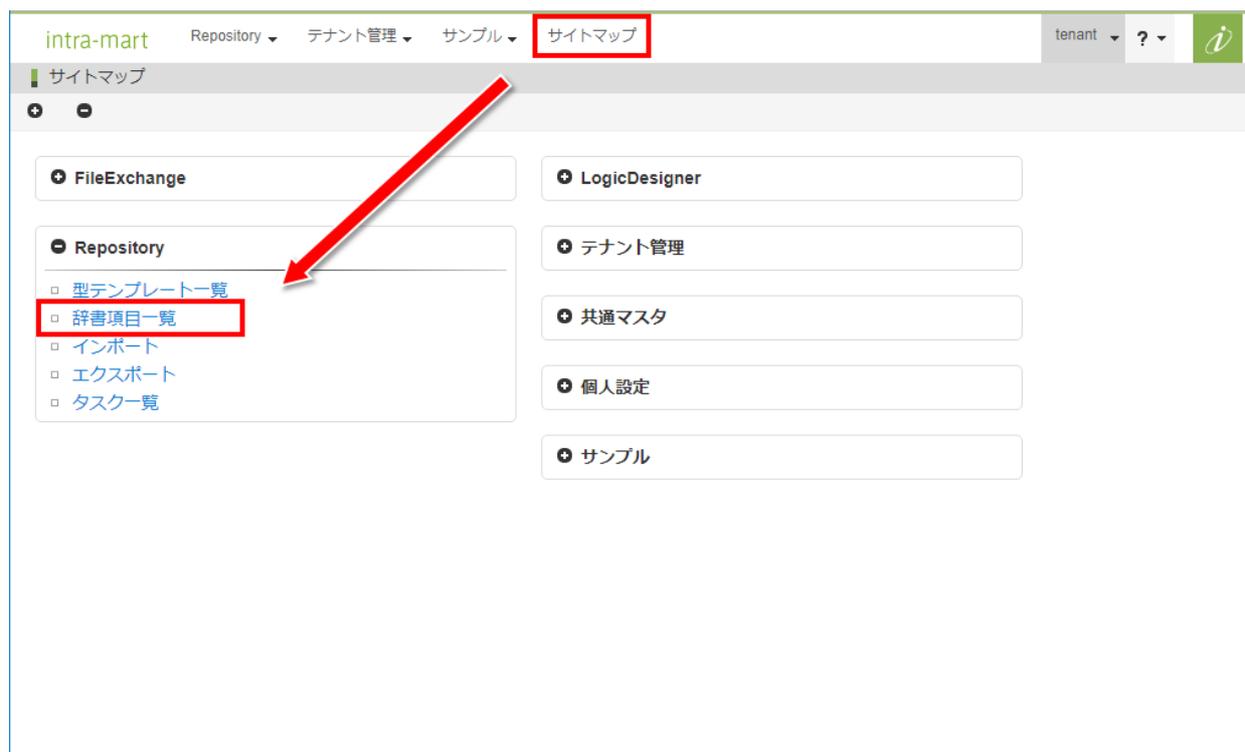
ここではIM-Repositoryで辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目一覧画面

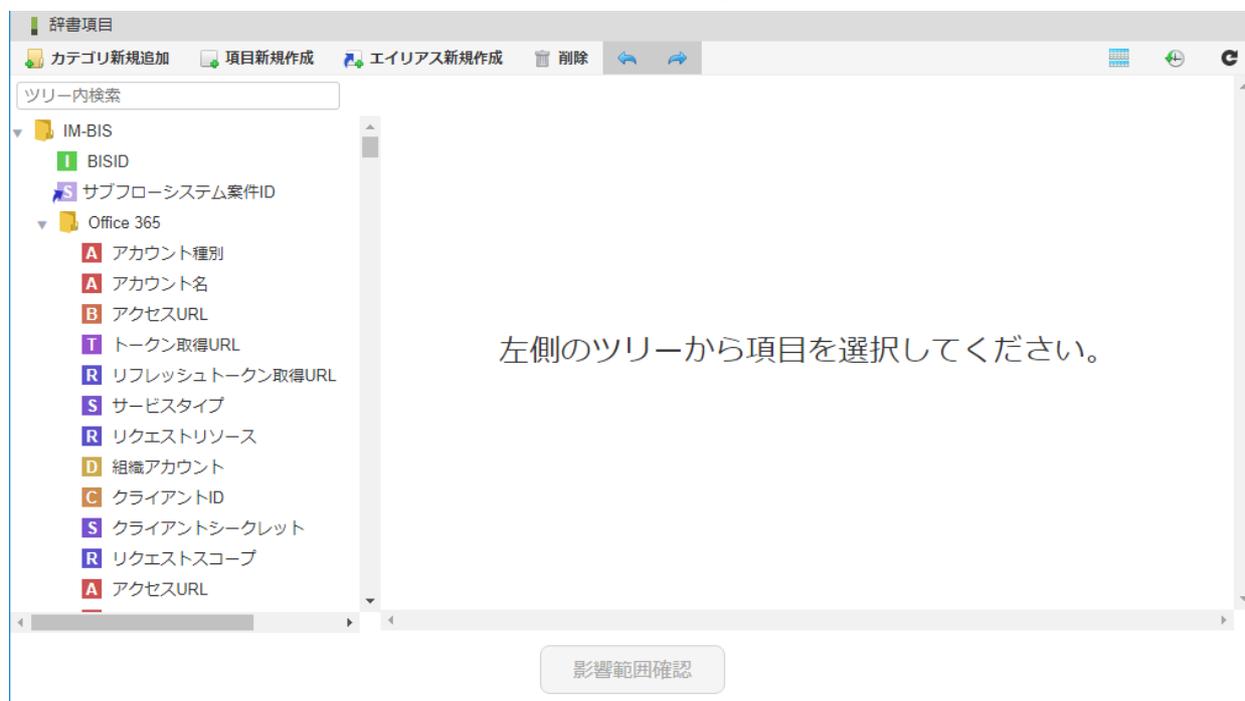
- ツリー形式で表示する
- リスト形式で表示する

ツリー形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツリー形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。



<画面項目>

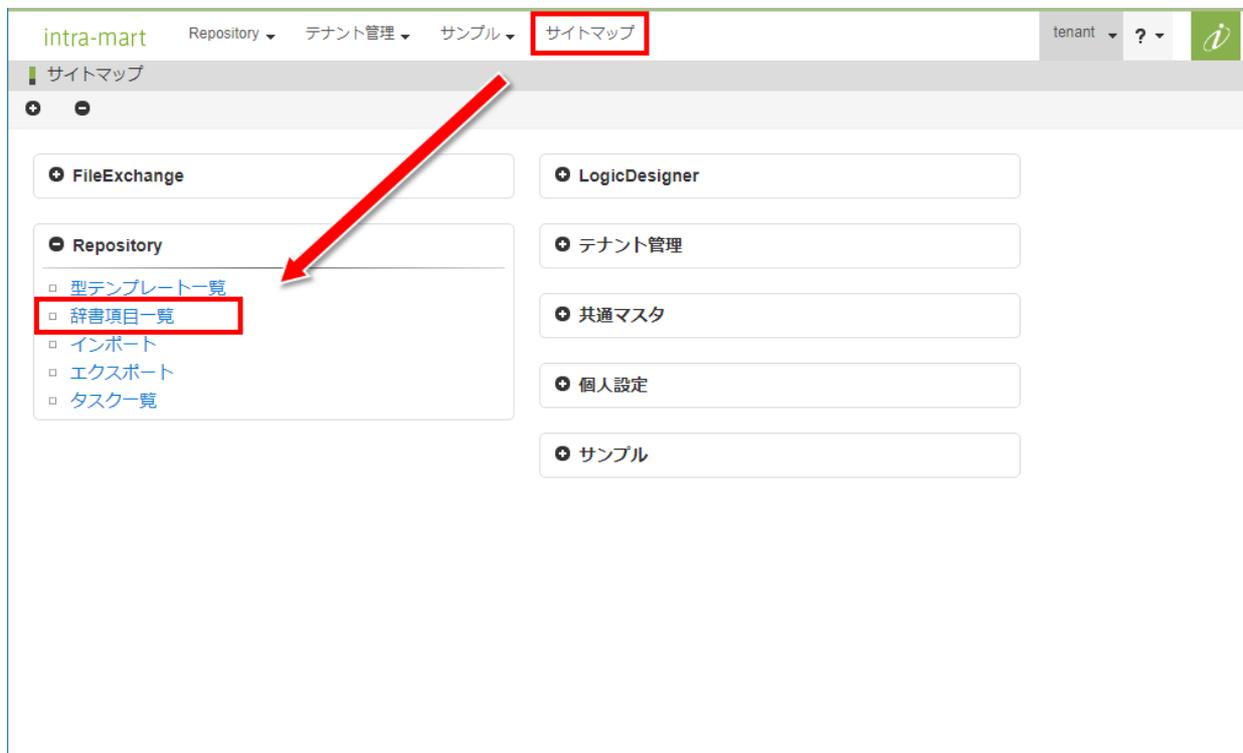
項目	説明
カテゴリ新規追加	項目一覧ツリーにカテゴリを追加します。
項目新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目を追加します。
エイリアス新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目のエイリアスを追加します。
削除	項目一覧ツリーの選択された項目を削除します。
「UNDO」アイコン	1つ前の状態に戻します。
「REDO」アイコン	1つ後の状態に戻します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をリスト形式に変更します。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
項目一覧ツリー	登録されているカテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。
辞書項目	項目一覧ツリーで選択された項目の情報を表示します。
「影響範囲確認」ボタン	「影響範囲確認」画面を表示します。

i コラム

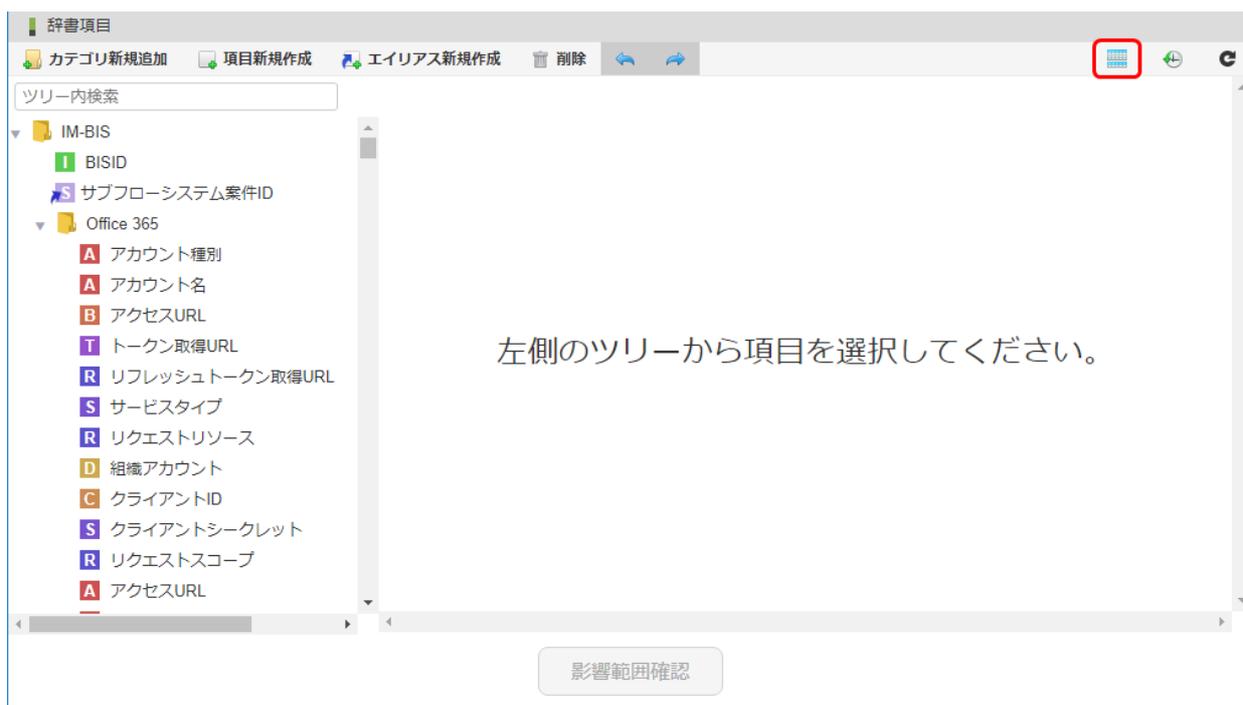
ツリー内検索で絞込を行っている場合には、ドラッグ&ドロップによる移動等を行えません。

リスト形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「表示方式切替」アイコンをクリックします。



3. リスト形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。

表示リスト

- 辞書項目カテゴリ一覧を表示する
- 辞書項目一覧を表示する
- エイリアス一覧を表示する

検索条件

カテゴリ一覧

カテゴリID	カテゴリ名	説明
im_bis	IM-BIS	
im_bis_o365	Office 365	
im_bis_forma	Forma Connect	
im_iap	Accel Platform	
im_module	IM-Juggling	
im_tenant	テナント	
im_tenant_account	アカウント	
im_tenant_license	ライセンス	
im_tenant_shortcut	ショートカット	
im_tenant_role	ロール	
im_tenant_authz	認可	

<画面項目>

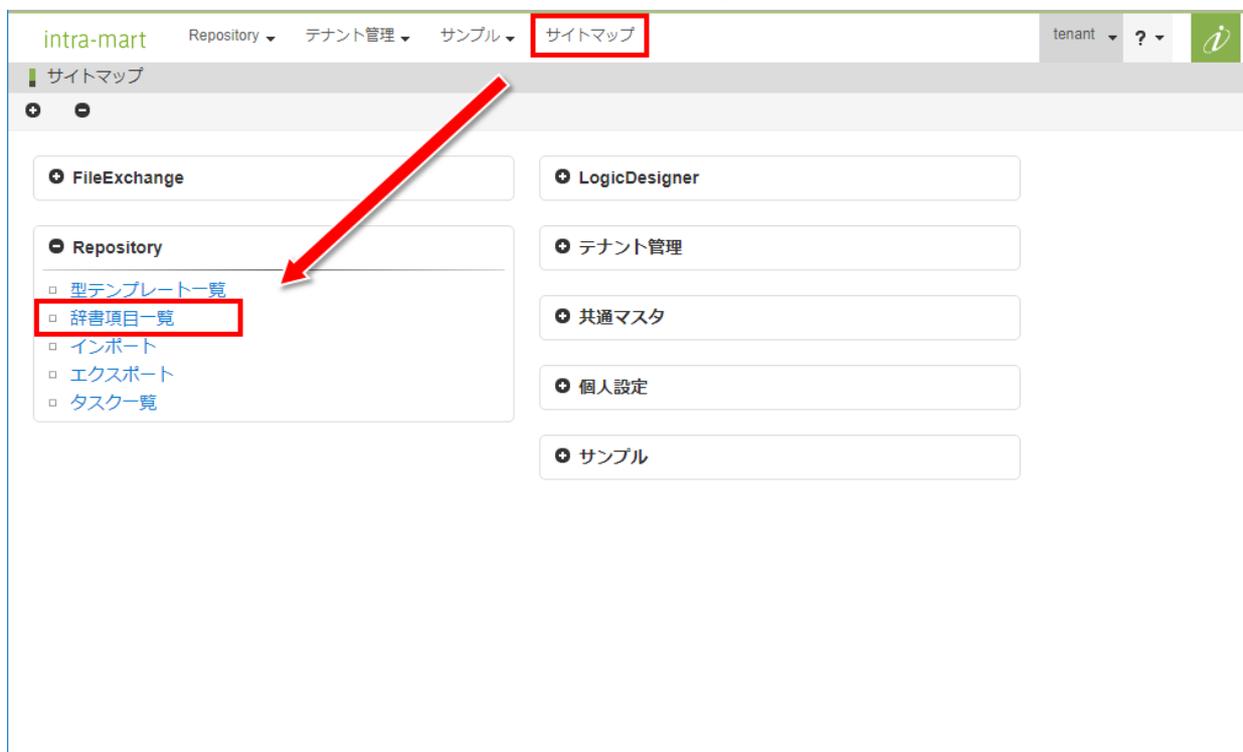
項目	説明
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をツリー形式に変更します。
表示リスト	一覧に表示する項目を選択します。
検索条件	カテゴリ一覧、辞書項目一覧、または、エイリアス一覧のいずれかの要素を表す文字列（の一部）を入力します。
カテゴリ一覧	登録されているカテゴリを表示します。
辞書項目一覧	登録されている辞書項目一覧を表示します。
エイリアス一覧	登録されているエイリアス一覧を表示します。

カテゴリ

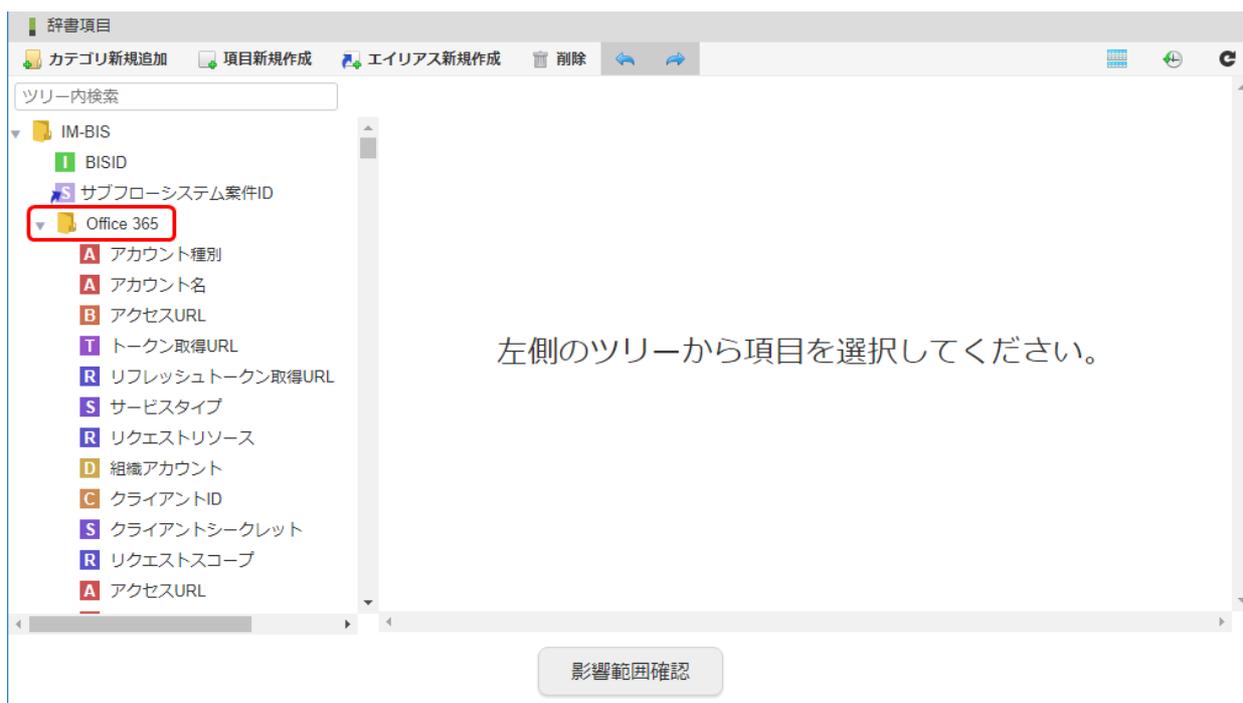
辞書項目のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

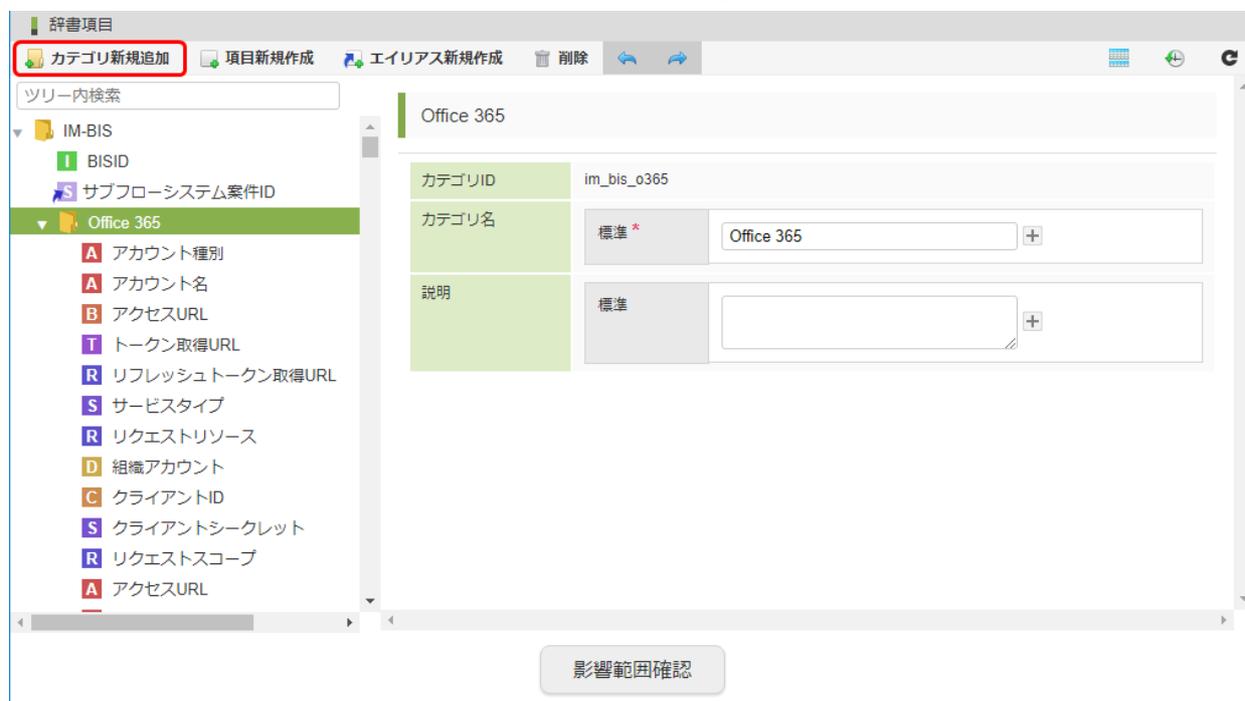
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーで新規カテゴリを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規追加」をクリックします。



4. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

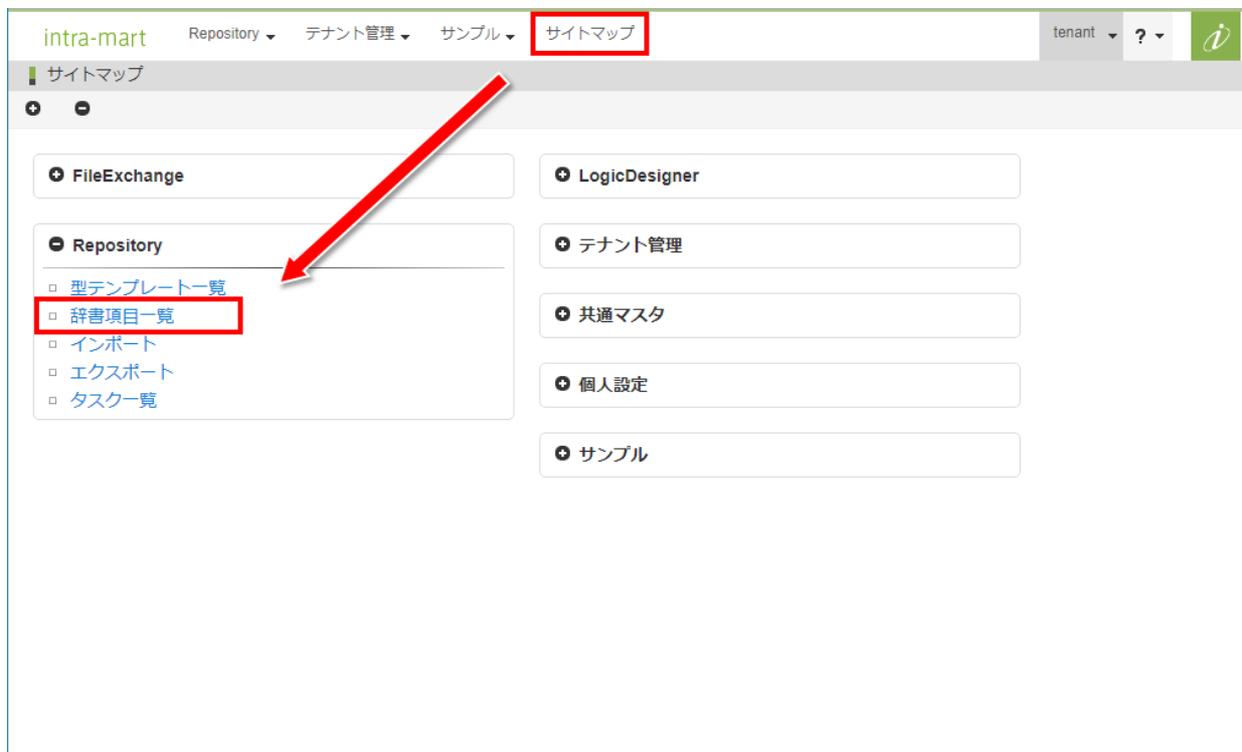
5. 必要項目を入力します。

i コラム

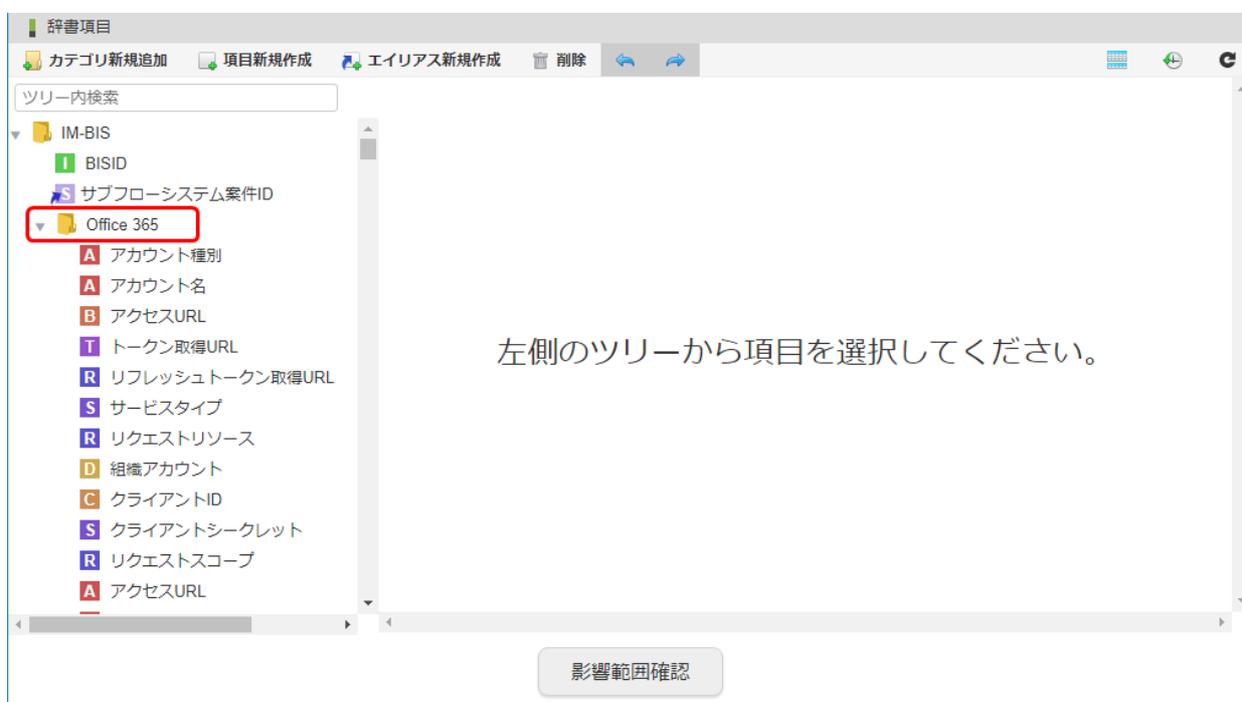
編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。

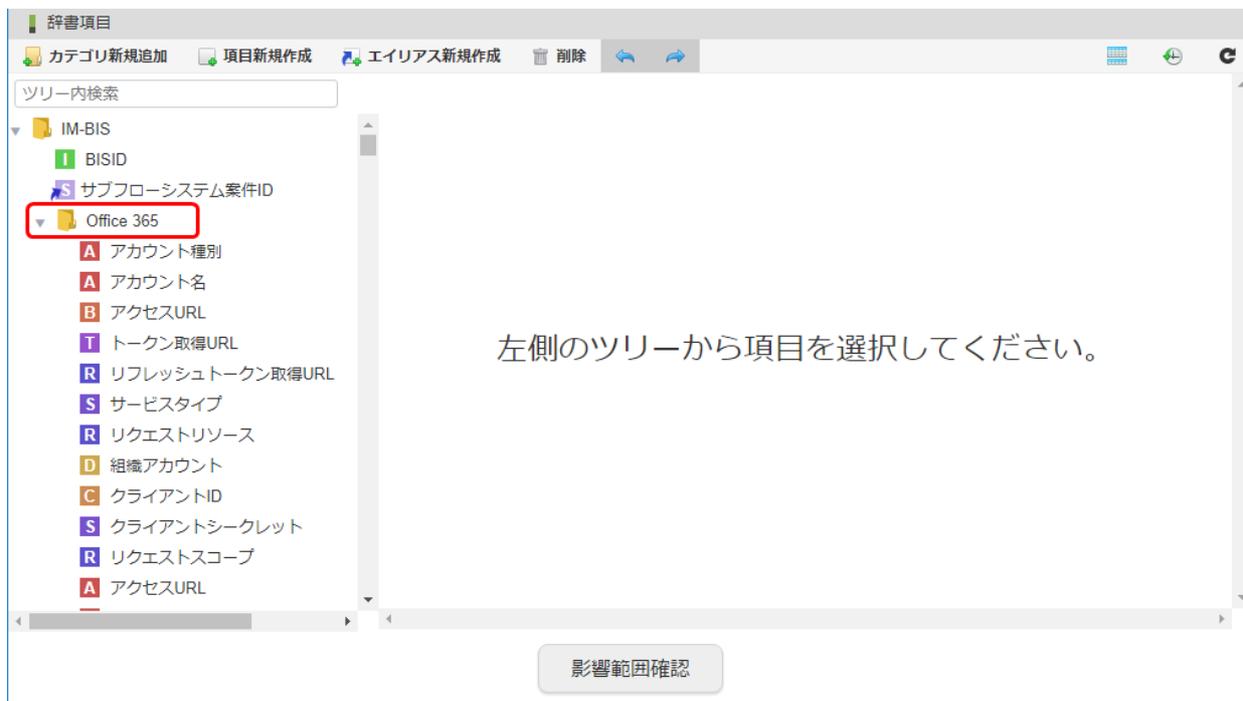


カテゴリを編集する

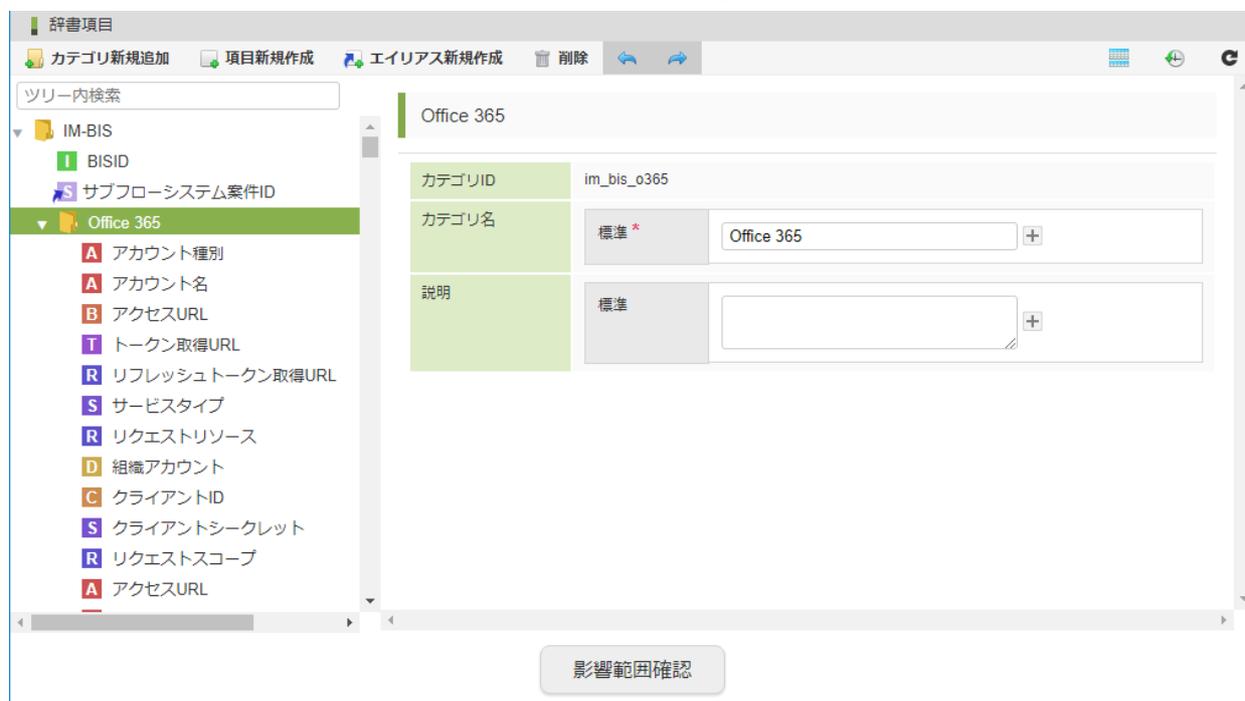
- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



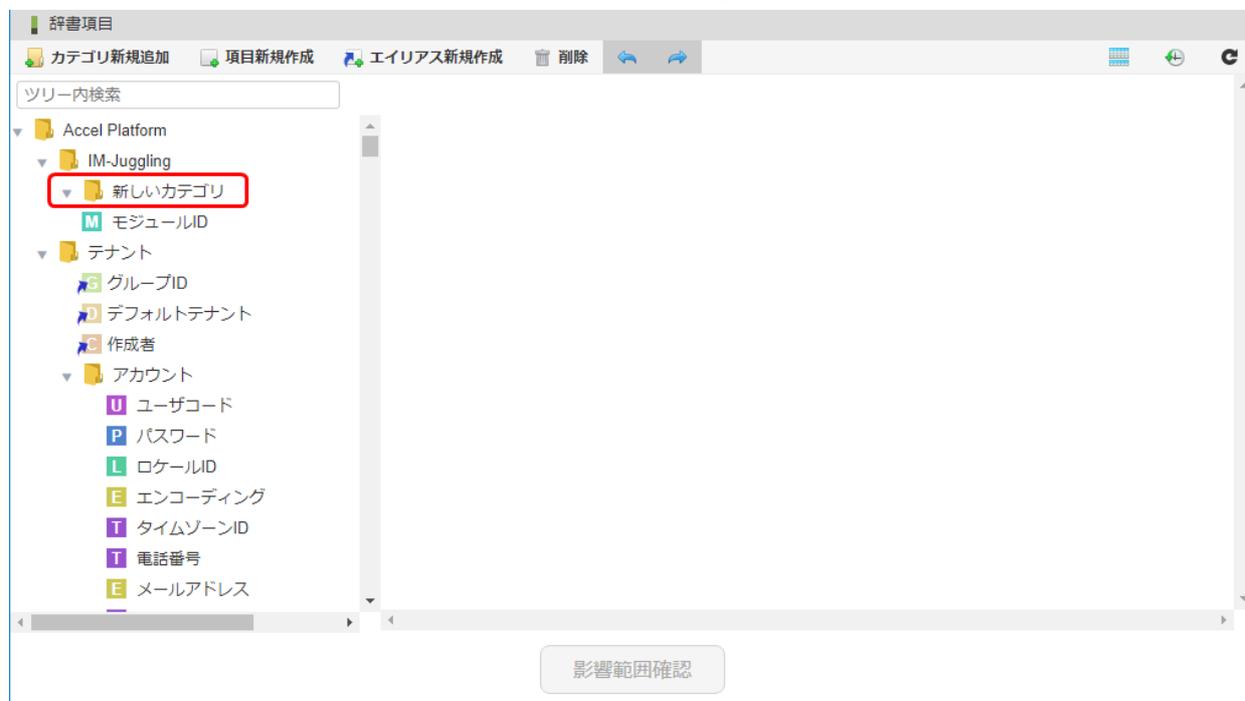
<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力します。

カテゴリを削除する

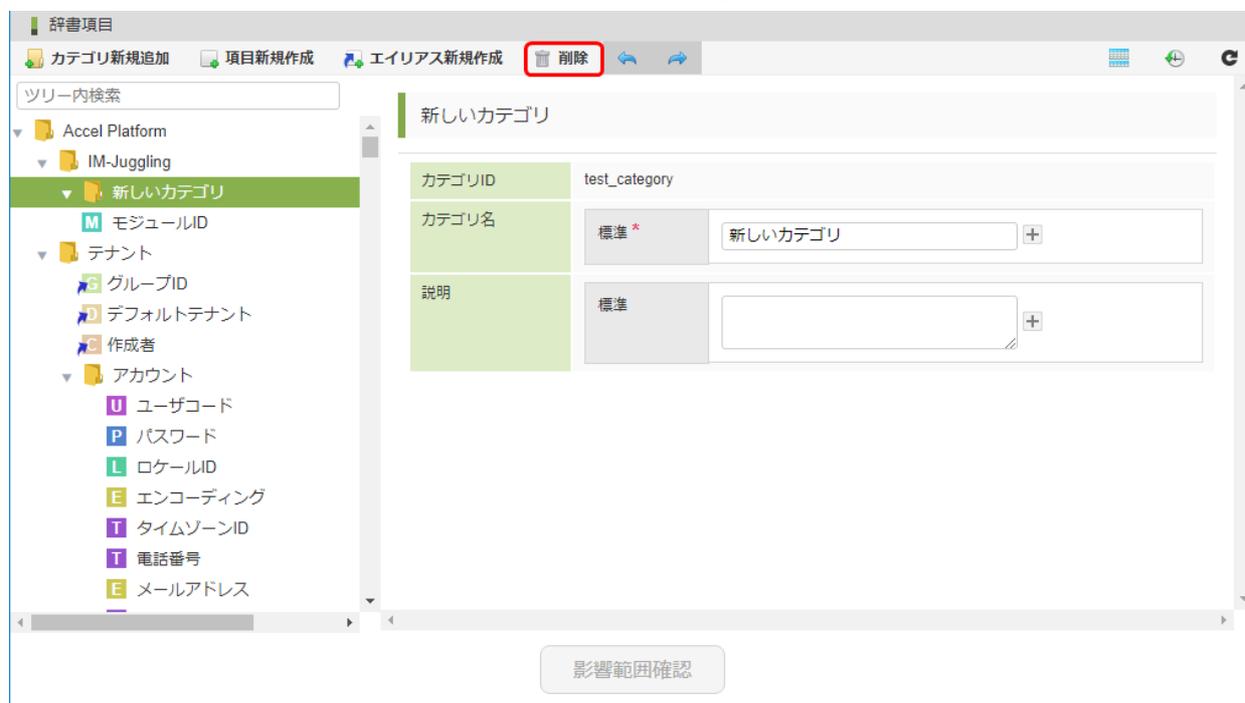
1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

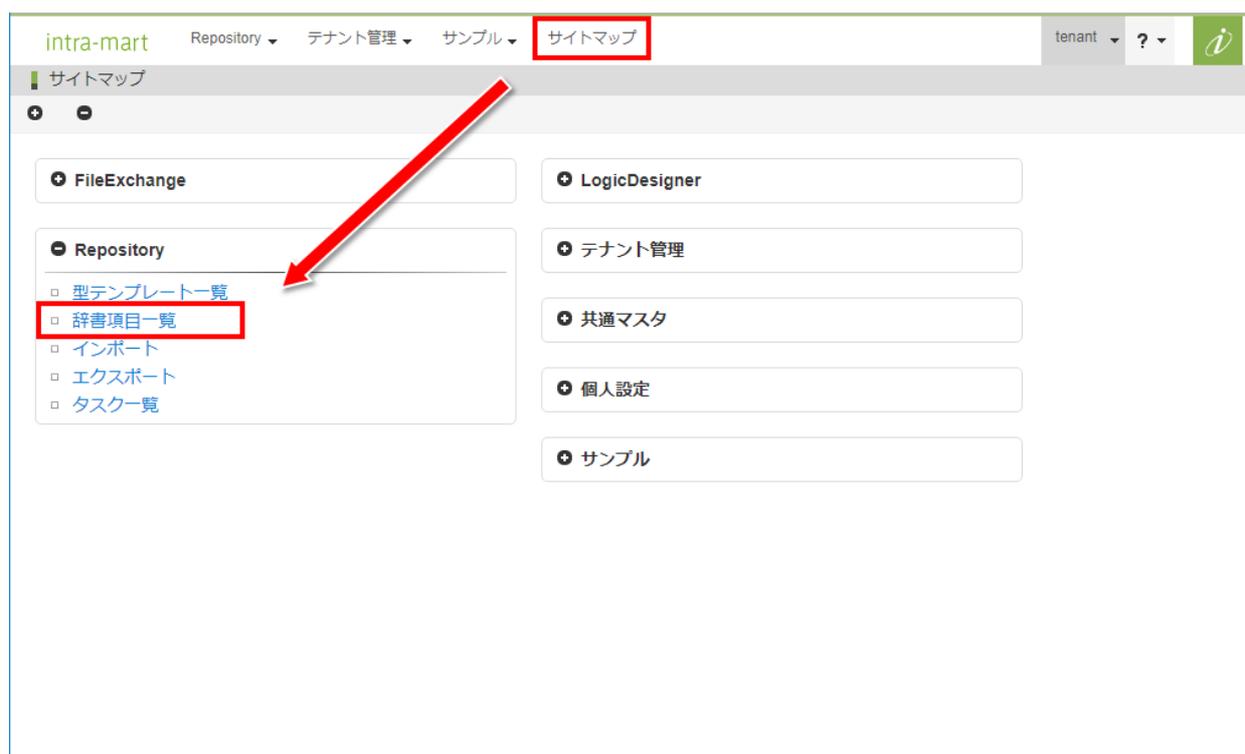
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目

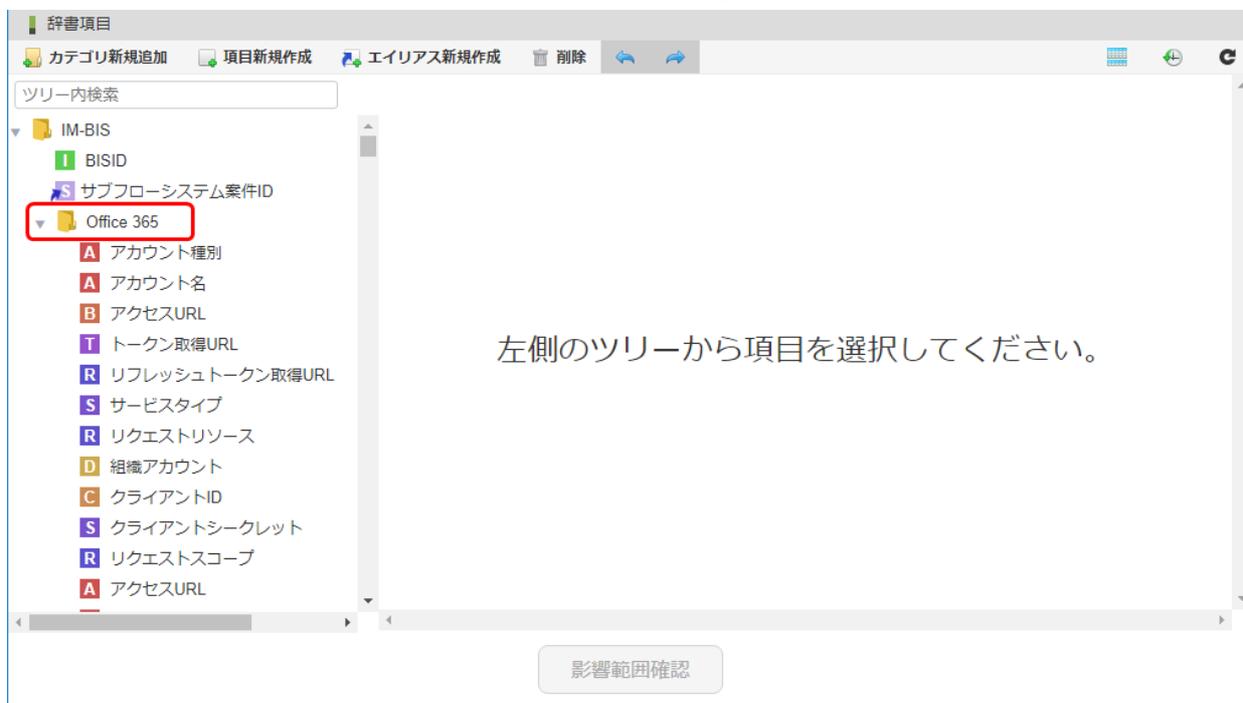
辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目を新規登録する

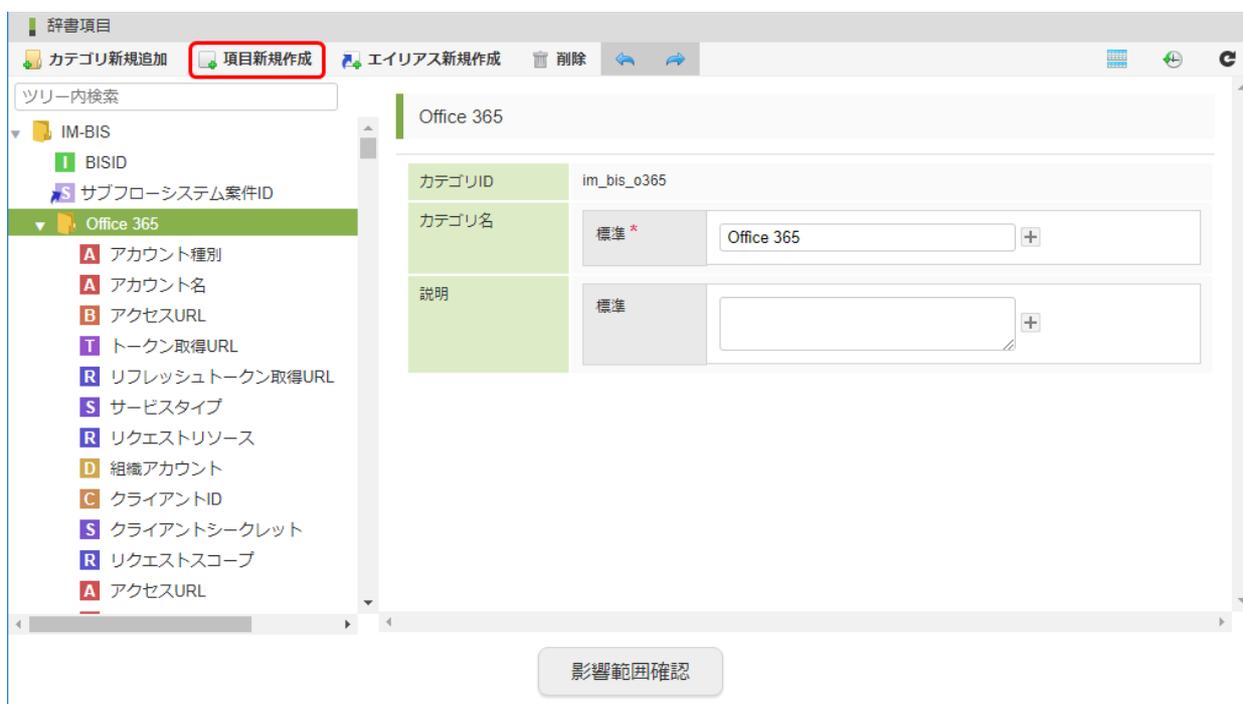
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーで新規辞書項目を追加したいカテゴリをクリックします。



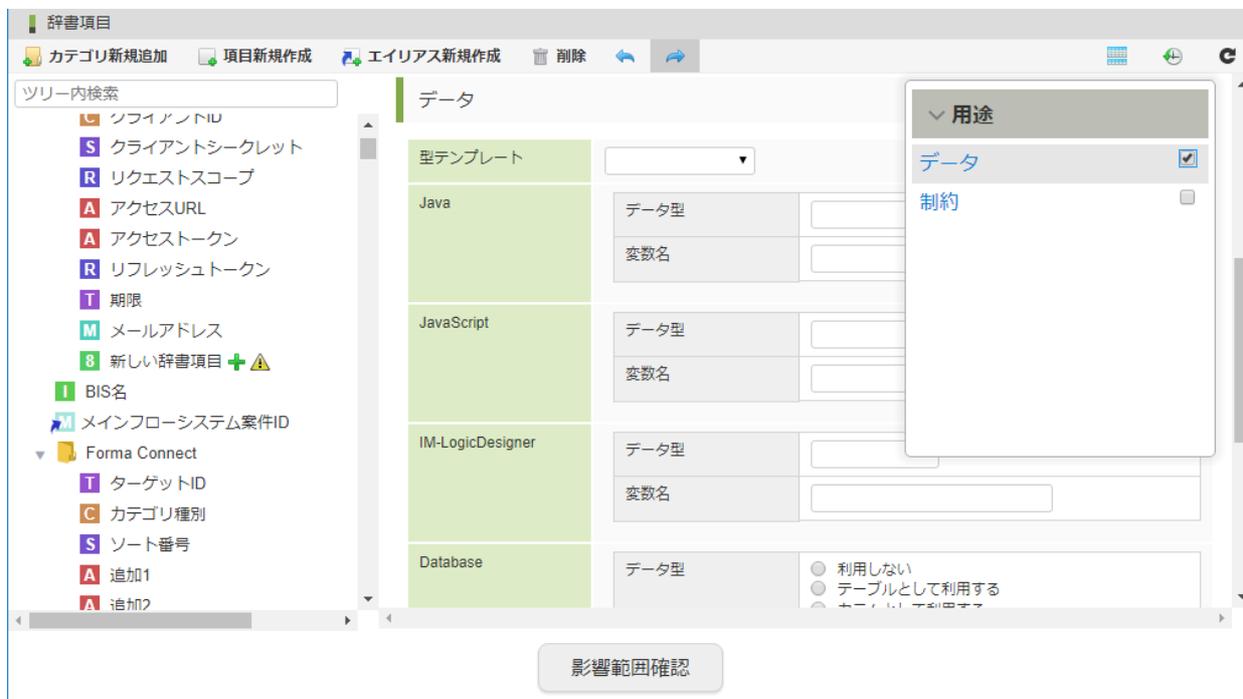
3. ツールバーの「項目新規作成」をクリックします。



4. 辞書項目情報が表示されます。

<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 初期値は固定値のみが入力可能です。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
用途	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 ■ 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。



<画面項目（データ）>

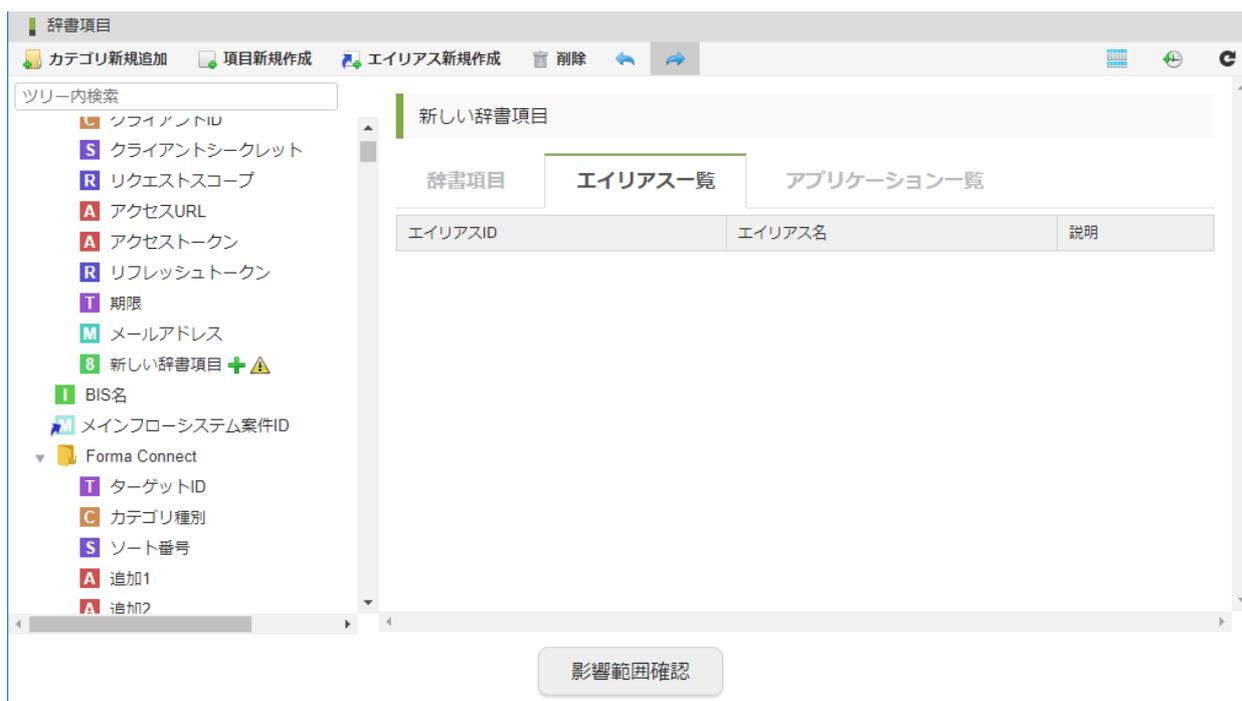
項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。

項目	説明
Database	<ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

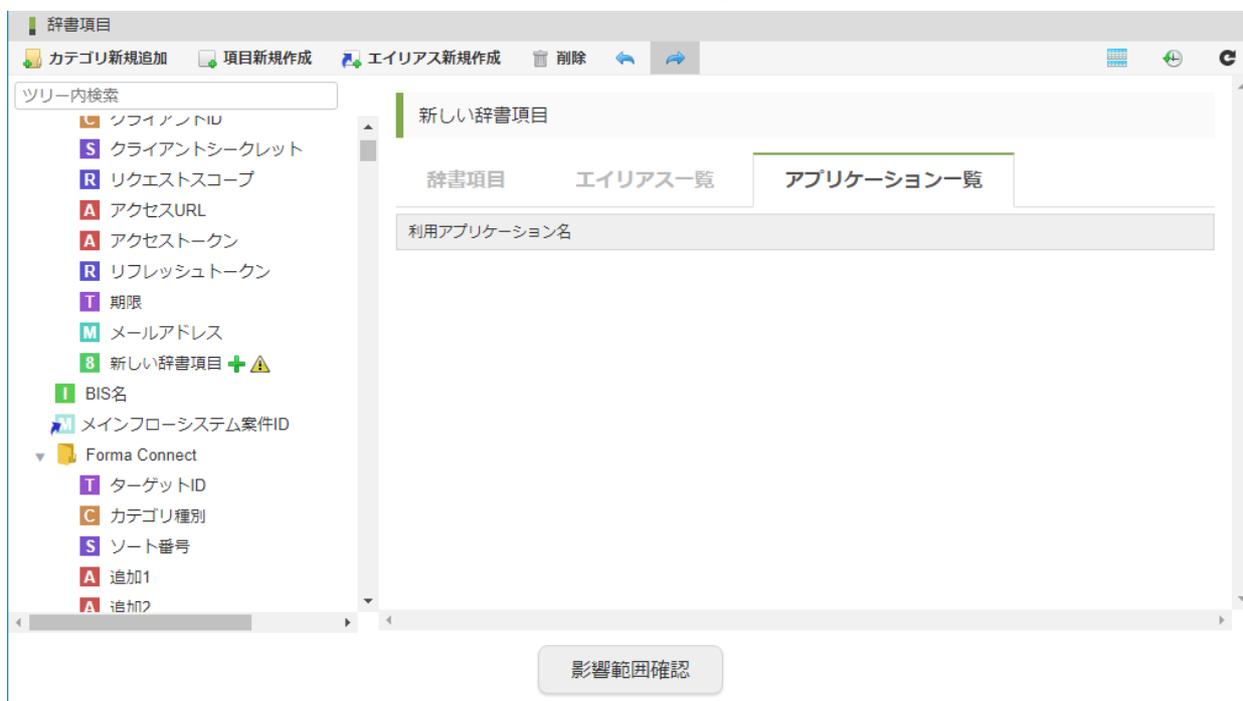
この設定項目の詳細については以下を参照してください。

- 辞書項目の制約



<画面項目（エイリアス一覧）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 エイリアスIDをクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を表示します。 エイリアス名をクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
説明	エイリアスの説明を表示します。



<画面項目（アプリケーション一覧）>

項目	説明
利用アプリケーション名	この辞書項目を利用しているアプリケーションが存在する場合、そのアプリケーションを表示します。

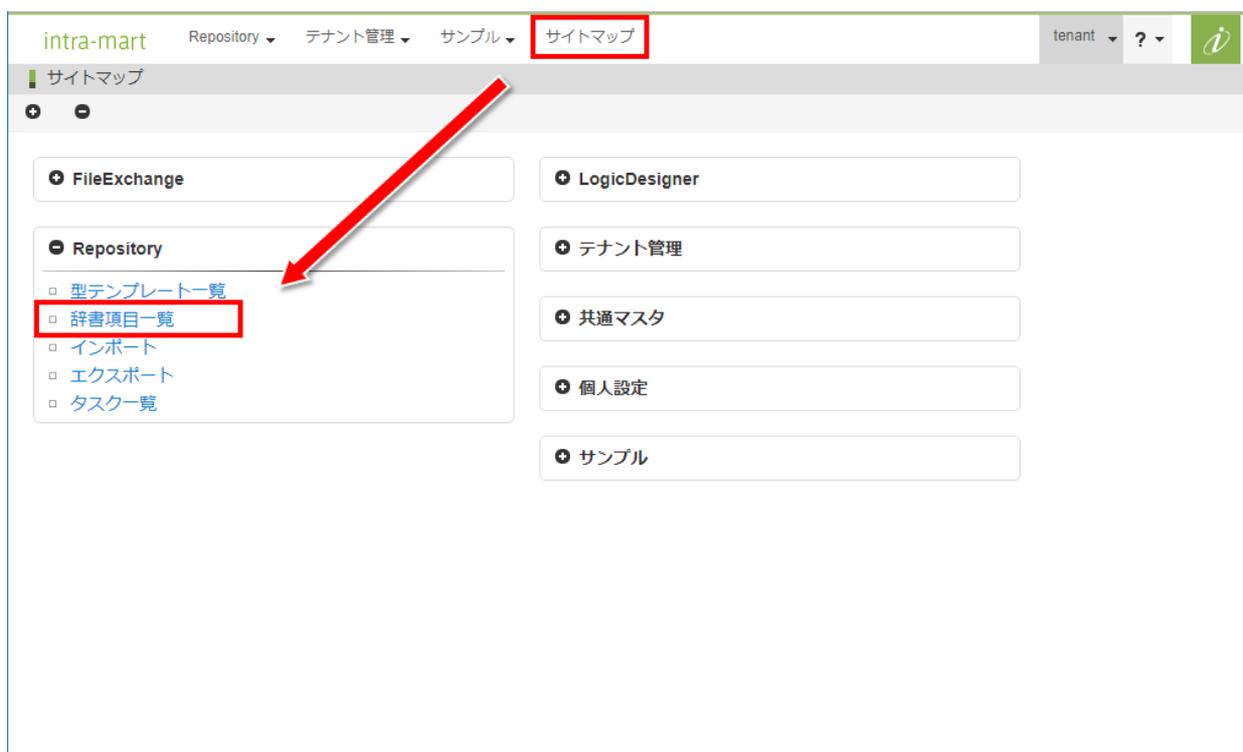
5. 必要項目を入力します。

コラム

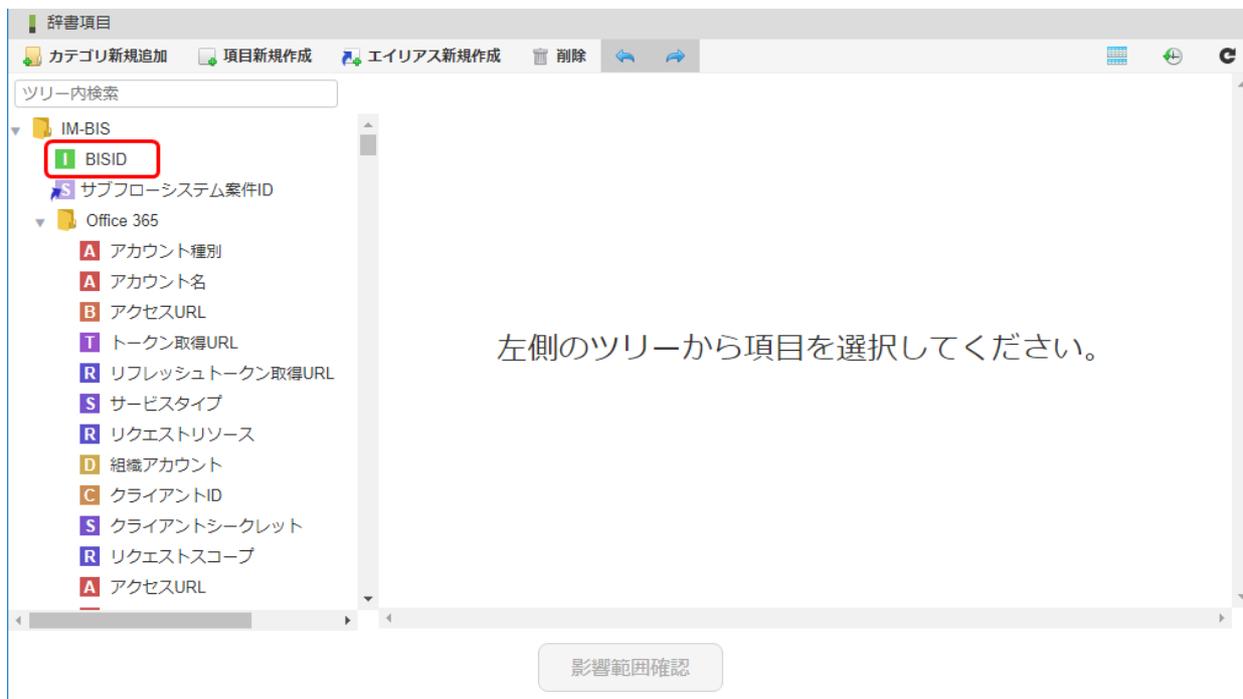
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目を確認する

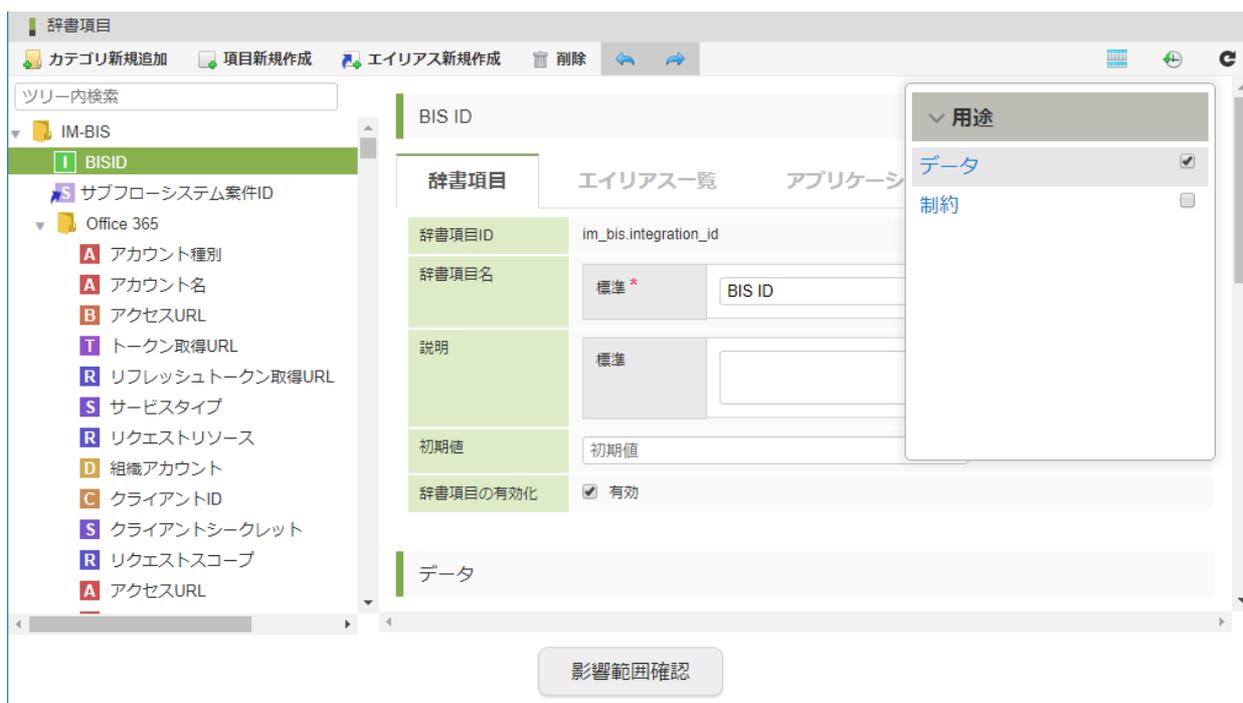
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。

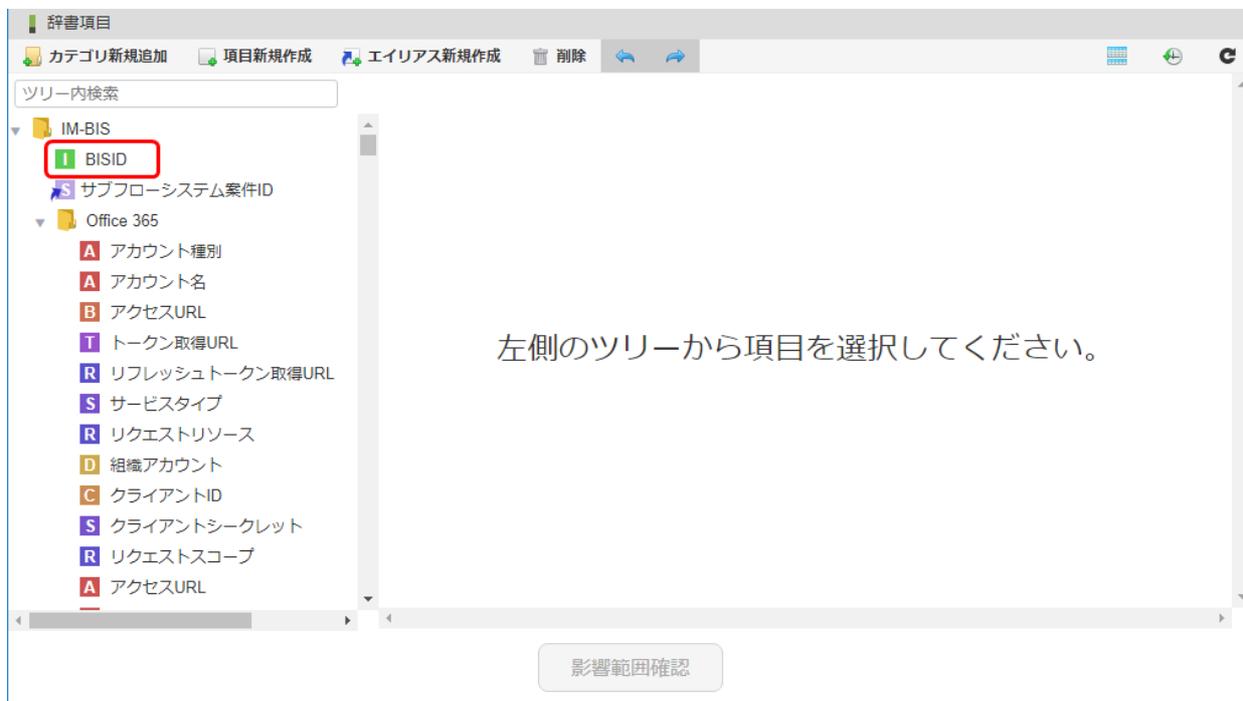


辞書項目を編集する

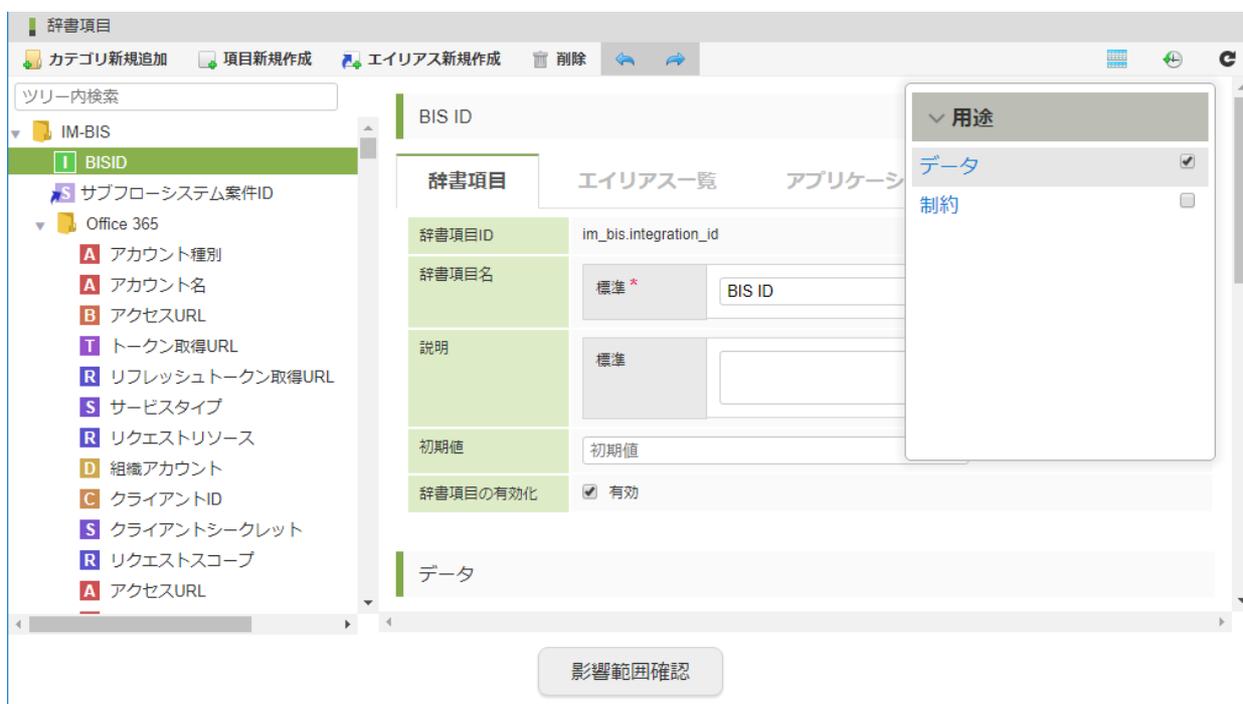
- 辞書項目を更新する
- 辞書項目を削除する

辞書項目を更新する

1. 「辞書項目を確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行う辞書項目をクリックします。



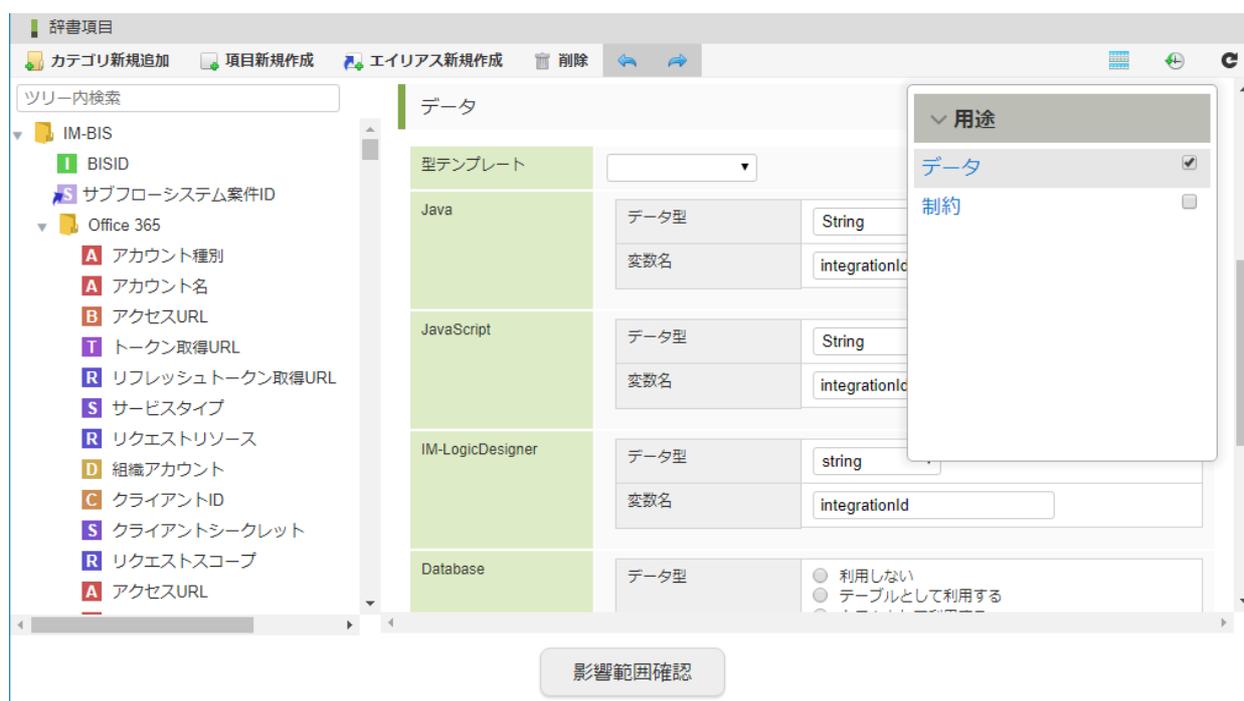
3. 辞書項目情報が表示されます。



<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

項目	説明
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 初期値は固定値のみが入力可能です。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
用途	<ul style="list-style-type: none"> データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。



<画面項目（データ）>

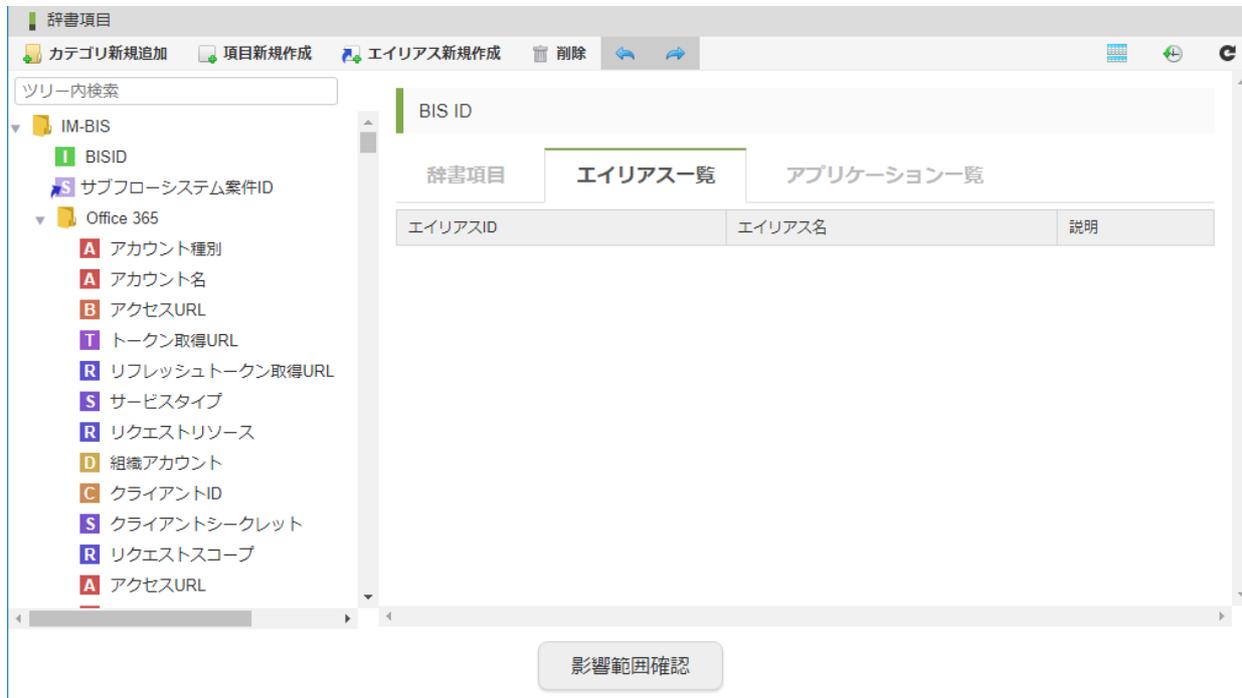
項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。

項目	説明
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	<ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

この設定項目の詳細については以下を参照してください。

- 辞書項目の制約



<画面項目（エイリアス一覧）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 エイリアスIDをクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。

項目	説明
エイリアス名	エイリアスを表す名称を表示します。 エイリアス名をクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
説明	エイリアスの説明を表示します。



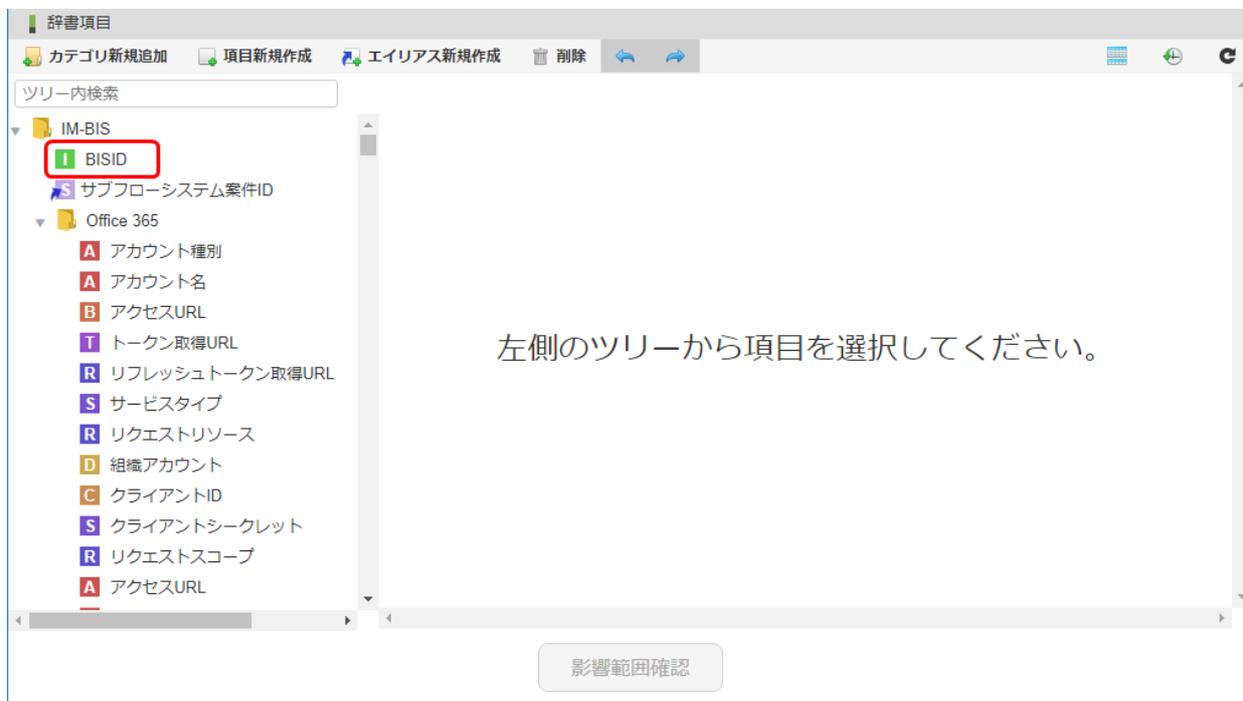
<画面項目（アプリケーション一覧）>

項目	説明
利用アプリケーション名	この辞書項目を利用しているアプリケーションが存在する場合、そのアプリケーションを表示します。

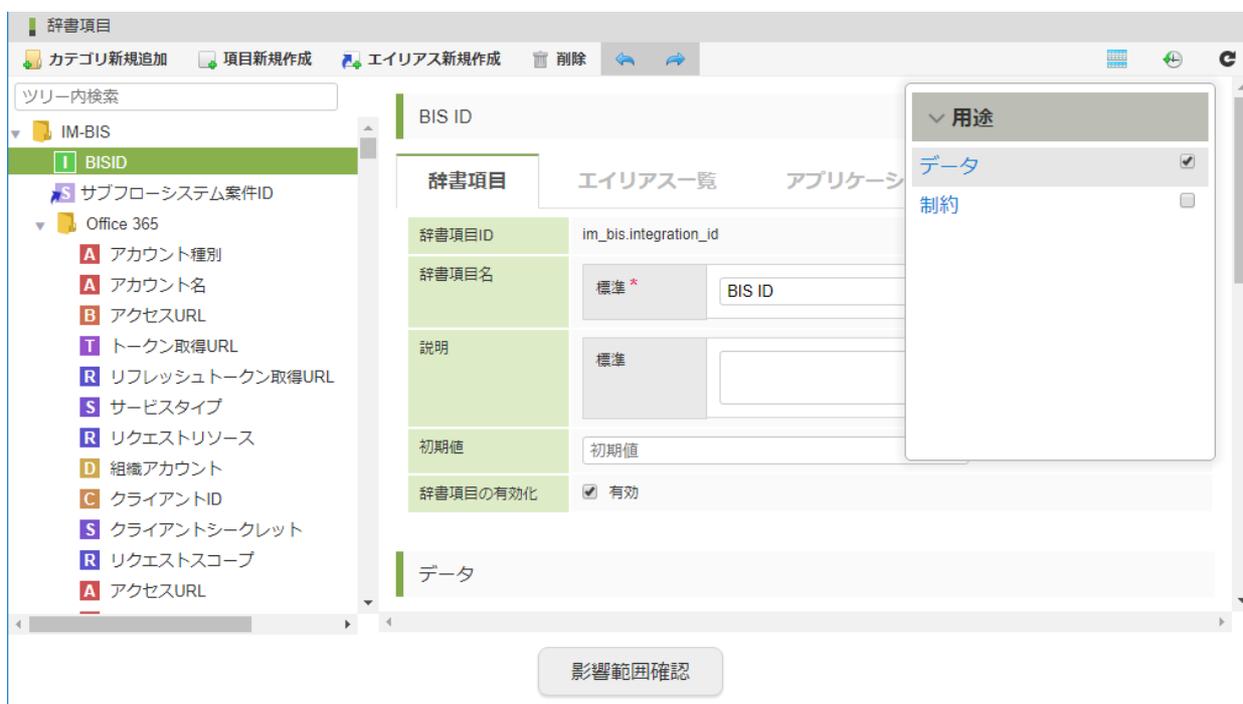
4. 更新内容を入力します。

辞書項目を削除する

1. 「辞書項目を確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから削除を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

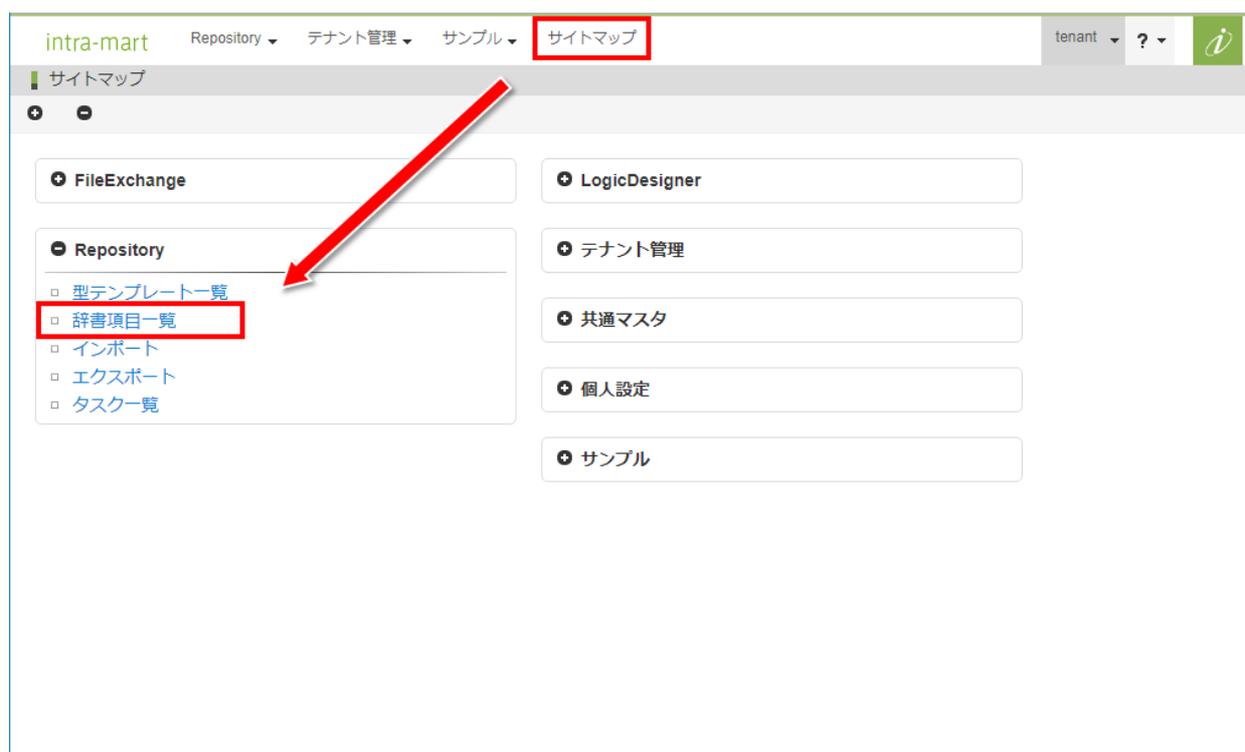
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアス

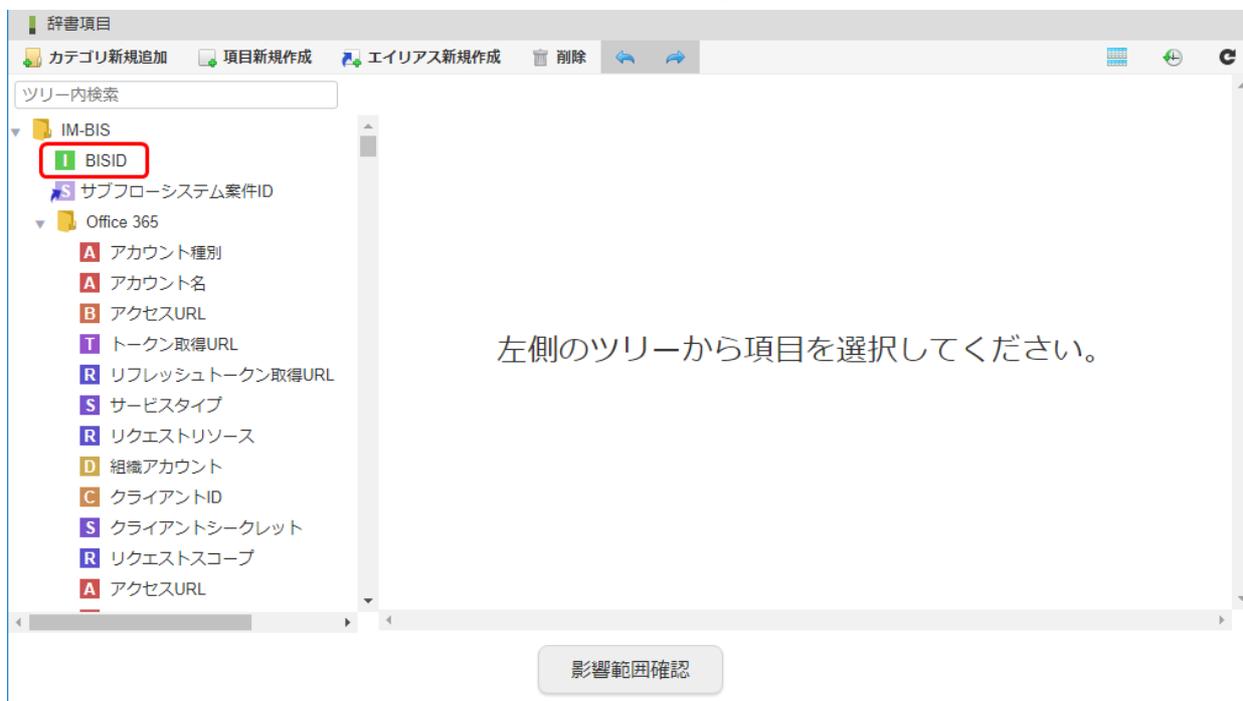
エイリアスを扱う画面の機能について説明します。

エイリアスを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーでエイリアス化したい辞書項目をクリックします。



3. ツールバーの「エイリアス新規作成」をクリックします。



4. エイリアス情報が表示されます。



<画面項目（エイリアス）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。



参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Database	<ul style="list-style-type: none">■ 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。■ コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

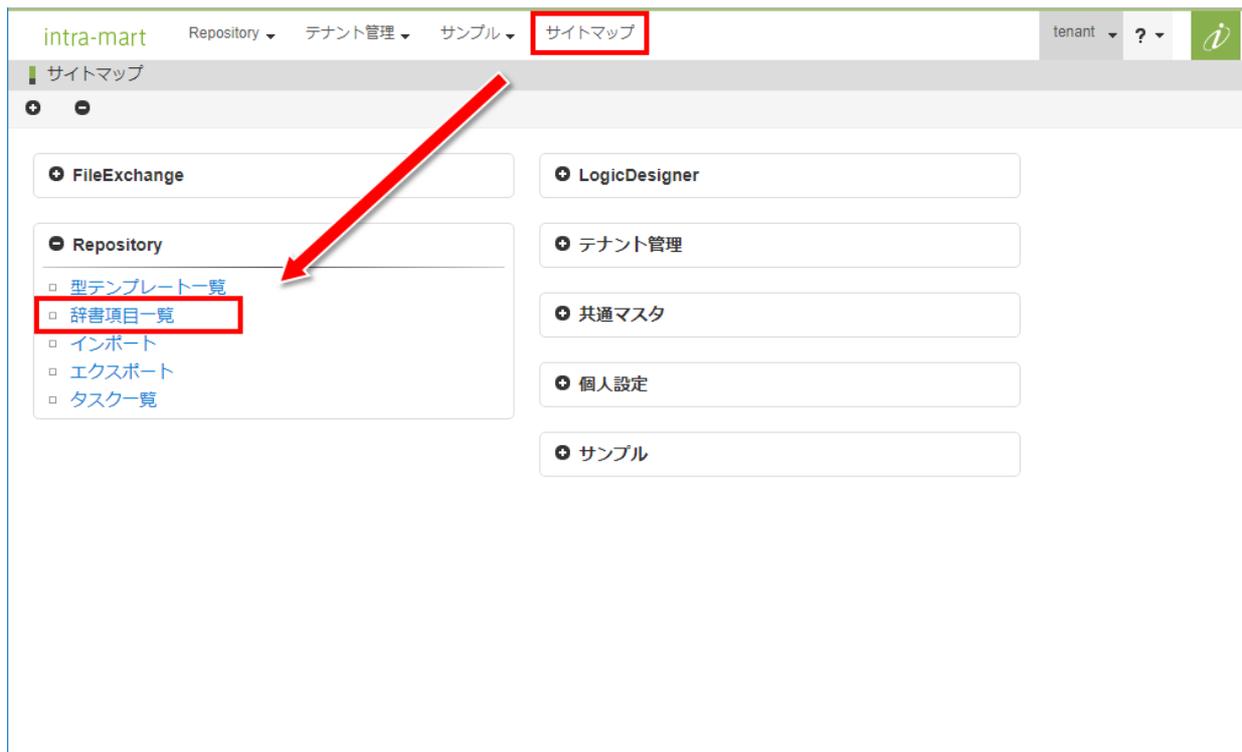
5. 必要項目を入力します。

コラム

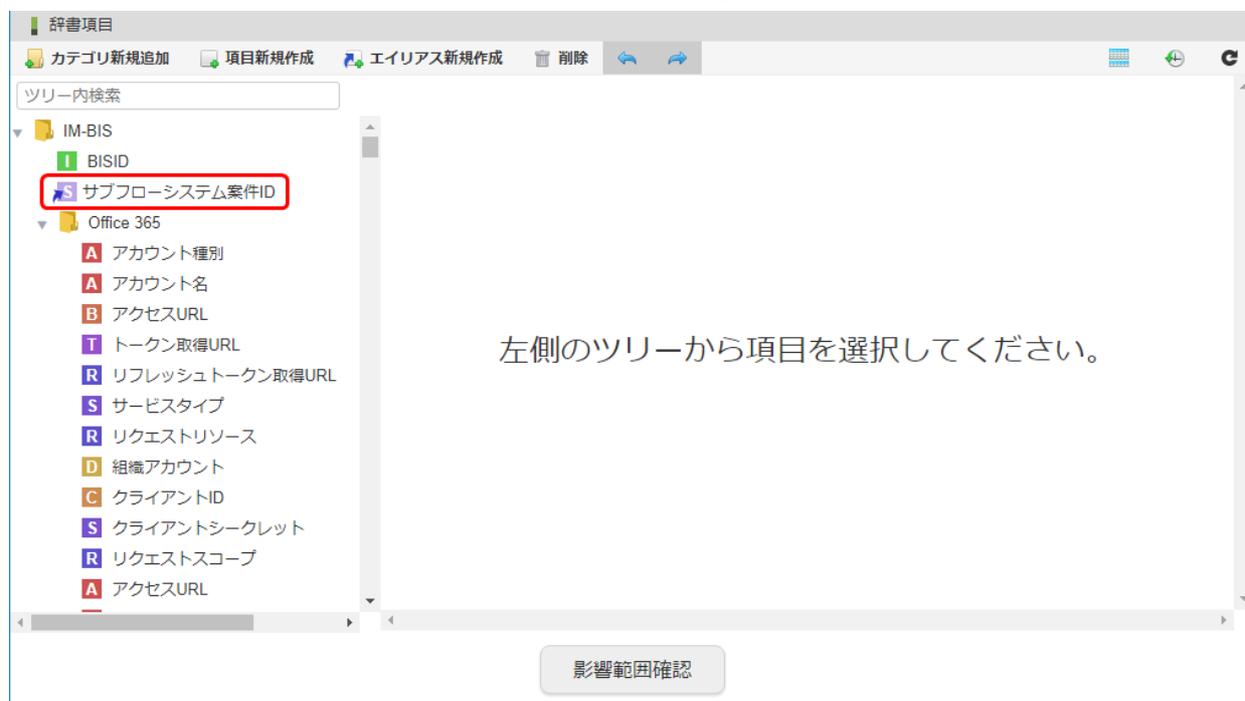
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアスを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。

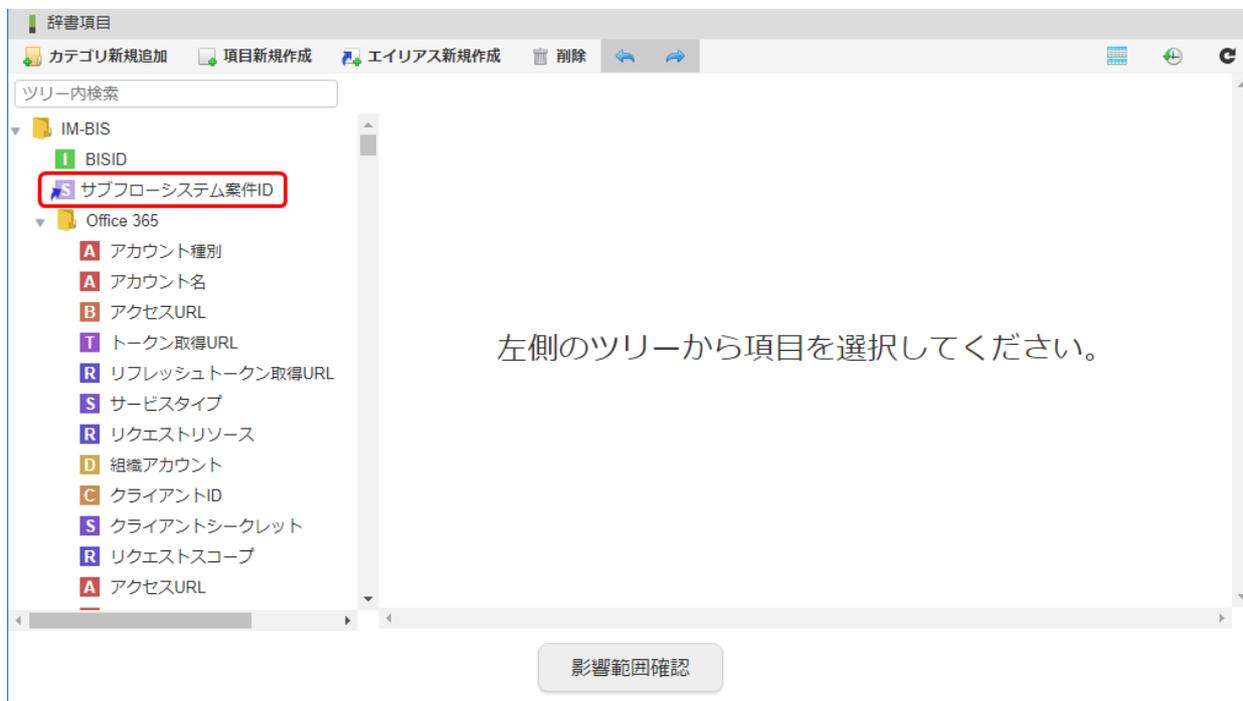


エイリアスを編集する

- エイリアスを更新する
- エイリアスを削除する

エイリアスを更新する

1. 「[エイリアスを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。



<画面項目 (エイリアス) >

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

項目	説明
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。



<画面項目（データ）>

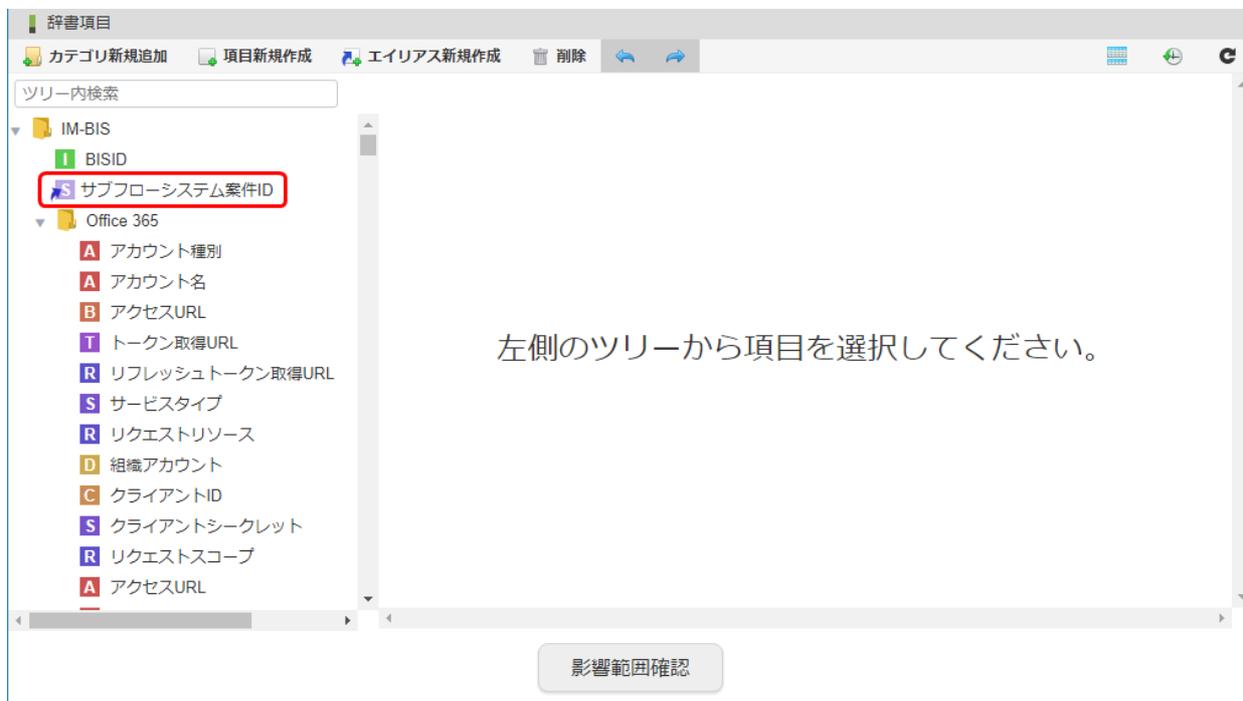
参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Database	<ul style="list-style-type: none"> 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

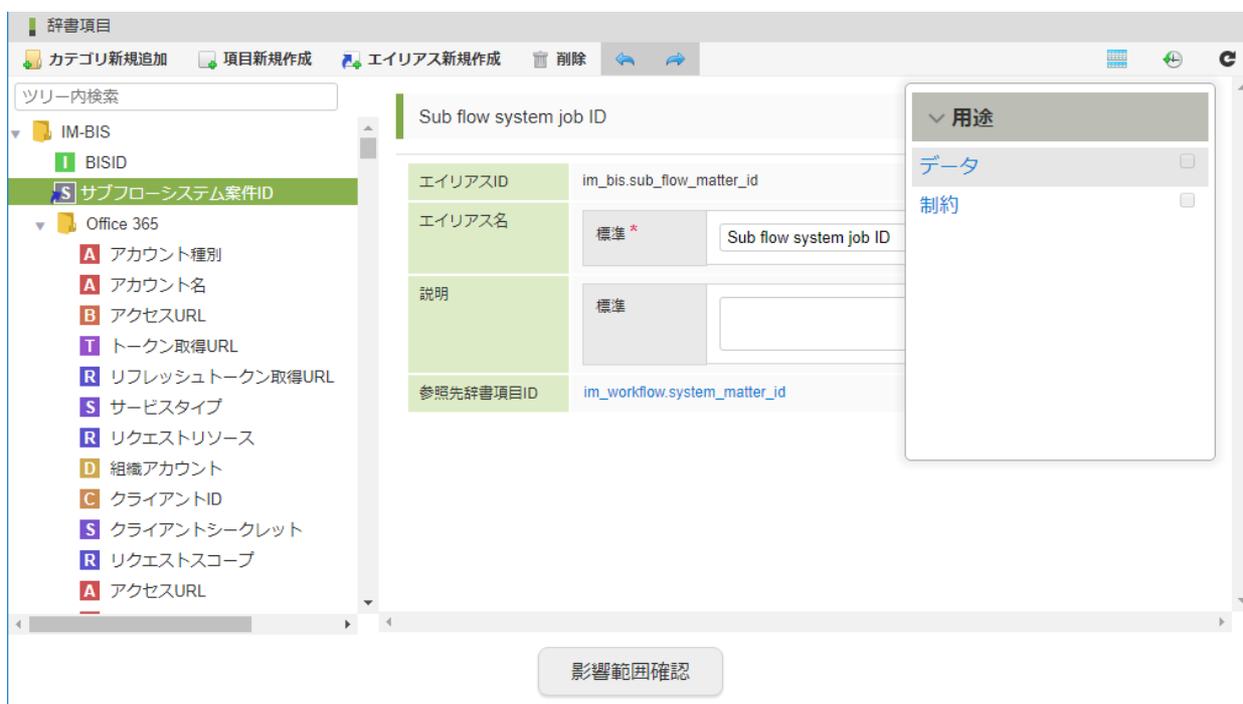
4. 更新内容を入力します。

エイリアスを削除する

- 「エイリアスを確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
- 項目一覧ツリーから削除を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



i コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

辞書項目の制約

辞書項目に対する制約を設定します。
設定内容の詳細は以下の通りです。



<画面項目>

項目	説明
制約の種類	辞書項目に追加する制約を選択します。
「制約を追加」ボタン 選択した制約を追加します。	

項目	説明
「削除」ボタン	制約を削除します。

制約
> 用途

種類	桁数 削除	
オプション	最小桁数: <input style="width: 100px;" type="text"/>	最大桁数: <input style="width: 100px;" type="text"/>
種類	バイト数 削除	
オプション	最小バイト数: <input style="width: 100px;" type="text"/>	最大バイト数: <input style="width: 100px;" type="text"/>
種類	数値 削除	
オプション	最小値: <input style="width: 100px;" type="text"/>	最大値: <input style="width: 100px;" type="text"/>
	<input type="radio"/> 整数値	最大整数桁: <input style="width: 50px;" type="text"/>
	<input type="radio"/> 小数値	最小小数桁: <input style="width: 50px;" type="text"/>
種類	アルファベット 削除	
オプション	<input type="radio"/> 小文字アルファベット	<input type="radio"/> 大文字アルファベット
	入力可能な記号: <input style="width: 150px;" type="text"/>	
種類	数字 削除	
オプション	入力可能な記号: <input style="width: 150px;" type="text"/>	
種類	アルファベットと数字 削除	
オプション	<input type="radio"/> 小文字のみ <input type="radio"/> 大文字のみ <input checked="" type="radio"/> どちらでも	
	入力可能な記号: <input style="width: 150px;" type="text"/>	
種類	メールアドレス 削除	
種類	URL 削除	
種類	正規表現 削除	
正規表現	<input style="width: 150px;" type="text"/>	
種類	日付時刻 削除	
オプション	<input checked="" type="radio"/> アカウントコンテキストの「日付 (入力)」と同じフォーマットである <input type="radio"/> アカウントコンテキストの「時刻 (入力)」と同じフォーマットである <input type="radio"/> アカウントコンテキストの「日付 (入力)」 + 「時刻 (入力)」と同じフォーマットである	
種類	ID 削除	
種類	UserCd 削除	

<制約の種類>

種類	説明
桁数	辞書項目の最小桁数、および、最大桁数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 最小桁数 最小桁数を入力します。 ■ 最大桁数 最大桁数を入力します。

種類	説明
バイト数	辞書項目の最小バイト数、および、最大バイト数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 最小バイト数 最小バイト数を入力します。 最大バイト数 最大バイト数を入力します。
数値	<ul style="list-style-type: none"> 最小値 辞書項目の最小値を設定します。 最大値 辞書項目の最大値を設定します。 整数値 辞書項目が整数値の場合に設定します。 最大整数桁 辞書項目の最大整数桁を設定します。 小数値 辞書項目が小数を含む場合に設定します。 最大小数桁 辞書項目の小数桁数を設定します。
アルファベット	<ul style="list-style-type: none"> 小文字アルファベット a-zまでの小文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 大文字アルファベット A-Zまでの大文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 入力可能な記号 アルファベット以外に許容する記号がある場合に設定します。
数字	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能な記号 0-9までの数字のみで構成される場合に設定します。 入力可能な記号 数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
アルファベットと数字	<ul style="list-style-type: none"> 小文字のみ a-zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 大文字のみ A-Zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 どちらでも 大文字、小文字を含んだ英数字で構成される場合に設定します。 入力可能な記号 英数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
メールアドレス	辞書項目がメールアドレス形式の場合に設定します。
URL	辞書項目がURL形式の場合に設定します。
正規表現	<ul style="list-style-type: none"> 正規表現 この制約は正規表現による設定が可能です。 辞書項目を表現する正規表現を設定してください。
日付時刻	<ul style="list-style-type: none"> アカウントコンテキストの「日付（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 アカウントコンテキストの「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 アカウントコンテキストの「日付（入力）」+「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。
ID	Identifier APIにより発行されたID形式である場合に設定します。
UserCd	辞書項目がユーザコードを表す項目である場合に設定します。

種類

説明

列挙

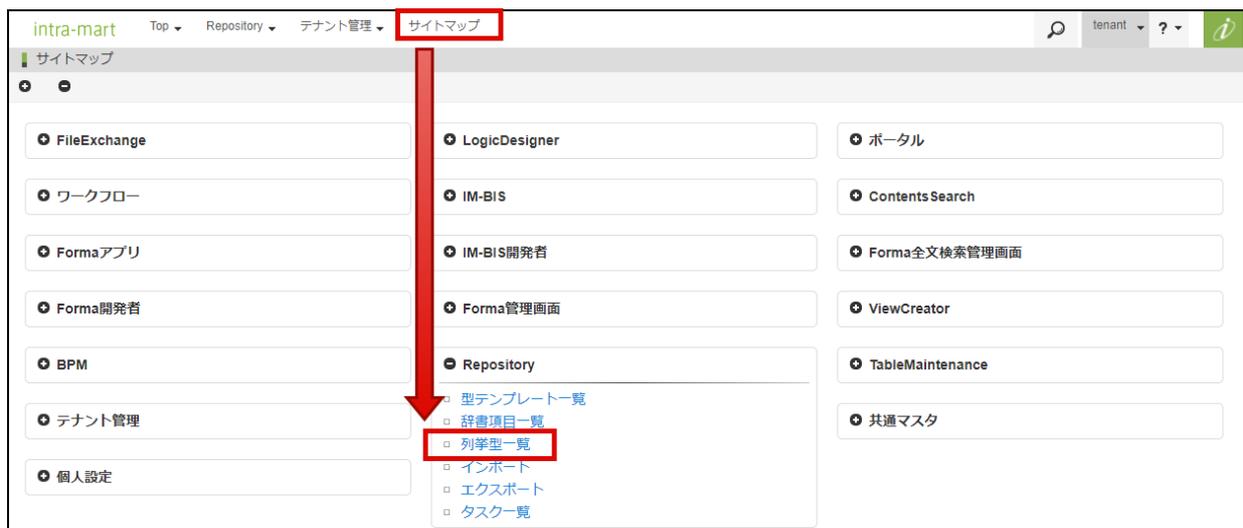
ここではIM-Repositoryで列挙を扱う画面の機能について説明します。

列挙型一覧画面

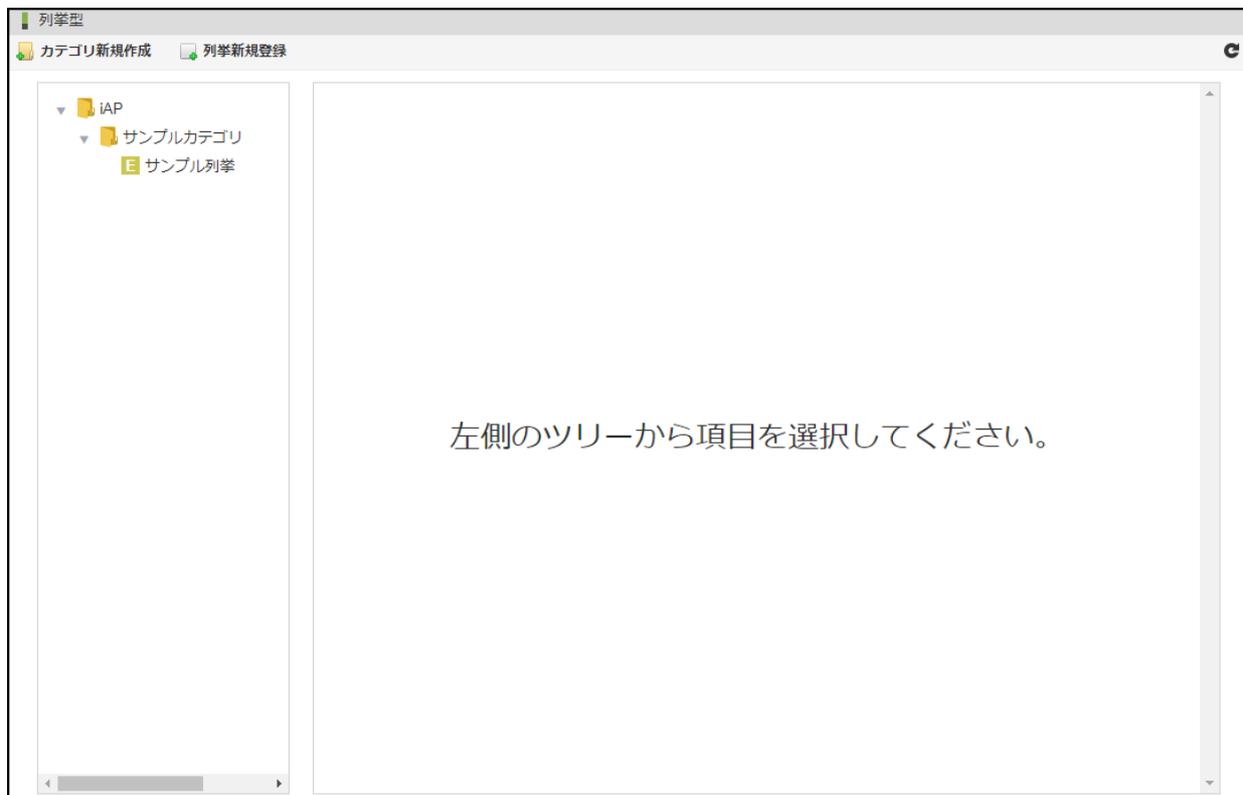
- 「列挙型一覧」画面を表示する
- 列挙型一覧の詳細

「列挙型一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックします。



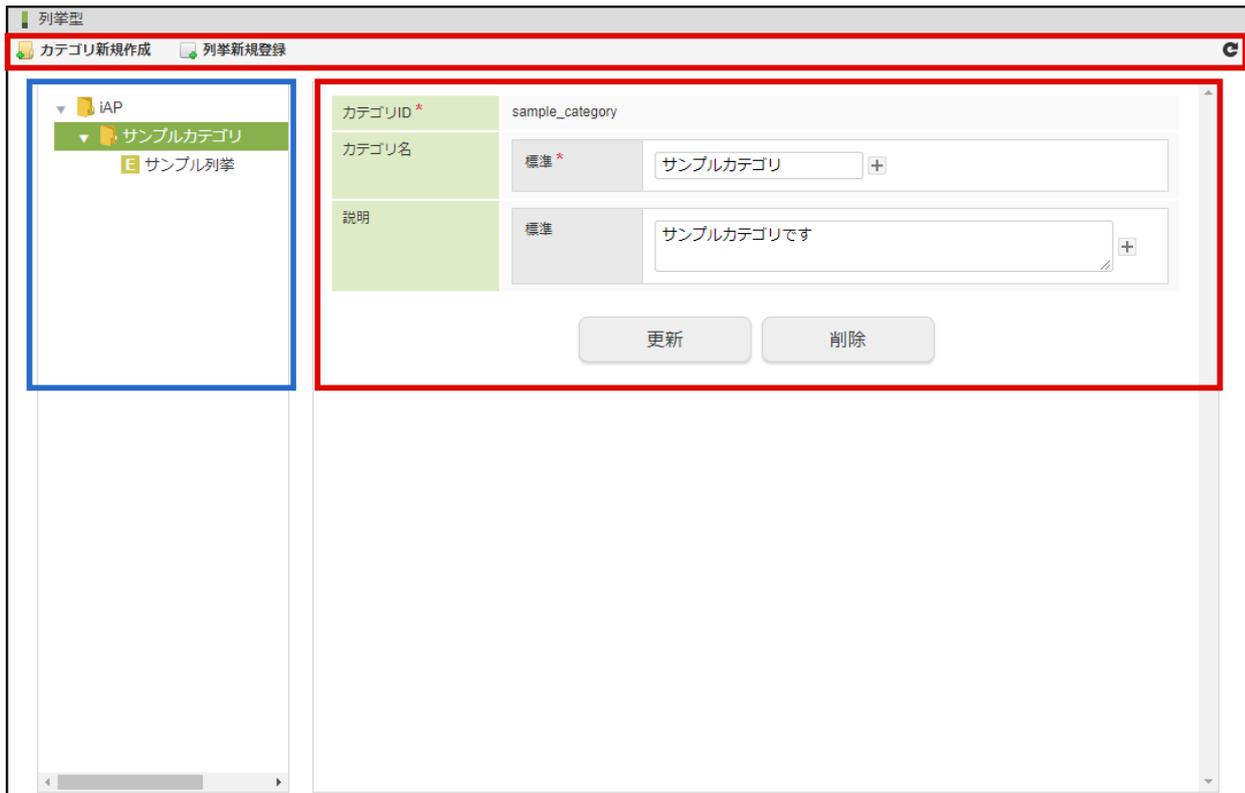
2. 「列挙型一覧」画面が表示されます。



列挙型一覧の詳細

「列举型一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。

各ペインの詳細は以下の通りです。



<画面項目>

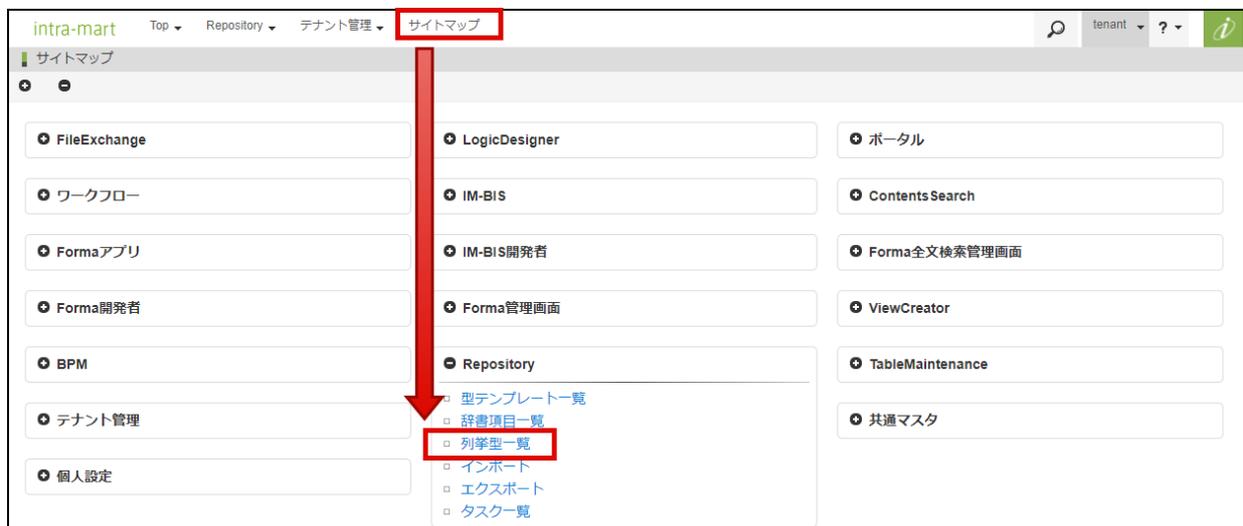
項目	説明
ツールバー	<p>列举一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カテゴリ新規作成 列举一覧ツリーにカテゴリを追加します。 ■ 列举新規登録 列举一覧ツリーに列举を追加します。 ■ 「更新」アイコン このページを再読み込みします。
列举一覧ツリー	<p>登録されている列举一覧をツリー形式で表示します。 列举一覧のカテゴリ、または、列举をクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、列举の移動が行えます。</p>
列举情報	<p>選択されたカテゴリ、または、列举の情報を表示します。</p>

カテゴリ

列举のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

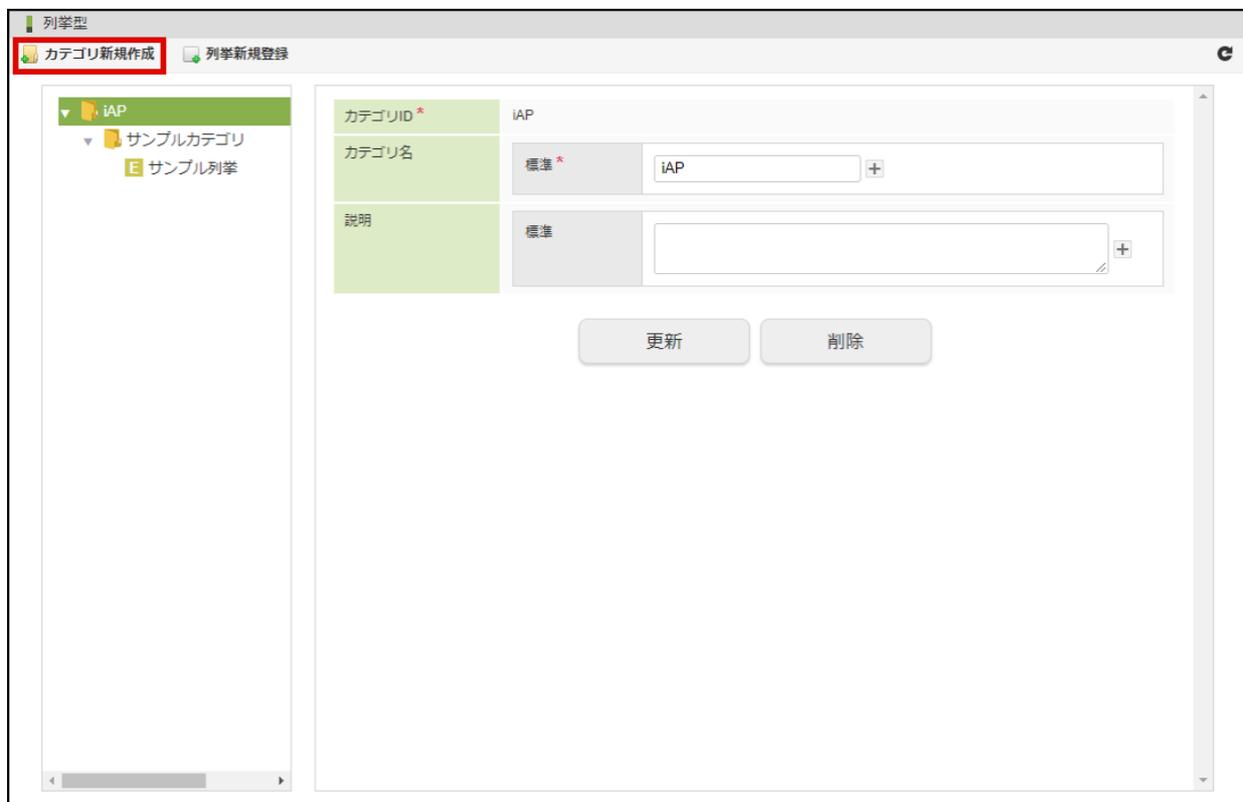
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列举型一覧」をクリックし、「列举型一覧」画面を表示します。



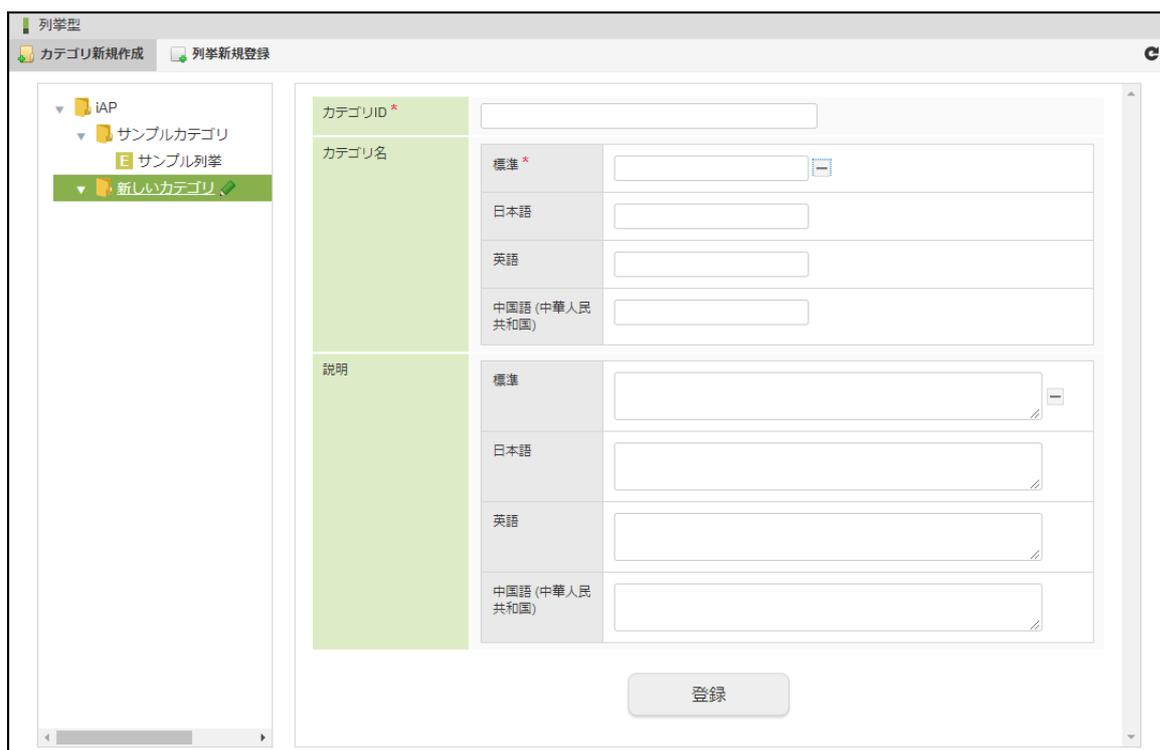
2. 列挙一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規作成」をクリックします。



4. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

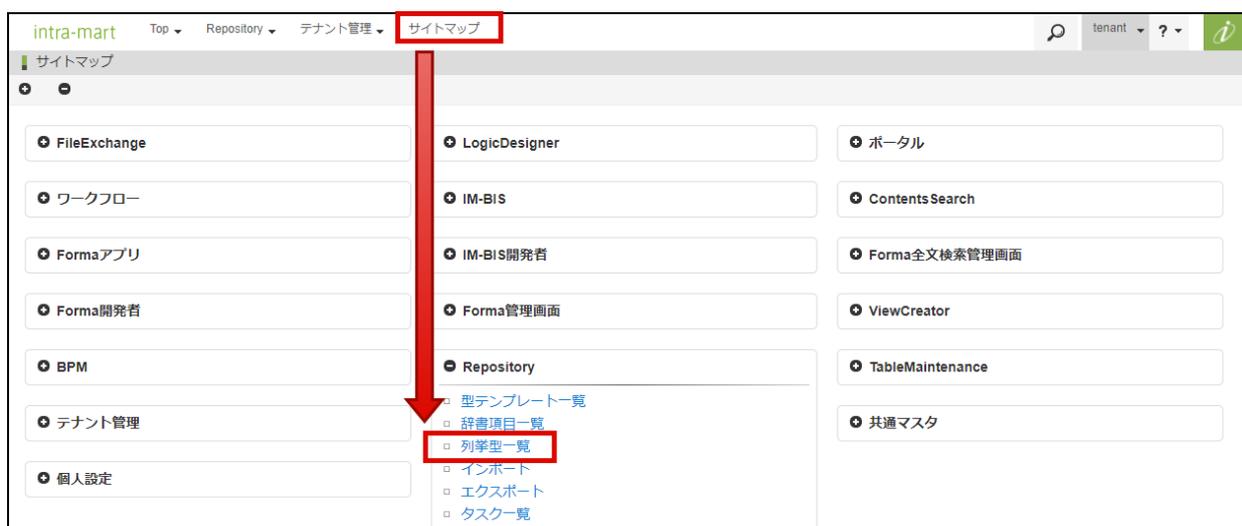
項目	説明
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



カテゴリを編集する

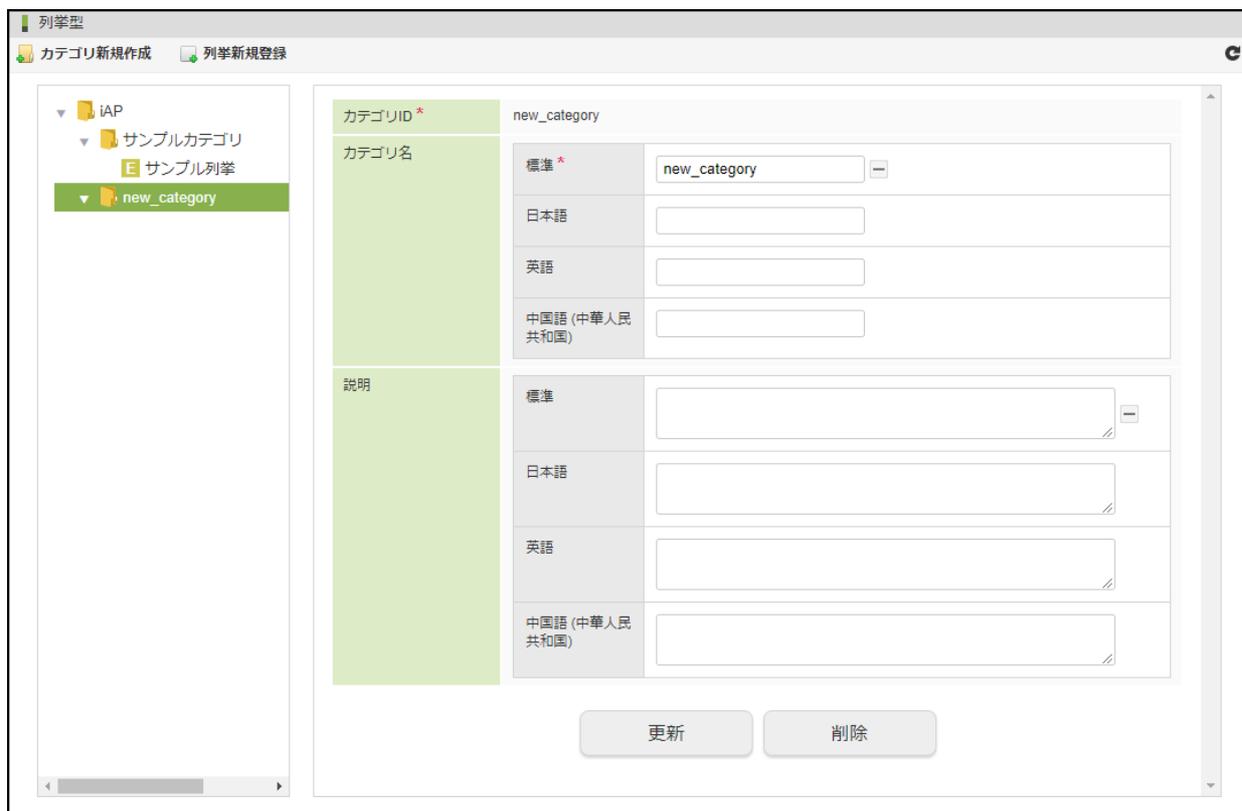
- カテゴリを更新する
- カテゴリを削除する

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「列挙型一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。

項目	説明
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Category New Registration' interface. On the left, a tree view shows the hierarchy: iAP > サンプルカテゴリ > サンプル列挙 > new_category. The main form area is titled 'new_category' and contains the following fields:

- カテゴリID ***: new_category
- カテゴリ名**:

標準 *	new_category
日本語	新しいカテゴリ
英語	
中国語 (中華人民共和國)	
- 説明**:

標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

At the bottom, there are two buttons: '更新' (Update) and '削除' (Delete). The '更新' button is highlighted with a red rectangular box.

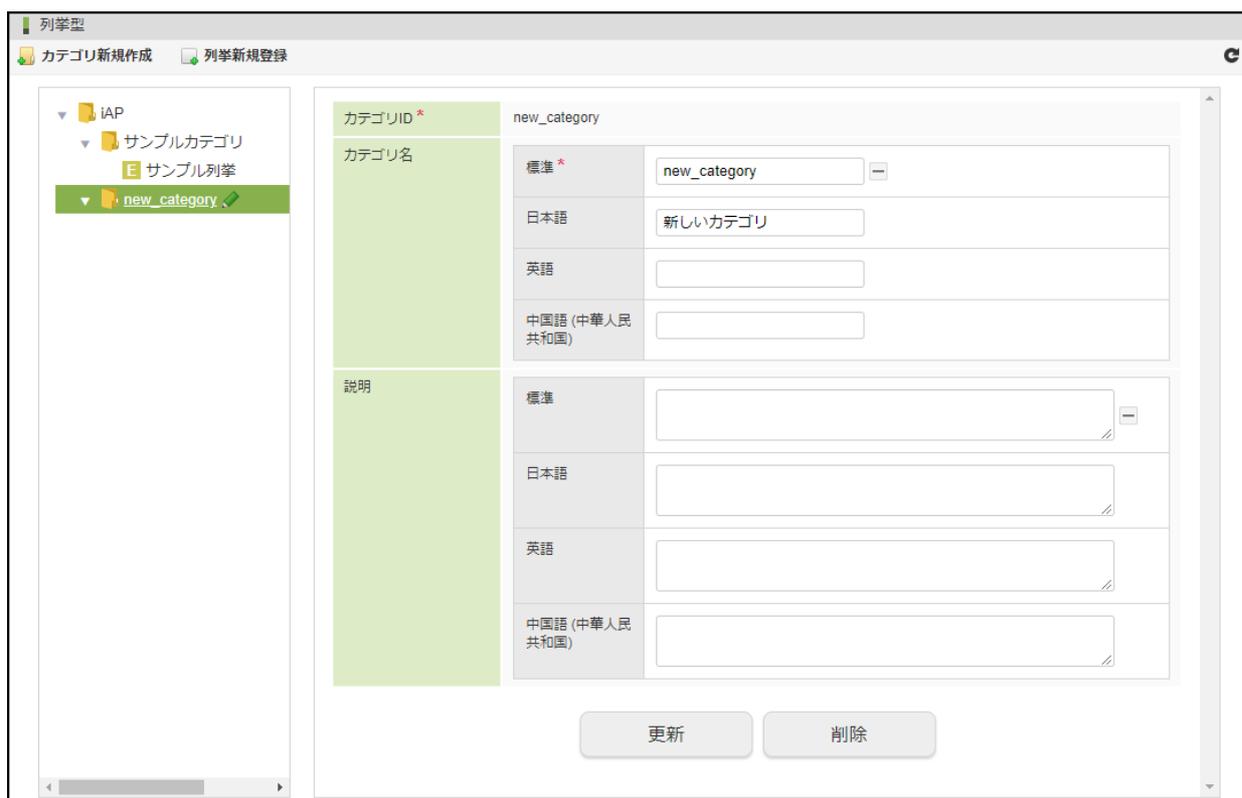
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「列挙型一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。

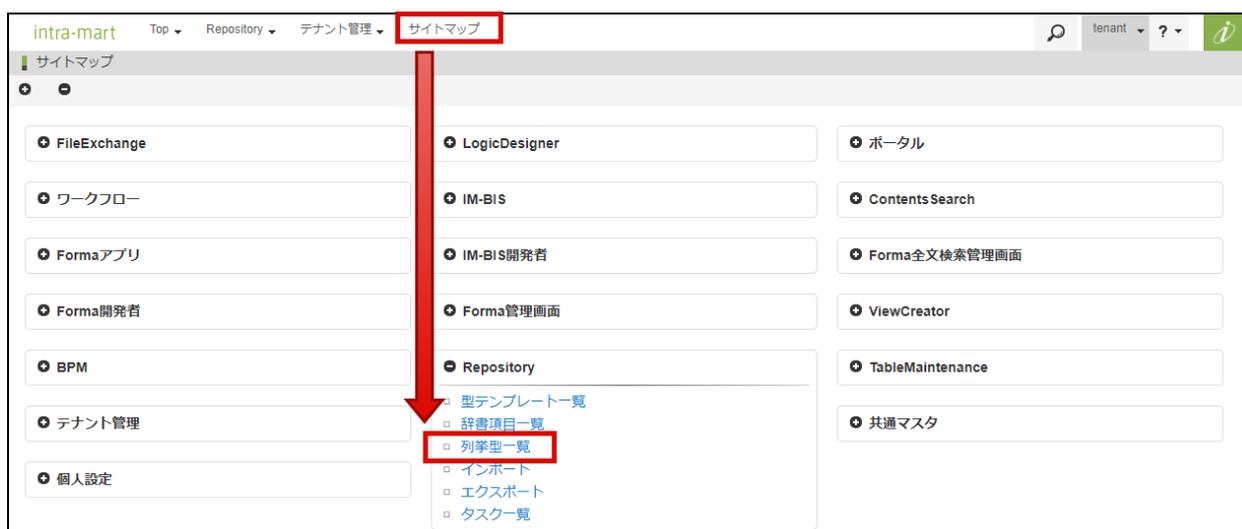
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

列挙

列挙の列挙を扱う画面の機能について説明します。

列挙を新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。

列挙型

カテゴリ新規作成 列挙新規登録

iAP

サンプルカテゴリ

サンプル列挙

new_category

カテゴリID * new_category

カテゴリ名 標準 * new_category +

説明 標準 +

更新 削除

3. ツールバーの「列挙新規登録」をクリックします。

列挙型

カテゴリ新規作成 列挙新規登録

iAP

サンプルカテゴリ

サンプル列挙

new_category

カテゴリID * new_category

カテゴリ名 標準 * new_category +

説明 標準 +

更新 削除

4. 列挙情報が表示されます。

<画面項目>

項目	説明
列挙ID	列挙を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
列挙名	列挙を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	列挙の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙項目	<ul style="list-style-type: none"> 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
「登録（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

5. 必要項目を入力します。

i コラム

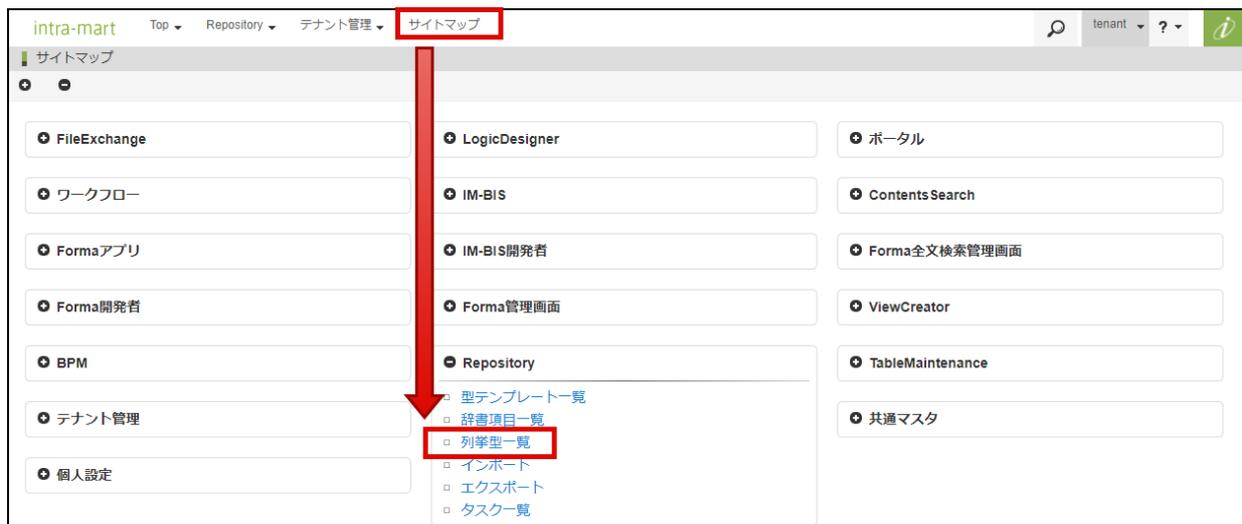
列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。
また、列挙項目が0個でも登録可能です。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を確認する

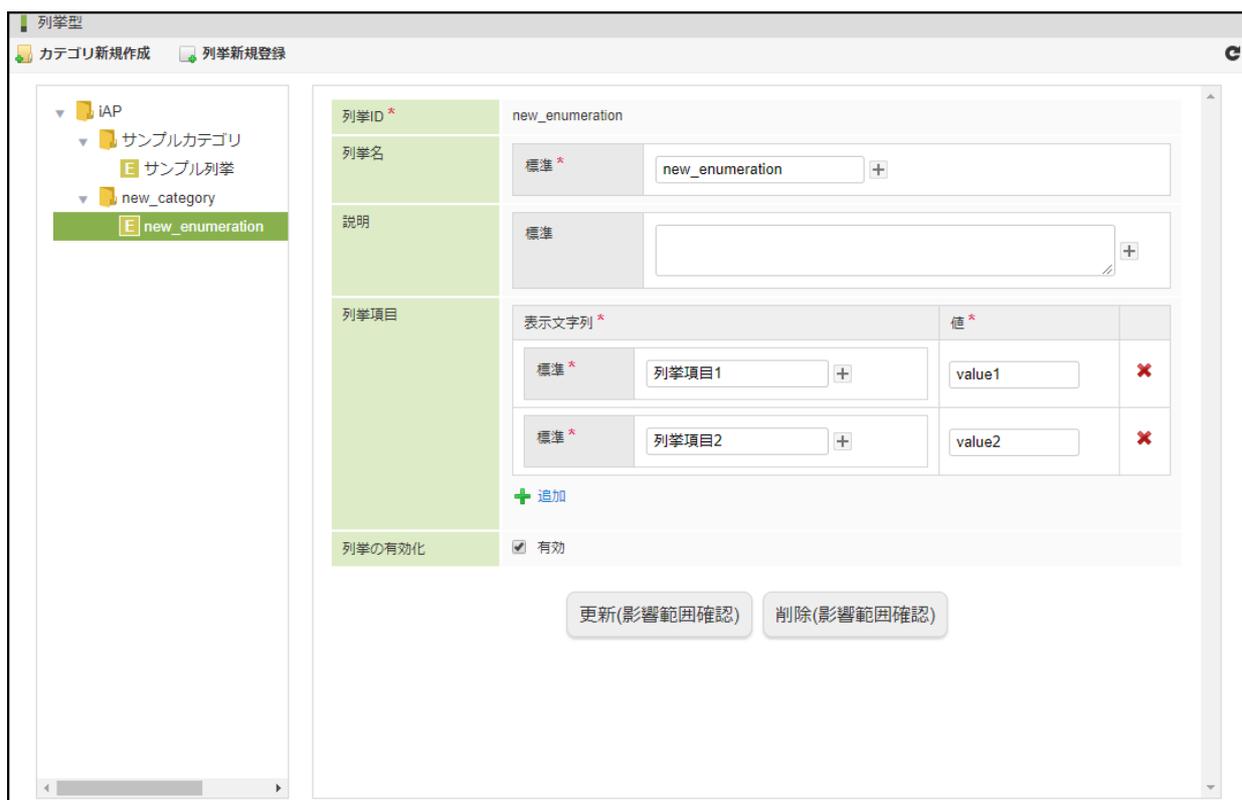
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーから確認を行う列挙をクリックします。



3. 列挙の基本情報が表示されます。



列挙を編集する

- [列挙を更新する](#)
- [列挙を削除する](#)

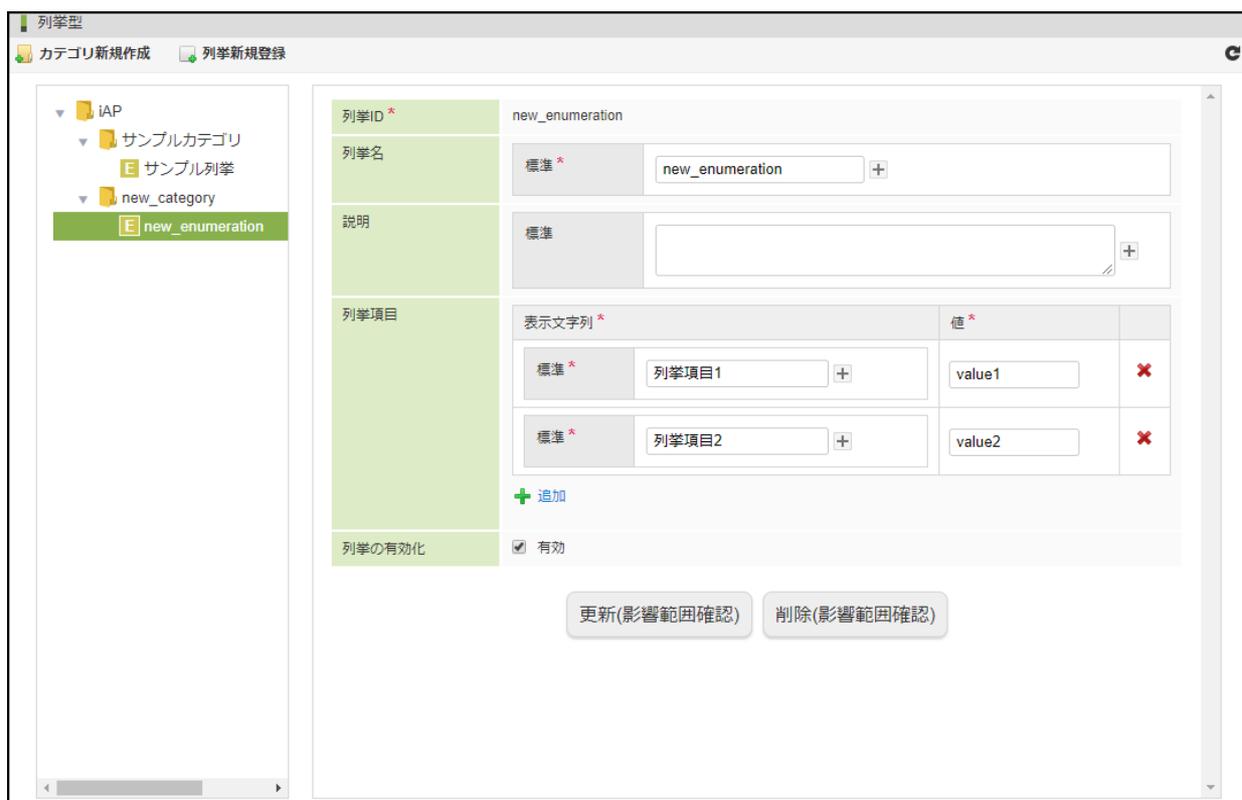
列挙を更新する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。

2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。



3. 列挙情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
列挙ID	列挙を一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。

項目	説明
列挙名	列挙を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	列挙の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 ■ 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
「更新（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。
「削除（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

4. 更新内容を入力します。

コラム

列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。
また、列挙項目が0個でも更新可能です。

コラム

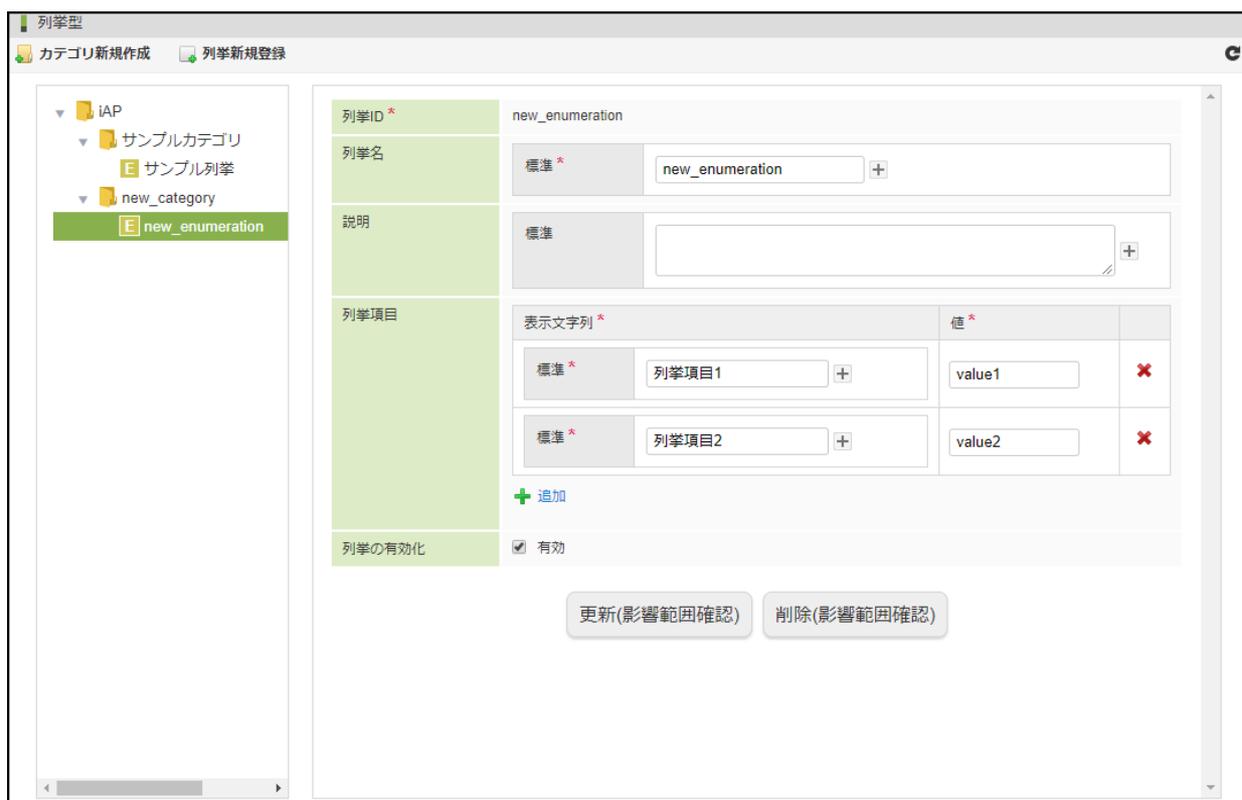
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を削除する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。



3. 列挙情報が表示されます。



4. 削除（影響範囲確認）ボタンをクリックします。

i コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

ここではIM-Repositoryでエンティティを扱う画面の機能について説明します。

エンティティ一覧画面

- ツリー形式で表示する
- 関連図形式で表示する

ツリー形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. ツリー形式の「エンティティ一覧」画面が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリ新規追加	エンティティツリーにカテゴリを追加します。
エンティティ新規作成	エンティティツリーにエンティティを追加します。
コピー登録	エンティティツリーで選択された エンティティ情報のコピーを追加します。
削除	エンティティツリーの選択された項目を削除します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示を 関連図に変更します。

項目	説明
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
エンティティツリー	登録されているカテゴリ、エンティティをツリー形式で表示します。
「影響範囲確認」ボタン	「影響範囲確認」画面を表示します。

コラム

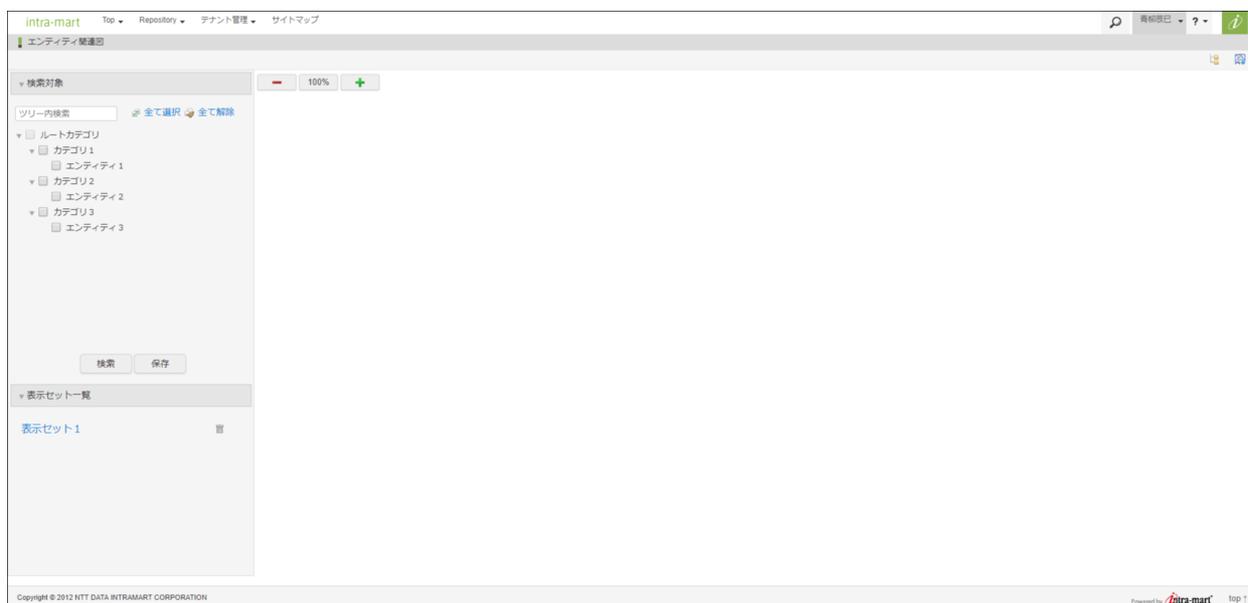
ツリー内検索で絞込を行っている場合には、ドラッグ&ドロップによる移動等は行えません。

関連図形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. ツールバーの表示切替アイコンをクリックします。



3. 関連図画面が表示されます。

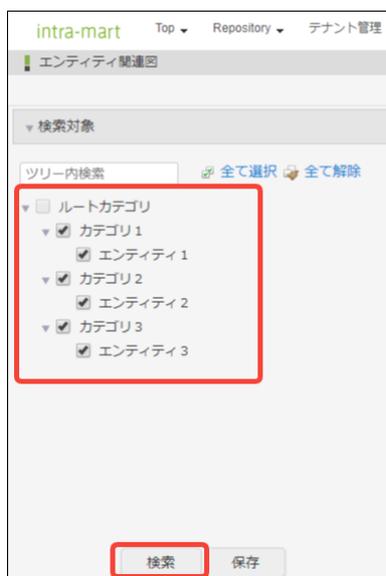


<画面項目>

項目	説明
画像出力	画面に表示されている情報を画像（PNG形式）で出力します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をツリー形式に変更します。
「-」ボタン	表示倍率を小さくします。
「100%」ボタン	初期表示時の倍率にリセットします。
「+」ボタン	表示倍率を大きくします。

項目	説明
検索対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ ツリー内検索 検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。 ■ エンティティツリー 登録されているカテゴリ、エンティティをツリー形式で表示します。 検索対象とする場合はチェックボックスをクリックします。 ■ 全て選択 全エンティティを選択状態にします。 絞り込み検索中は表示されません。 ■ 全て解除 選択状態を解除します。 ■ 検索 選択された情報をもとに 関連図の再描画を行います。 ■ 保存 選択された情報を表示セットとして保存します。
表示セット一覧	<p>保存されている表示セットを表示します。</p> <p>表示セット名クリックにより保存されている情報を復元します。</p>

4. 表示したいエンティティを選択し、「検索」ボタンをクリックします。



i コラム

エンティティツリーに表示されているカテゴリを選択した場合は、カテゴリ直下の エンティティを選択状態、または非選択状態にします。

カテゴリ

エンティティのカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

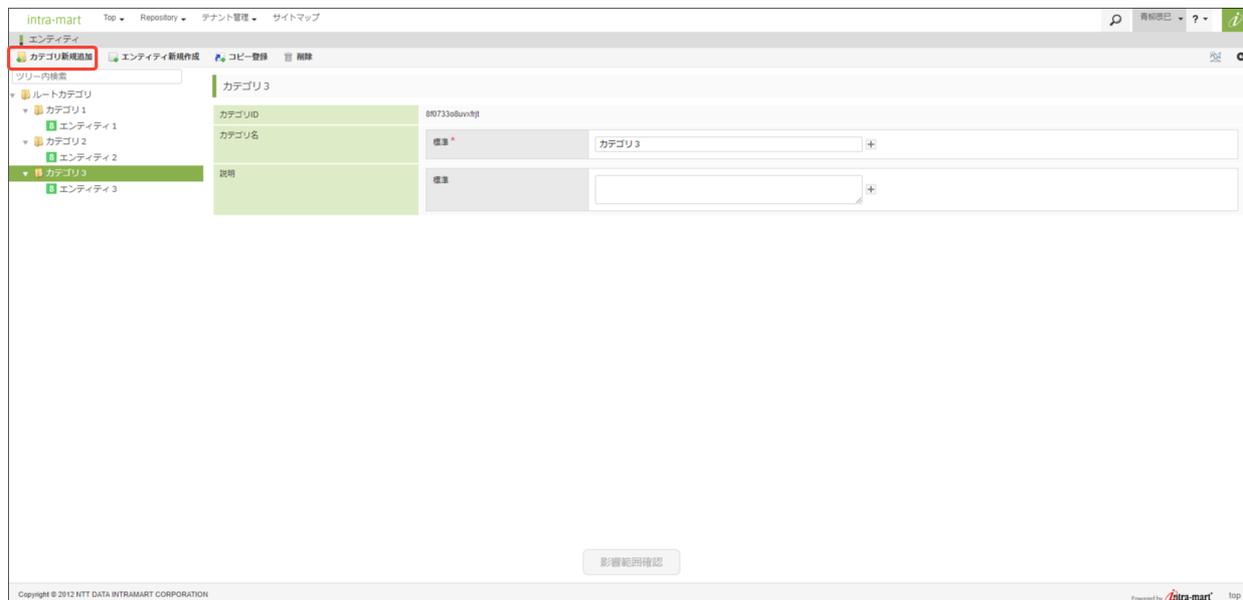
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



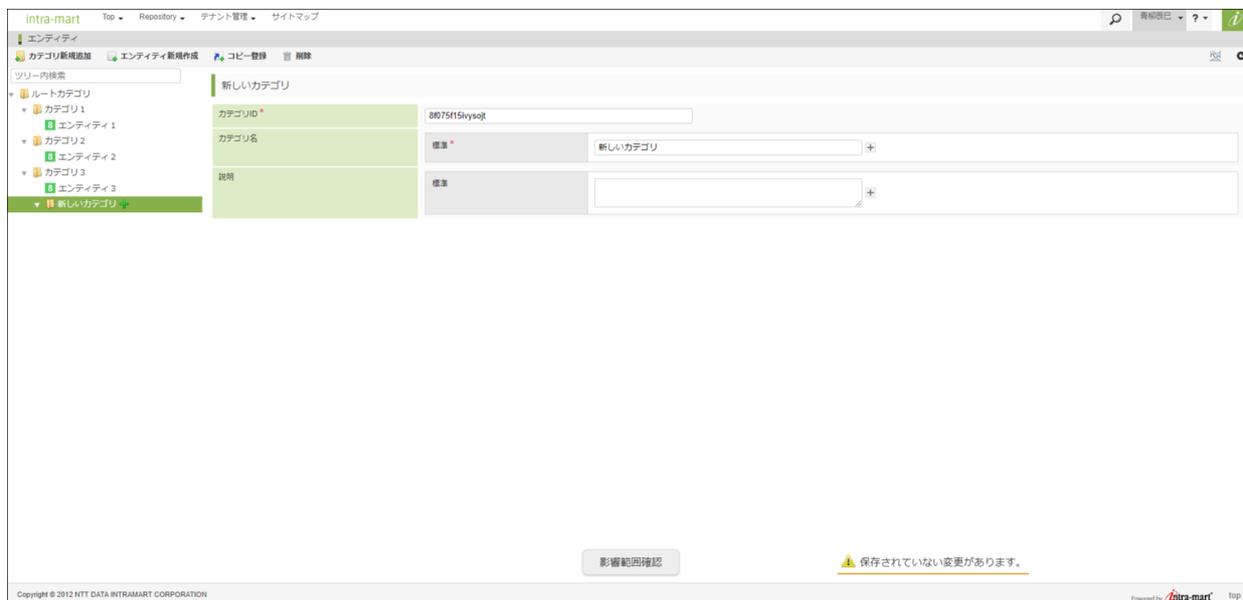
2. エンティティツリーで新規カテゴリを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規追加」をクリックします。



4. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

5. 必要項目を入力します。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

カテゴリを確認する

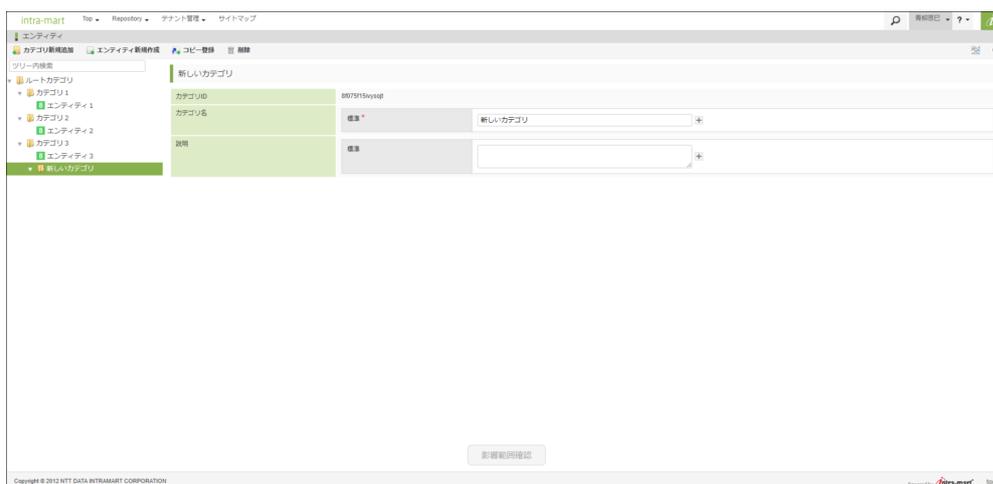
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. エンティティツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



カテゴリを編集する

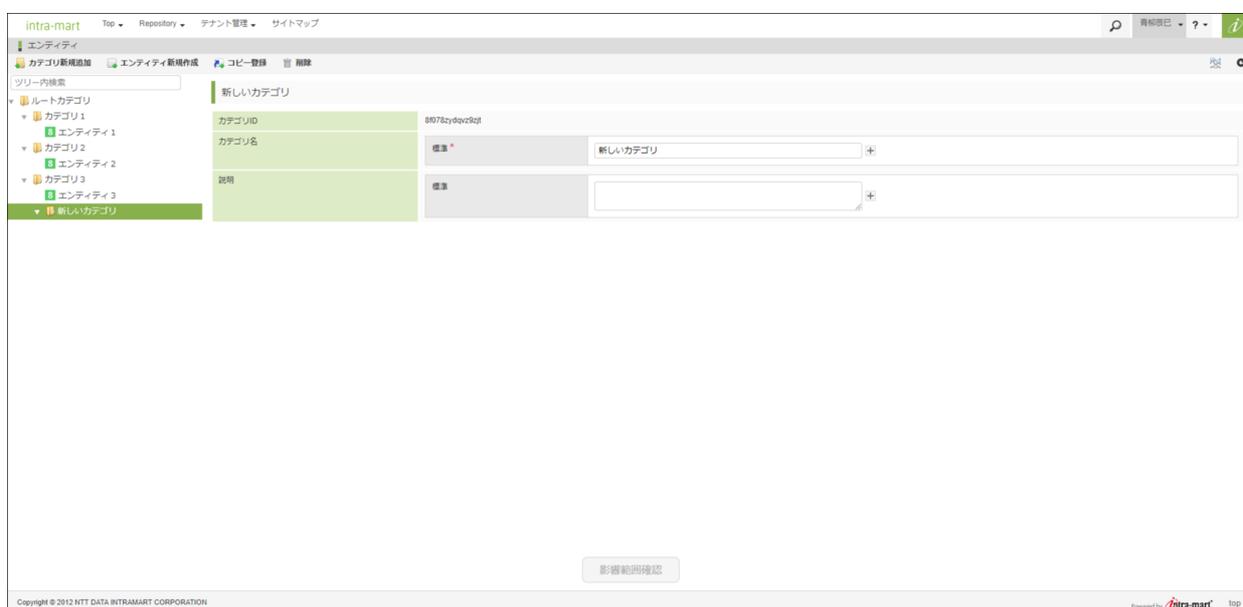
- カテゴリを更新する
- カテゴリを削除する

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

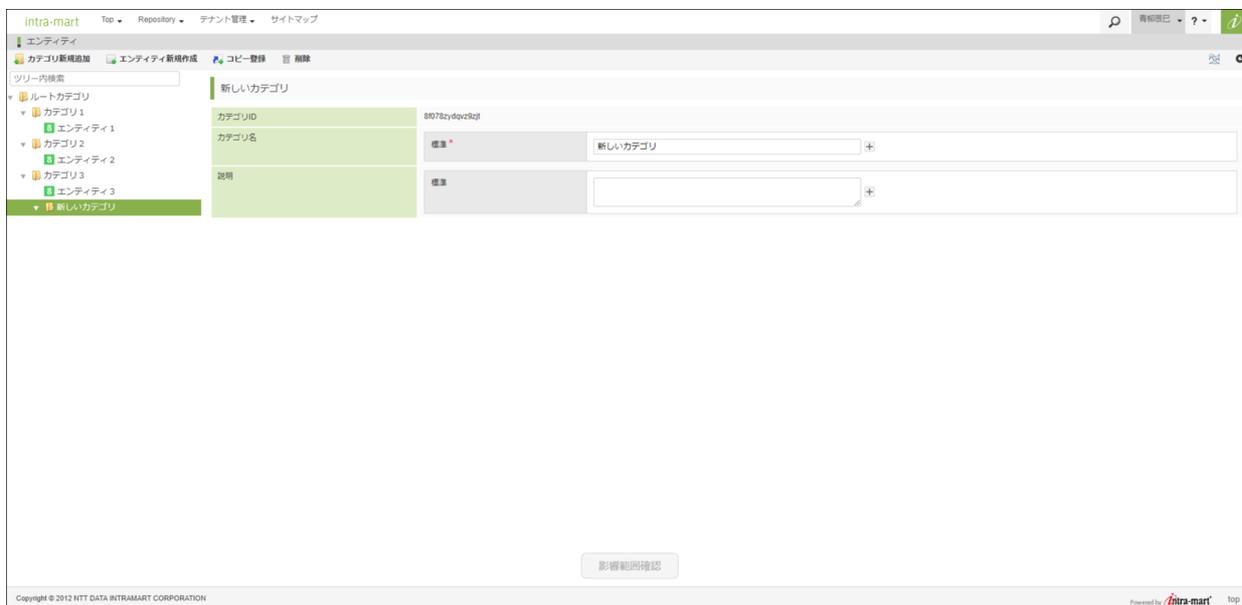
4. 更新内容を入力します。

カテゴリを削除する

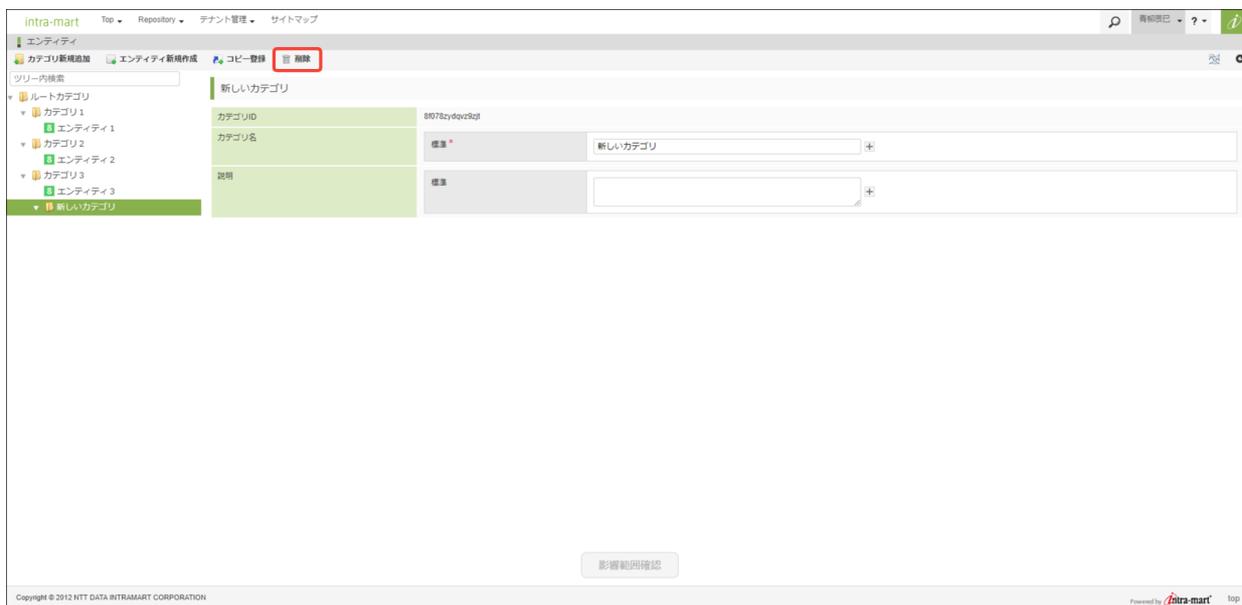
1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



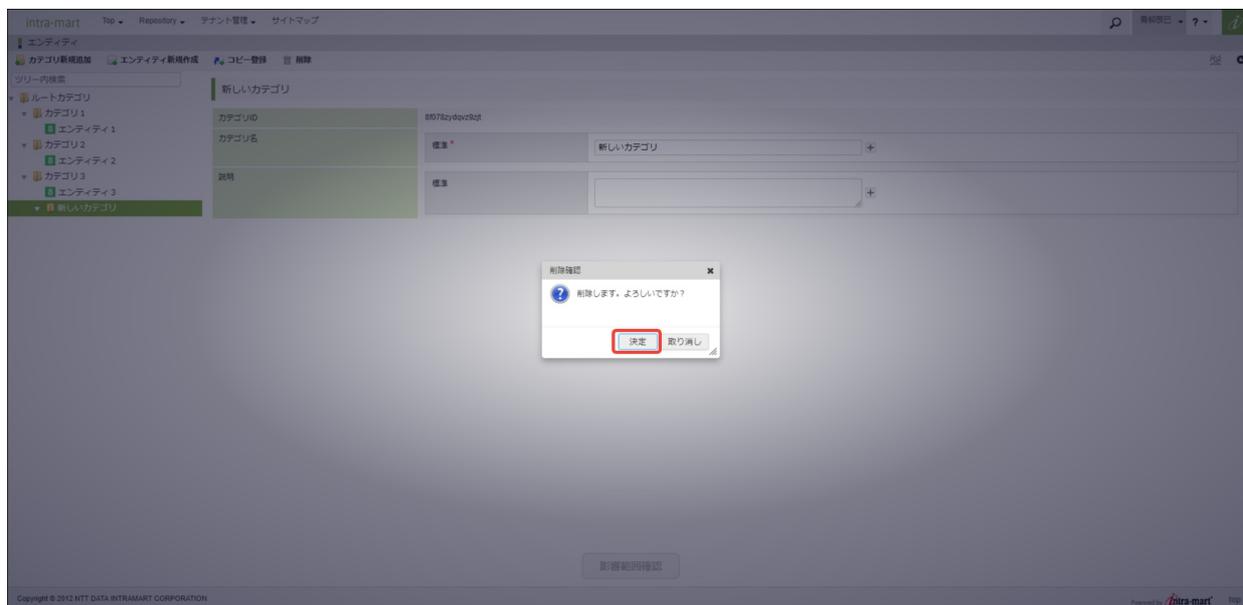
3. カテゴリ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



5. 削除確認画面で「決定」をクリックします。



i コラム

カテゴリ配下に エンティティが存在する場合は削除できません。

i コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

エンティティ

エンティティを扱う画面の機能について説明します。

エンティティを新規登録する

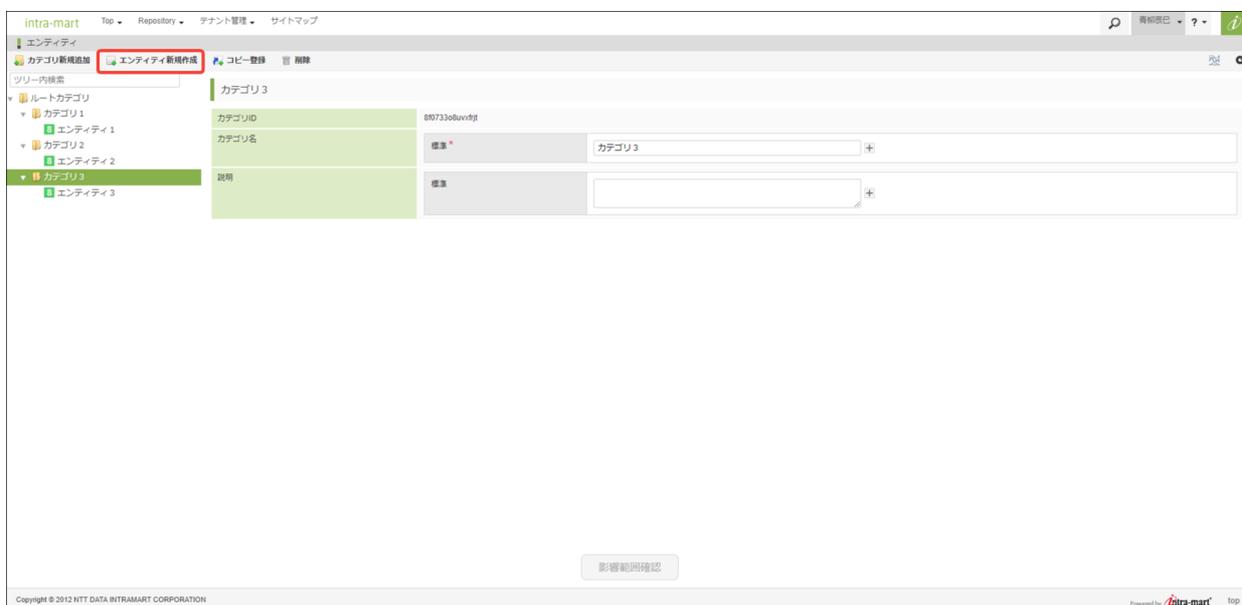
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



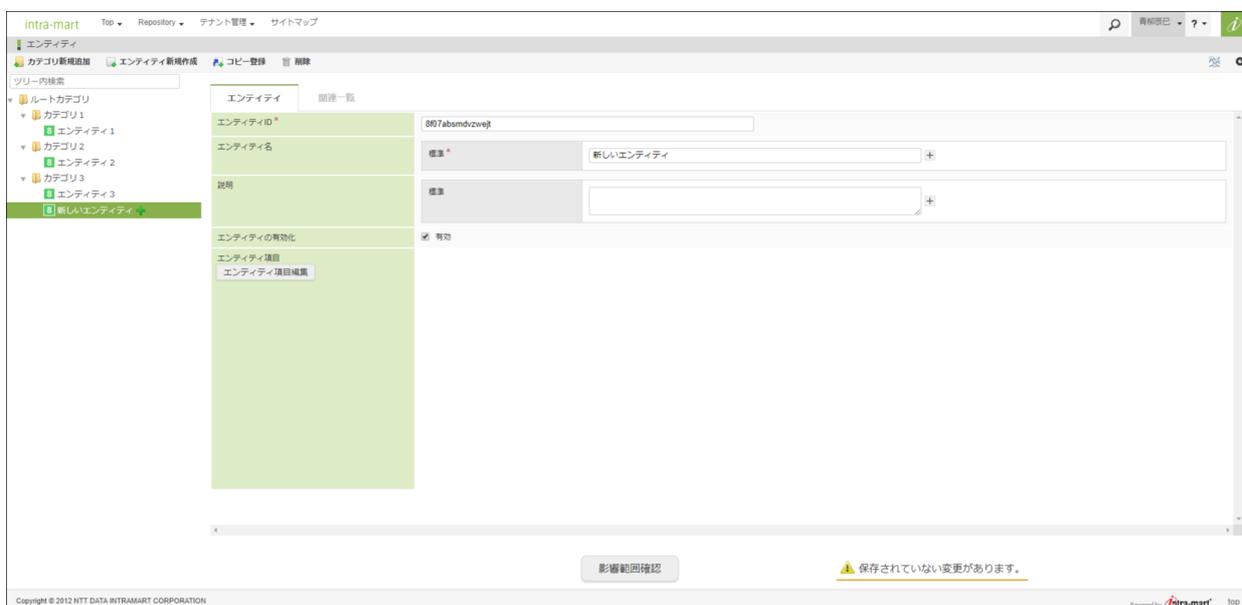
2. エンティティツリーで新規エンティティを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「項目新規作成」をクリックします。



4. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目 (エンティティ)>

項目	説明
エンティティID	エンティティを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エンティティ名	エンティティを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エンティティの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
エンティティの有効化	エンティティの有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主キー エンティティ項目を主キー(Primary Key)として扱う場合に指定します。 ■ 必須 エンティティ項目を必須(Not Null)として扱う場合に指定します。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名を表示します。



コラム

主キーに設定した項目は必須項目として扱われます。

1. 必要項目を入力します。
2. 「[エンティティ項目](#)」の手順をもとに、エンティティ項目を追加します。
3. 「[関連項目](#)」の手順をもとに、関連情報を追加します。



コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エンティティを確認する

ツリー上で確認する

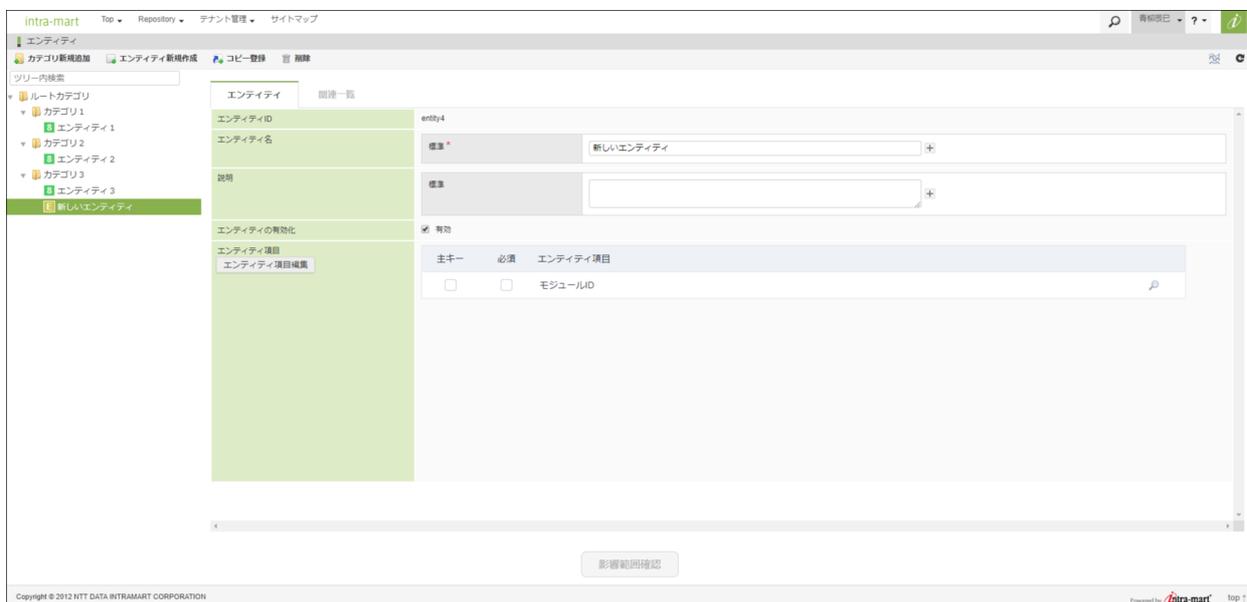
1. 「[サイトマップ](#)」 - 「[Repository](#)」 - 「[エンティティ一覧](#)」をクリックし、「[エンティティ一覧](#)」画面を表示します。



2. エンティティツリーから確認を行うエンティティをクリックします。

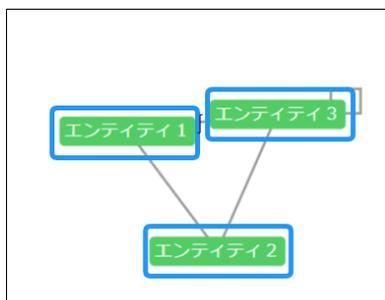


3. エンティティ情報が表示されます。



関連図上で確認する

1. 「エンティティ一覧画面」の手順をもとに、関連図形式で表示します。
2. 関連図に表示されている「エンティティ」をダブルクリックします。



3. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目 (エンティティ情報 - エンティティタブ) >

項目	説明
ID	選択された エンティティのIDを表示します。
名前	選択された エンティティの名称を表示します。
種別	選択された エンティティの種別を表示します。
名前	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準 選択された エンティティの名称 (標準) を表示します。 ■ 日本語 選択された エンティティの名称 (日本語) を表示します。 ■ 英語 選択された エンティティの名称 (英語) を表示します。 ■ 中国語 (中華人民共和国) 選択された エンティティの名称 (中国語 (中華人民共和国)) を表示します。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準 選択された エンティティの説明 (標準) を表示します。 ■ 日本語 選択された エンティティの説明 (日本語) を表示します。 ■ 英語 選択された エンティティの説明 (英語) を表示します。 ■ 中国語 (中華人民共和国) 選択された エンティティの説明 (中国語 (中華人民共和国)) を表示します。
エンティティの有効化	選択された エンティティの有効、無効を表示します。
エンティティ項目	選択された エンティティの エンティティ項目を表示します。

<画面項目 (エンティティ情報 - 関連一覧タブ) >

項目	説明
関連ID	関連を一意に表す文字列を表示します。
エンティティ名	関連元となる エンティティ名を表示します。

項目	説明
エンティティ項目	関連先となる エンティティ項目を表示します。
多重度	多重度を表示します。
エンティティ名	関連先となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連先となるエンティティ項目を表示します。
コメント	コメントを表示します。

エンティティを編集する

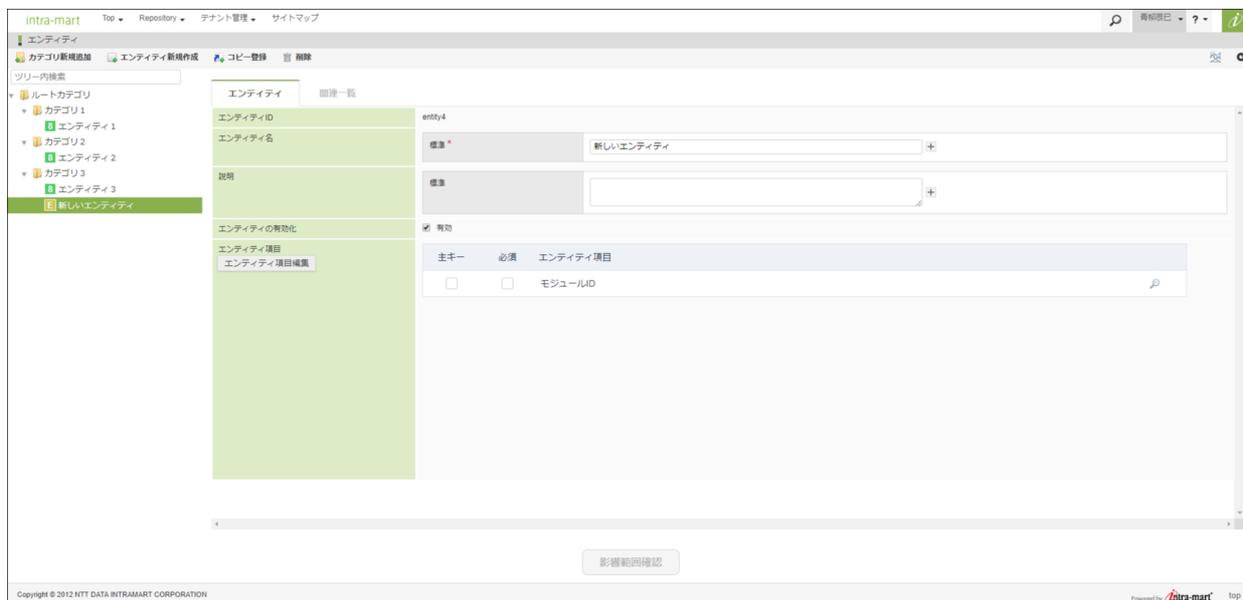
- [エンティティを更新する](#)
- [エンティティを削除する](#)

エンティティを更新する

1. 「[エンティティ一覧画面](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから更新を行うエンティティをクリックします。



3. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目（エンティティ）>

項目	説明
エンティティID	エンティティを一意に表す文字列を入力します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
エンティティ名	エンティティを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エンティティの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
エンティティの有効化	エンティティの有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主キー エンティティ項目を主キー(Primary Key)として扱う場合に指定します。 ■ 必須 エンティティ項目を必須(Not Null)として扱う場合に指定します。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名を表示します。

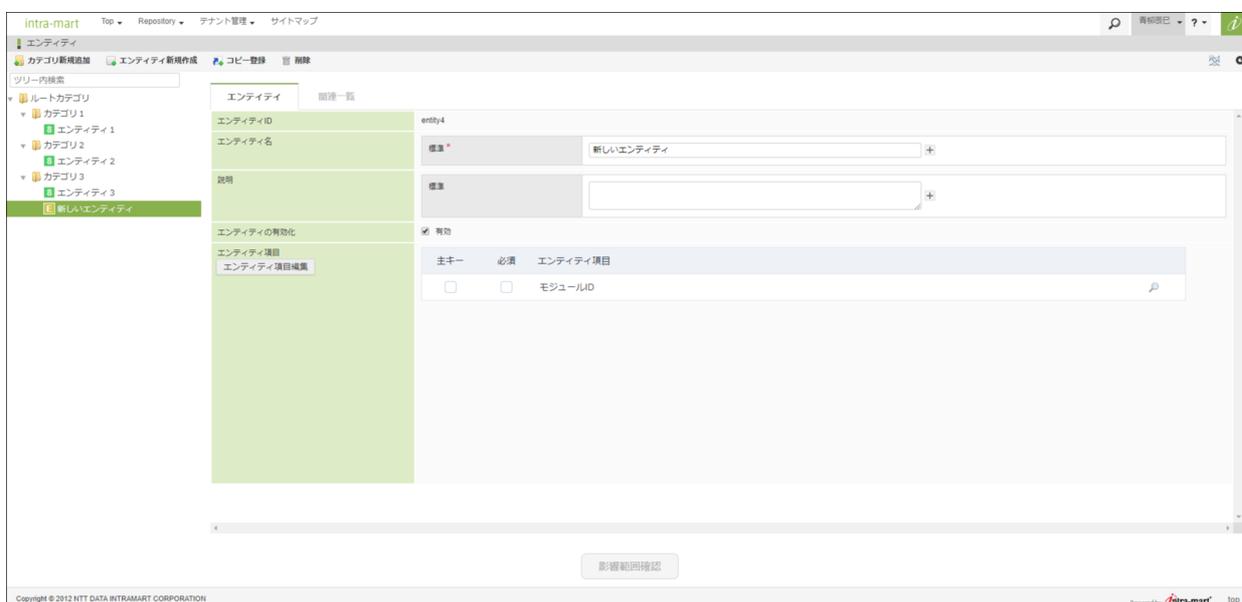
4. 更新内容を入力します。

エンティティを削除する

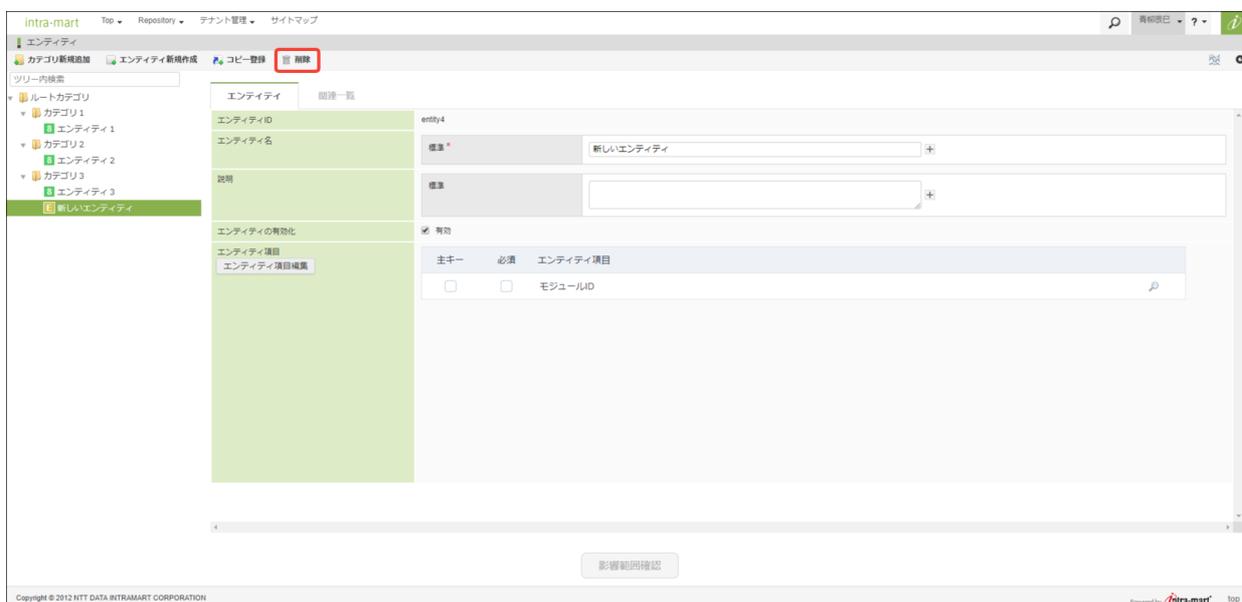
1. 「[エンティティ一覧画面](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから削除を行うエンティティをクリックします。



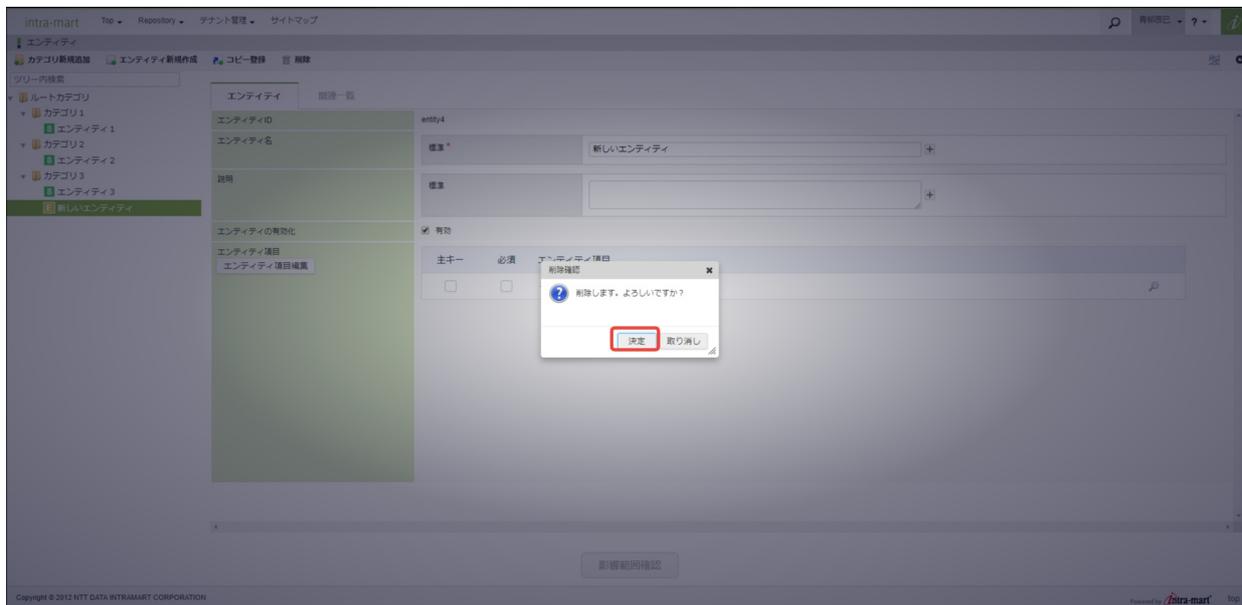
3. エンティティ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



5. 削除確認画面で「決定」をクリックします。



コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、 **影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

エンティティ項目

エンティティ項目を扱う画面の機能について説明します。

エンティティ項目を確認する

1. 「**エンティティを確認する**」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「エンティティ項目編集」ボタンをクリックし、辞書項目/エイリアス検索画面を開きます。

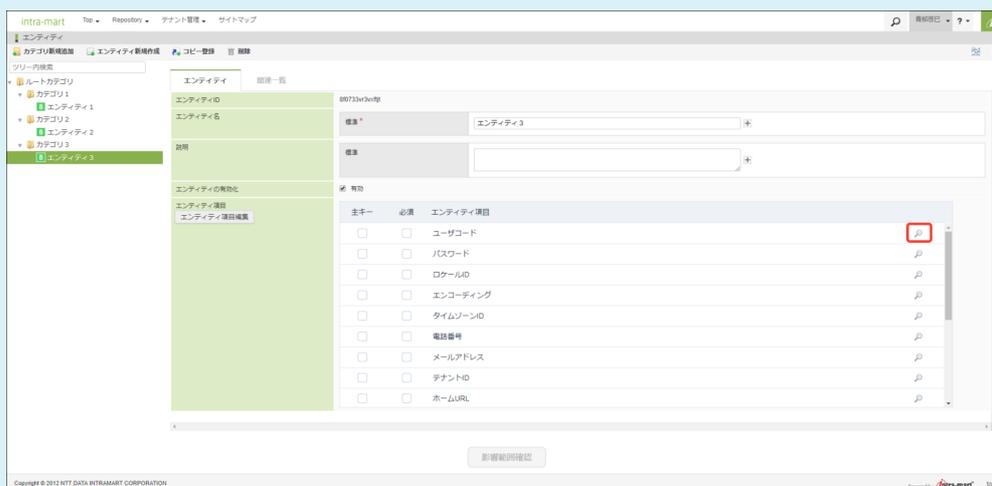


3. 辞書項目/エイリアス検索画面の選択済み項目に選択されている項目が表示されます。



コラム

エンティティ情報画面の虫眼鏡アイコンクリックにより、エンティティ項目の詳細を確認できます。



エンティティ項目を編集する

1. 「[エンティティを確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「エンティティ項目編集」ボタンをクリックし、辞書項目/エイリアス検索画面を開きます。

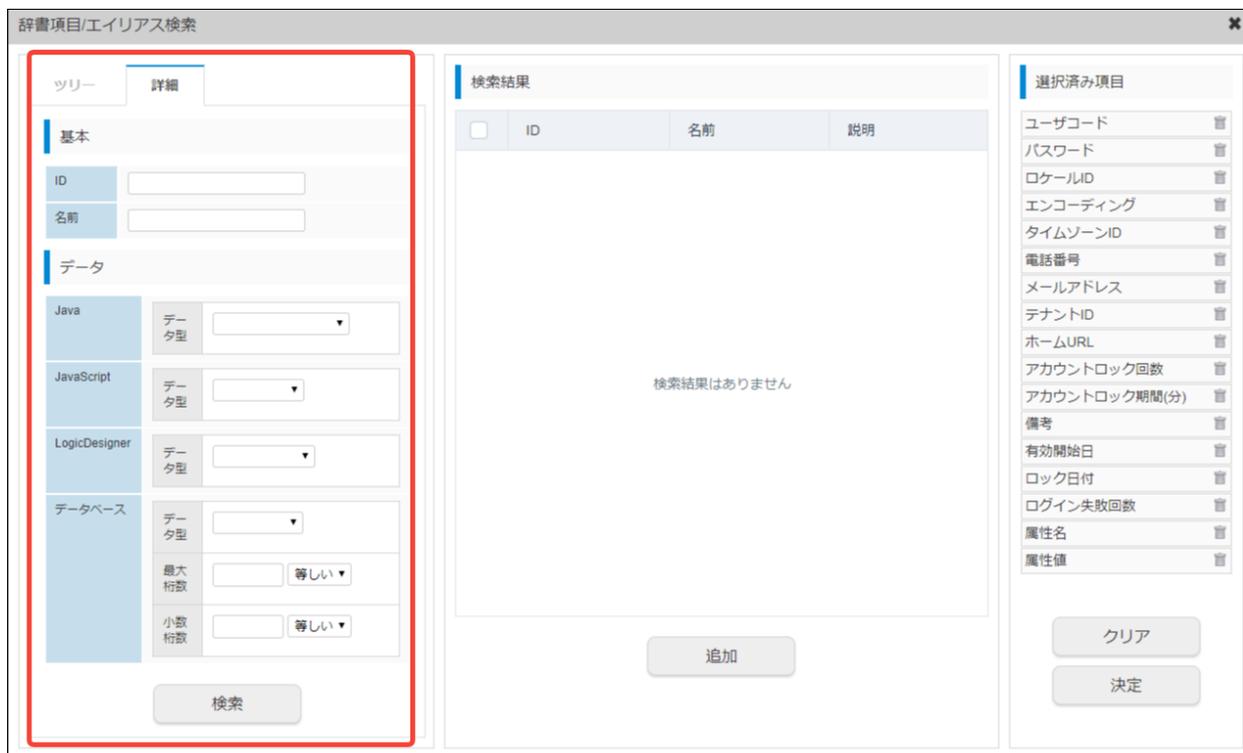


<画面項目（辞書項目/ エイリアス検索 ツリー）>



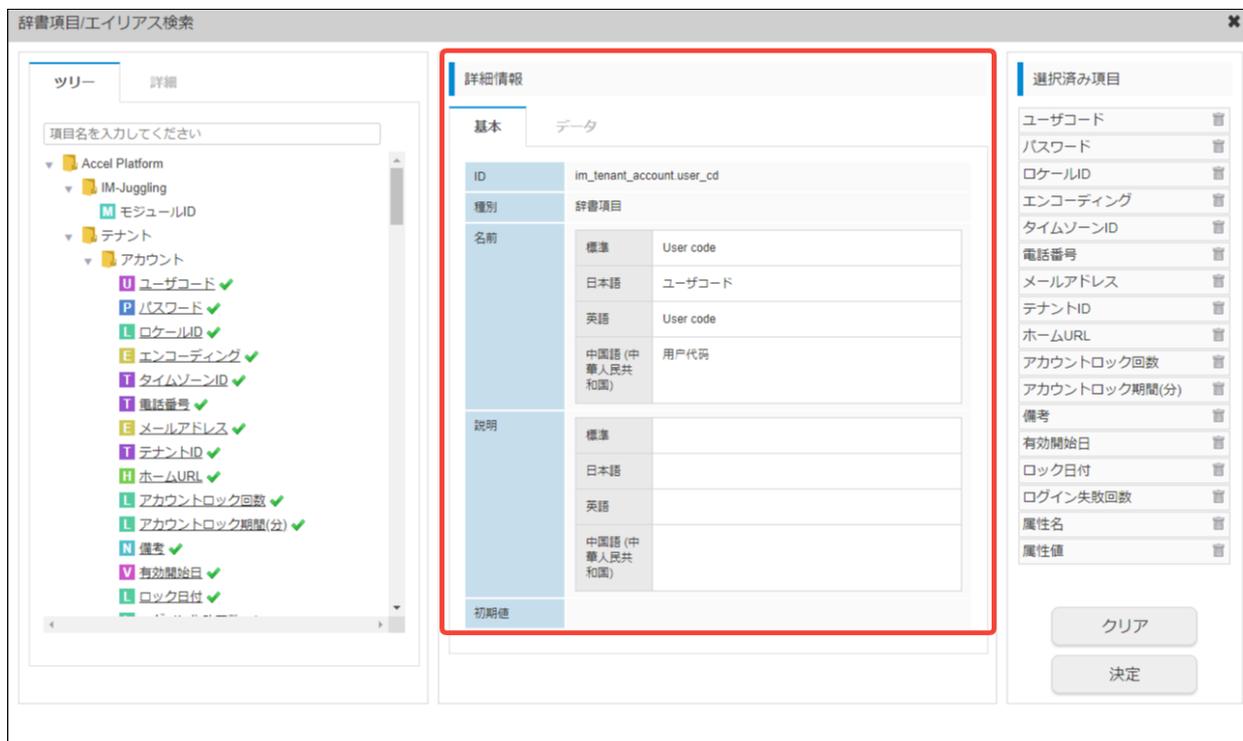
項目	説明
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
項目一覧ツリー	登録されている カテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。 辞書項目クリックにより、選択済み項目に追加します。

<画面項目（辞書項目/ エイリアス検索 詳細）>



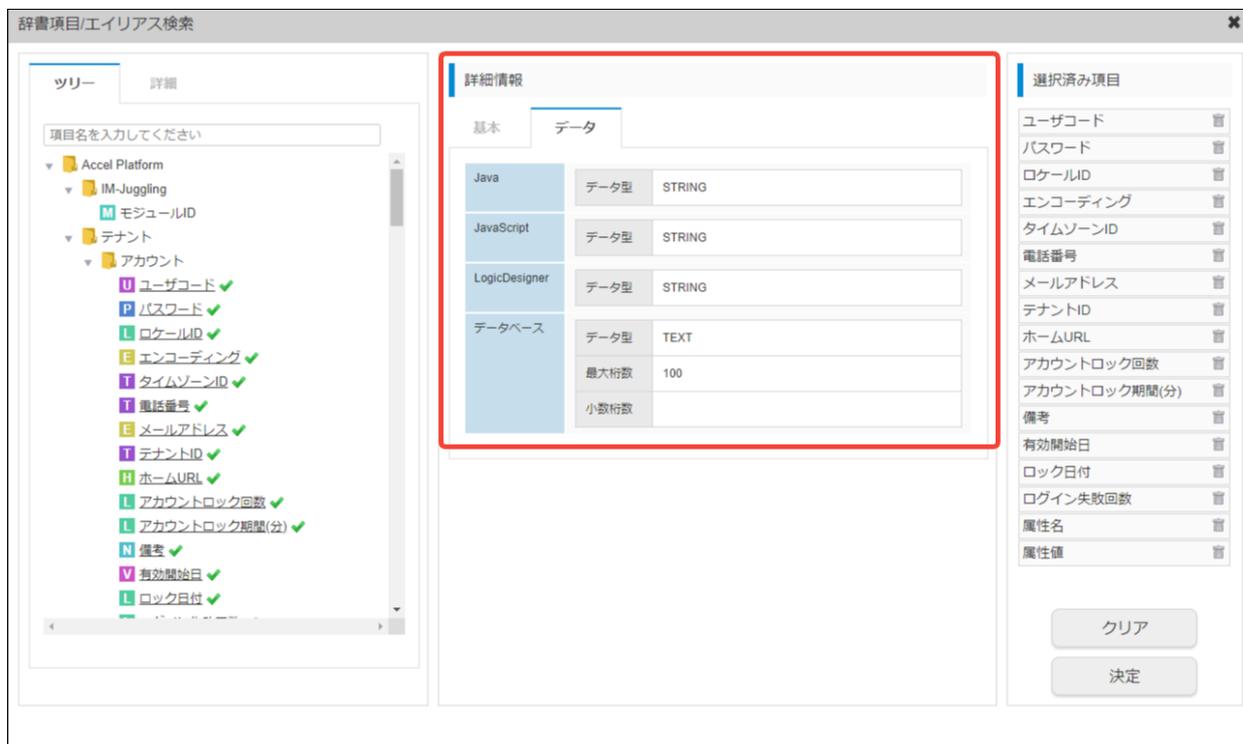
項目	説明
ID	検索したい項目のID（の一部）を入力します。
名前	登録されている カテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。
Database	<ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 詳細情報 - 基本）>



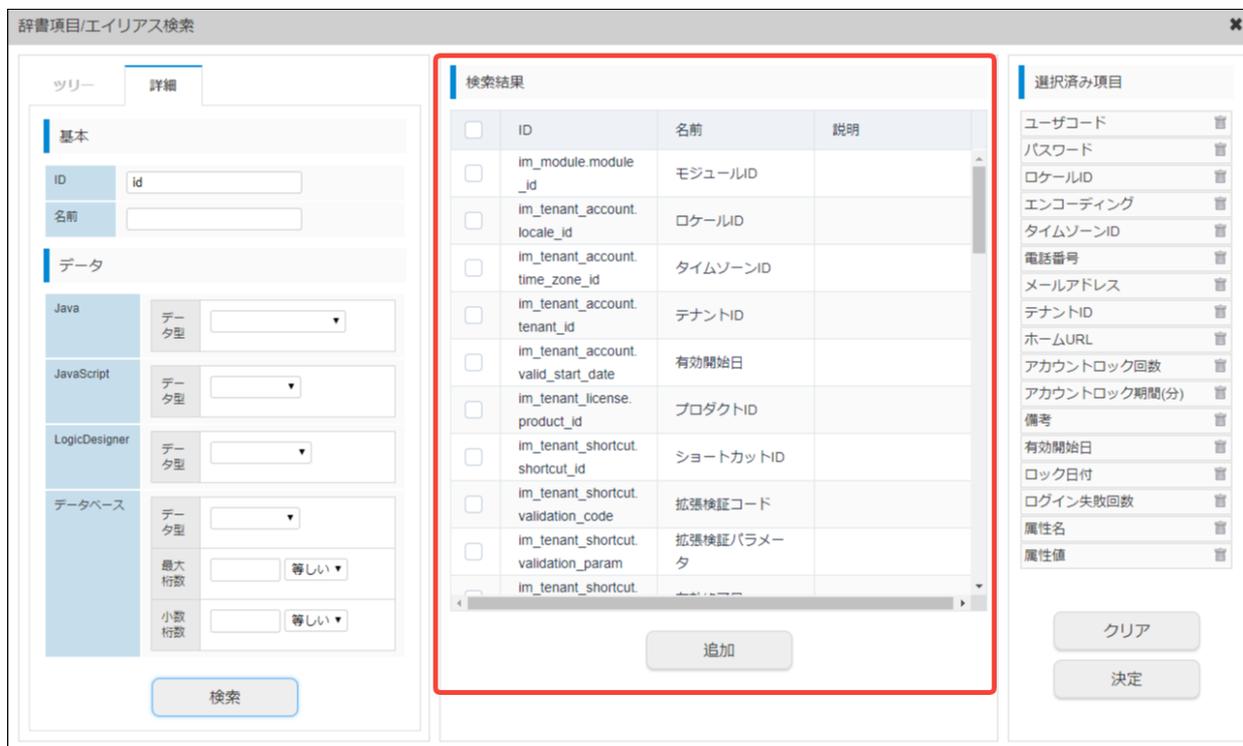
項目	説明
ID	選択された 辞書項目、または、エイリアスのIDを表示します。
名前	選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称を表示します。
種別	選択された 辞書項目、または、エイリアスの種別を表示します。
名前	<ul style="list-style-type: none"> 標準 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（標準）を表示します。 日本語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（日本語）を表示します。 英語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（英語）を表示します。 中国語（中華人民共和国） 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（中国語（中華人民共和国））を表示します。
説明	<ul style="list-style-type: none"> 標準 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（標準）を表示します。 日本語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（日本語）を表示します。 英語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（英語）を表示します。 中国語（中華人民共和国） 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（中国語（中華人民共和国））を表示します。
初期値	選択された 辞書項目、または、エイリアスの初期値を表示します。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 詳細情報 - データ）>



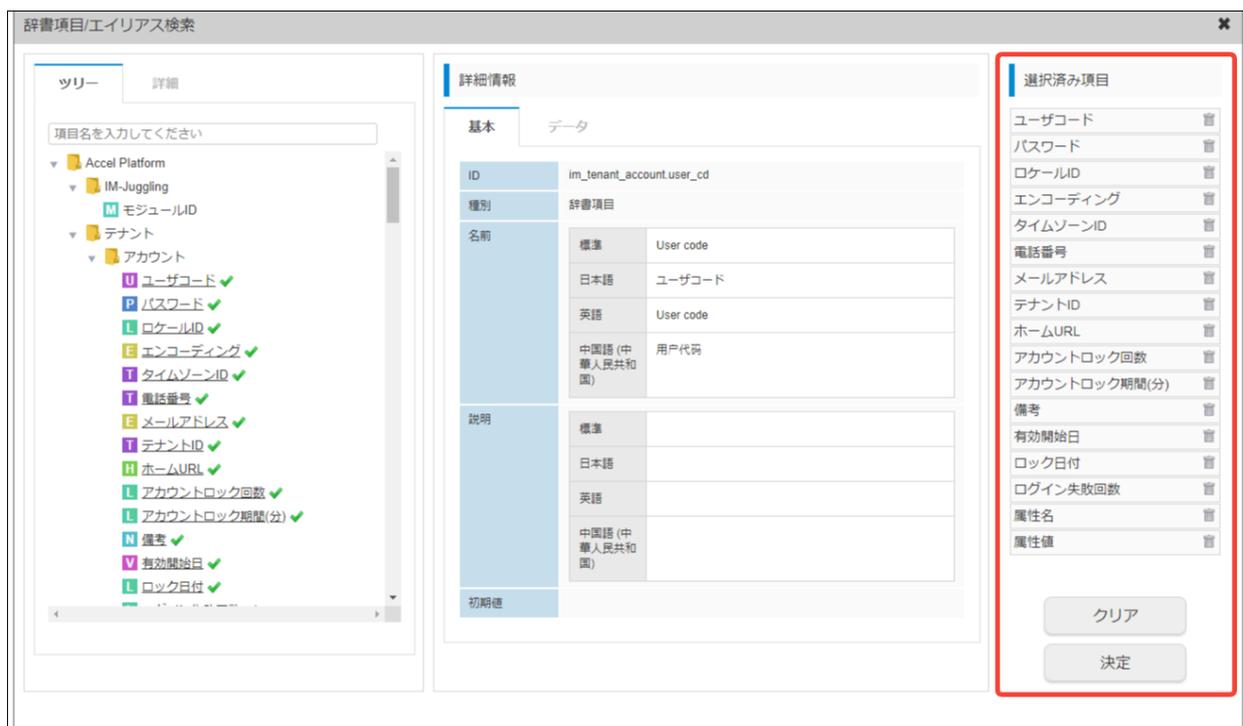
項目	説明
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが Java で使用された時のデータ型を表示します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが JavaScript で使用された時のデータ型を表示します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが IM-LogicDesigner で使用された時のデータ型を表示します。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが データベース で使用された時のデータ型を表示します。 最大桁数 選択された 辞書項目、または、エイリアスの最大桁数を表示します。 小数桁数 選択された 辞書項目、または、エイリアスの小数桁数を表示します。

<画面項目 (辞書項目/ エイリアス検索 検索結果) >



項目	説明
ID	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスのIDを表示します。
名前	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスの名前を表示します。
説明	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスの説明を表示します。
追加	辞書項目、または、エイリアスを選択済み項目に追加します。 追加したい 辞書項目、または、エイリアスのチェックボックスにチェックをいれ、「追加」をクリックしてください。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 選択済み項目）>



項目	説明
名称	選択されている項目を表示します。
削除アイコン	選択されている項目を削除します。
クリアボタン	選択されている項目を全て削除します。
決定ボタン	表示されている項目を エンティティ項目として確定します。



コラム

ドラッグ & ドロップにて項目の順番を変更できます。

- 辞書項目を選択し、決定ボタンをクリックします。

関連項目

関連項目を扱う画面の機能について説明します。

関連項目を新規登録する

- 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、「関連項目一覧」画面を表示します。
- 「関連項目一覧」画面の関連登録ボタンをクリックします。

編成	関連ID	エンティティ	エンティティ項目	多重度	エンティティ	エンティティ項目	コメント	削除
	relation1	エンティティ 1	1 ユーザコード	1:1	エンティティ 2	1 ユーザコード		管理
	relation3	エンティティ 3	1 ロケールID	1:1	エンティティ 1	1 ロケールID		

影響範囲確認

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

- 「関連項目」画面が表示されるので値を入力していきます。

<画面項目（関連項目 - 基本情報の入力）>

項目	説明
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連ID 関連を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 関連元の エンティティを表示します。 関連元 エンティティは選択している エンティティとなり編集不可です。 ■ 多重度 関連元、関連先の多重度を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 関連先 関連先の エンティティを設定します。 この項目は必須項目です。
次へ	「関連項目 - エンティティ項目の指定」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - エンティティ項目の指定）>

1 基本情報の入力
2 エンティティ項目の指定
3 登録内容確認

基本情報

関連ID

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ 1	1:1	エンティティ 2

エンティティ項目

関連元	関連先	削除
<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 80%;" type="text"/>	

+ 追加

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 関連元 エンティティの エンティティ項目を設定します。 関連先 関連先 エンティティの エンティティ項目を設定します。
戻る	「関連項目 - 基本情報の入力」画面を表示します。
次へ	「関連項目 - 登録内容確認」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - 登録内容確認）>

関連項目
✕

✓
 基本情報の入力

✓
 エンティティ項目の指定

3
 登録内容確認

基本情報

関連ID	relationId
------	------------

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ1	1:1	エンティティ2

選択済みエンティティ項目

関連元	関連先
パスワード	パスワード
ユーザコード	ユーザコード

コメント

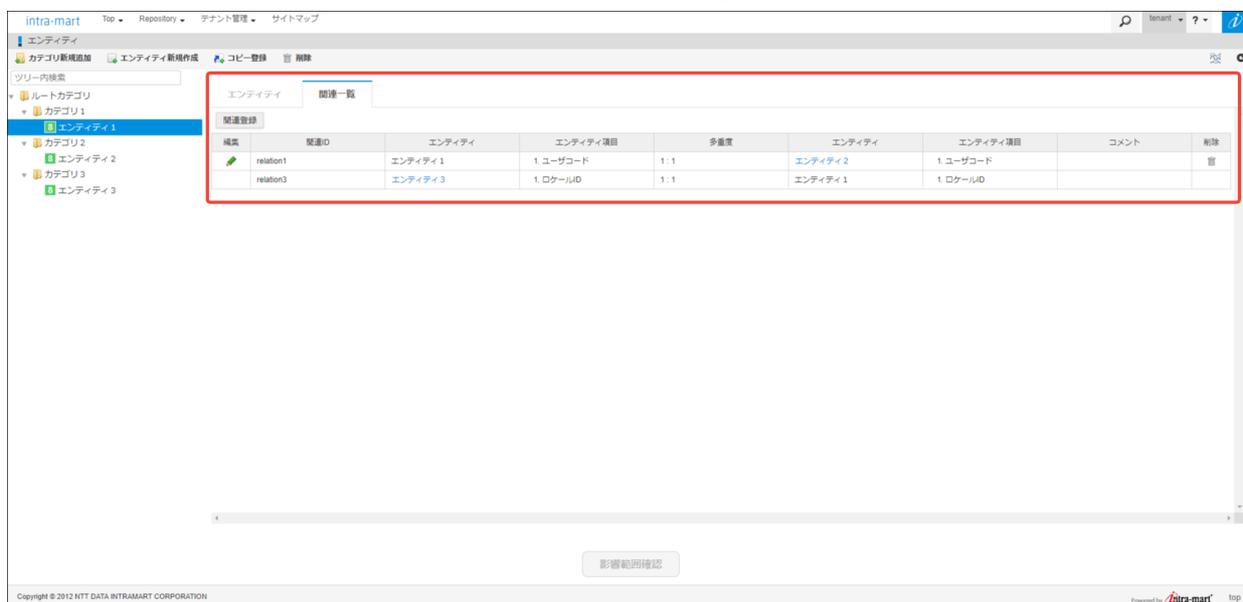
戻る

追加

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
選択済み エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連元 エンティティのエンティティ項目を表示します。 関連先 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連先 エンティティのエンティティ項目を表示します。
コメント	コメントを入力します。
追加	関連項目を追加します。
戻る	「エンティティ項目の指定」画面を表示します。

関連項目を確認する

1. 「[エンティティを確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「関連項目一覧」タブをクリックし、関連項目一覧画面を開きます。



<画面項目（関連項目一覧）>

項目	説明
編集アイコン	関連編集画面を表示します。
関連ID	関連を一意に表す文字列を表示します。
エンティティ名	関連元となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連先となる エンティティ項目を表示します。
多重度	多重度を表示します。
エンティティ名	関連先となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連先となるエンティティ項目を表示します。
コメント	コメントを表示します。
削除アイコン	関連情報を削除します。



コラム

編集、削除アイコンは、選択している エンティティが 関連元 エンティティと同一の場合に表示されます。

関連項目を編集する

- 関連を更新する
- 関連を削除する

関連を更新する

1. 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、関連項目一覧を表示します。
2. 関連項目一覧 から更新を行う関連項目の編集アイコンをクリックします。



関連項目が表示されます。

<画面項目（関連項目 - 基本情報の入力）>

項目	説明
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連ID 関連を一意に表す文字列を入力します。 この項目は編集不可です。
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 関連元の エンティティを表示します。 この項目は編集不可です。 ■ 多重度 関連元、関連先の多重度を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 関連先 関連先の エンティティを設定します。 この項目は必須項目です。
次へ	「関連項目 - エンティティ項目の指定」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - エンティティ項目の指定）>

1
基本情報の入力

2
エンティティ項目の指定

3
登録内容確認

基本情報

関連ID

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ 1	1:1	エンティティ 2

エンティティ項目

関連元	関連先	削除
<input type="text" value="ユーザコード"/>	<input type="text" value="ユーザコード"/>	🗑

+ 追加

戻る
次へ

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 ■ 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 関連元 エンティティの エンティティ項目を設定します。 ■ 関連先 関連先 エンティティの エンティティ項目を設定します。
戻る	「関連項目 - 基本情報の入力」画面を表示します。
次へ	「関連項目 - 登録内容確認」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - 登録内容確認）>

関連項目
✕

✓
 基本情報の入力

✓
 エンティティ項目の指定

3
 登録内容確認

基本情報

関連ID	relation1
------	-----------

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ 1	1:1	エンティティ 2

選択済みエンティティ項目

関連元	関連先
ユーザコード	ユーザコード
ロケールID	ロケールID
パスワード	パスワード

コメント

戻る

更新

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
選択済み エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> 関連元 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連元 エンティティのエンティティ項目を表示します。 関連先 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連先 エンティティのエンティティ項目を表示します。
コメント	コメントを入力します。
更新	関連を更新します。
戻る	「エンティティ項目の指定」画面を表示します。

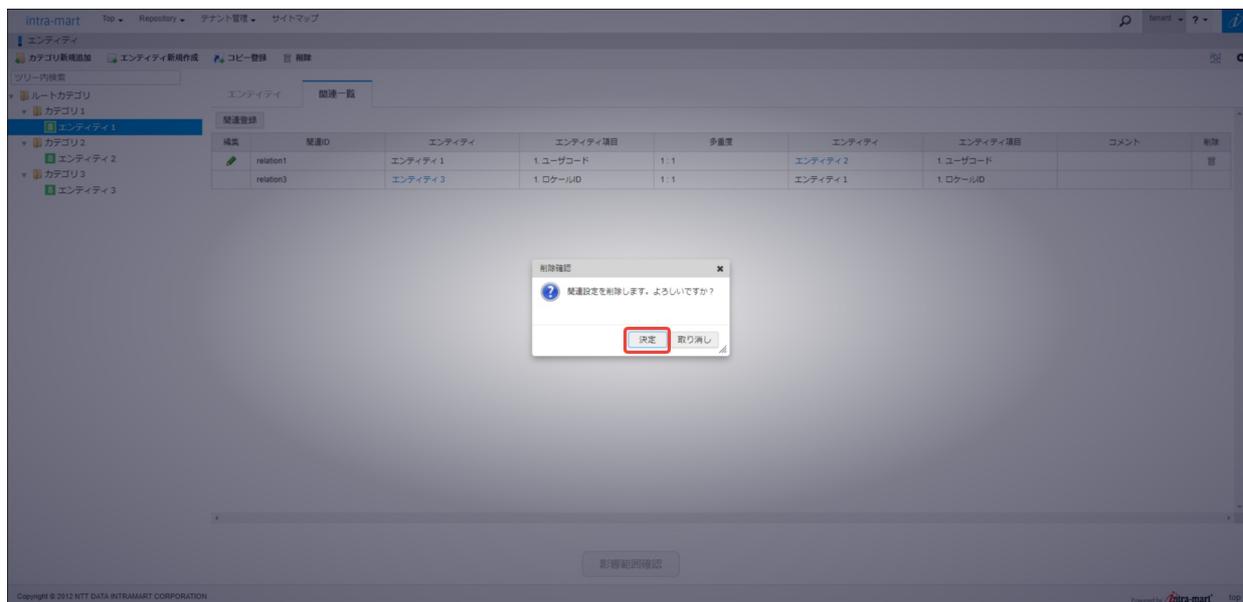
- 更新内容を入力します。

関連を削除する

- 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、関連項目一覧を表示します。
- 関連項目一覧 から削除を行う関連項目の削除アイコンをクリックします。

エンティティ		関連一覧						
編集	関連ID	エンティティ	エンティティ項目	多重度	エンティティ	エンティティ項目	コメント	削除
✚	relation1	エンティティ 1	1. ユーザコード	1:1	エンティティ 2	1. ユーザコード		✖
	relation3	エンティティ 3	1. ロケールID	1:1	エンティティ 1	1. ロケールID		

3. 削除確認画面で「決定」をクリックします。



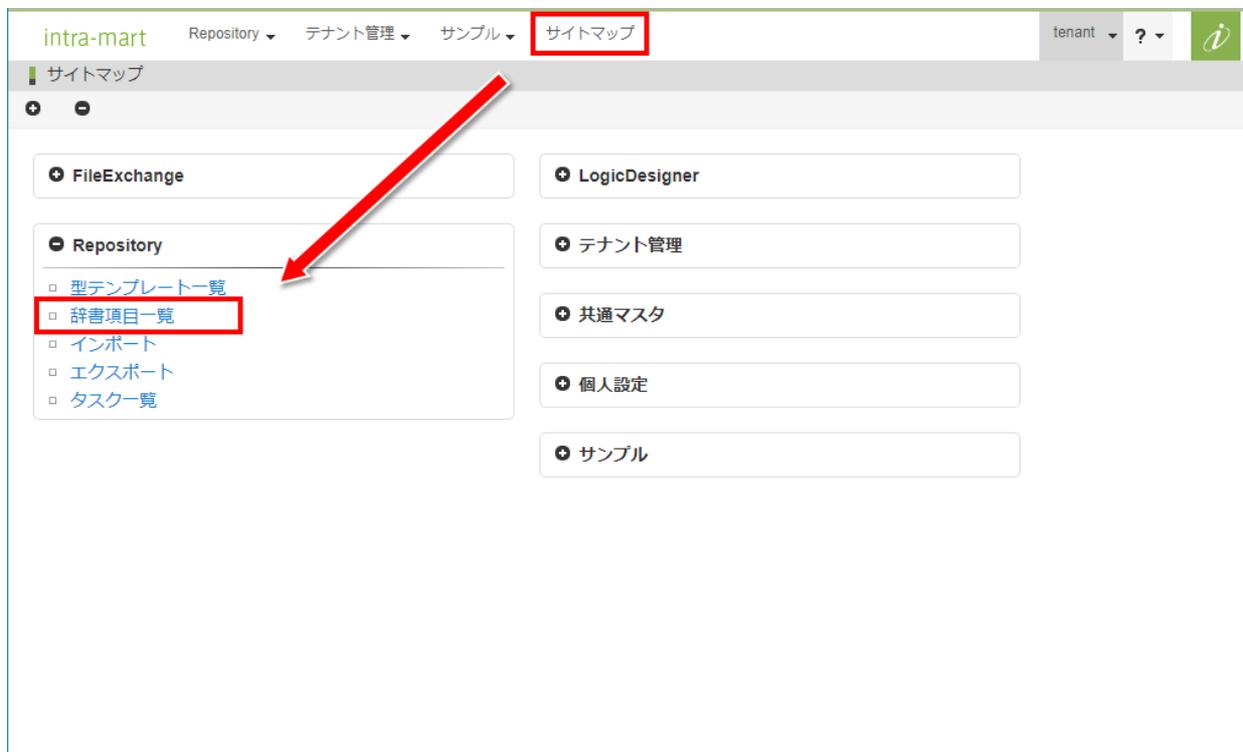
コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

ここではIM-Repositoryで影響範囲を扱う画面の機能について説明します。

影響範囲一覧の確認

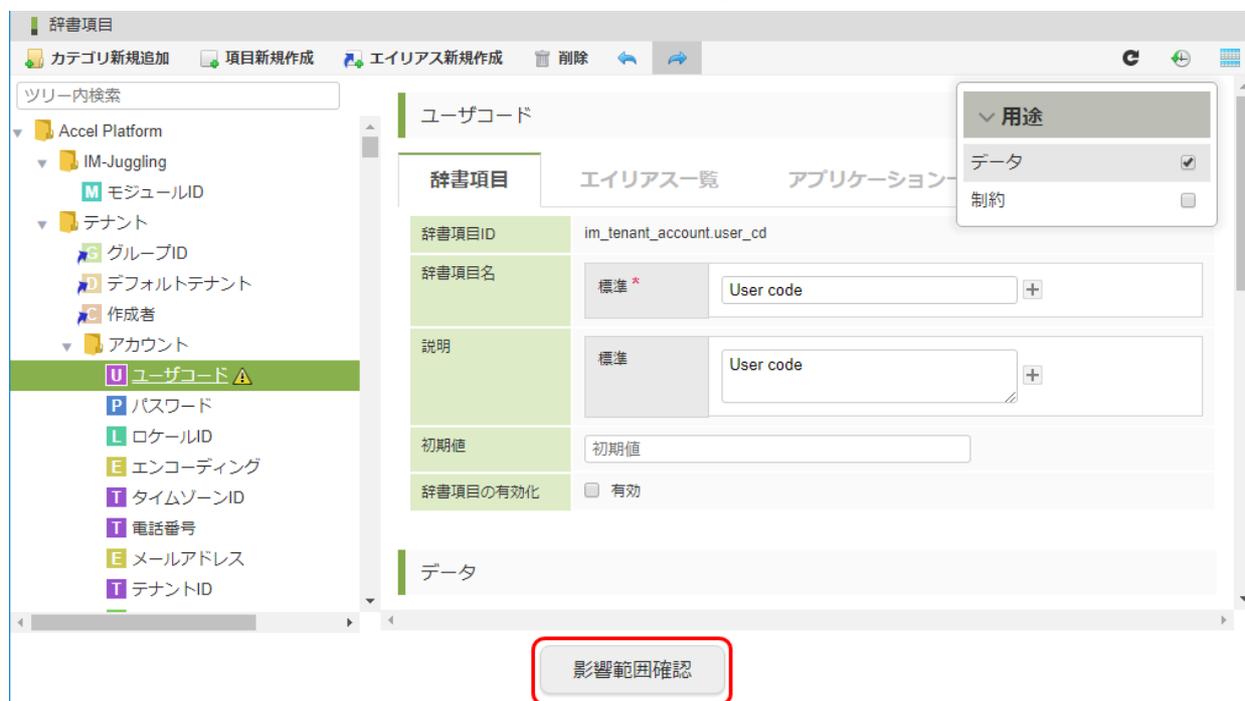
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



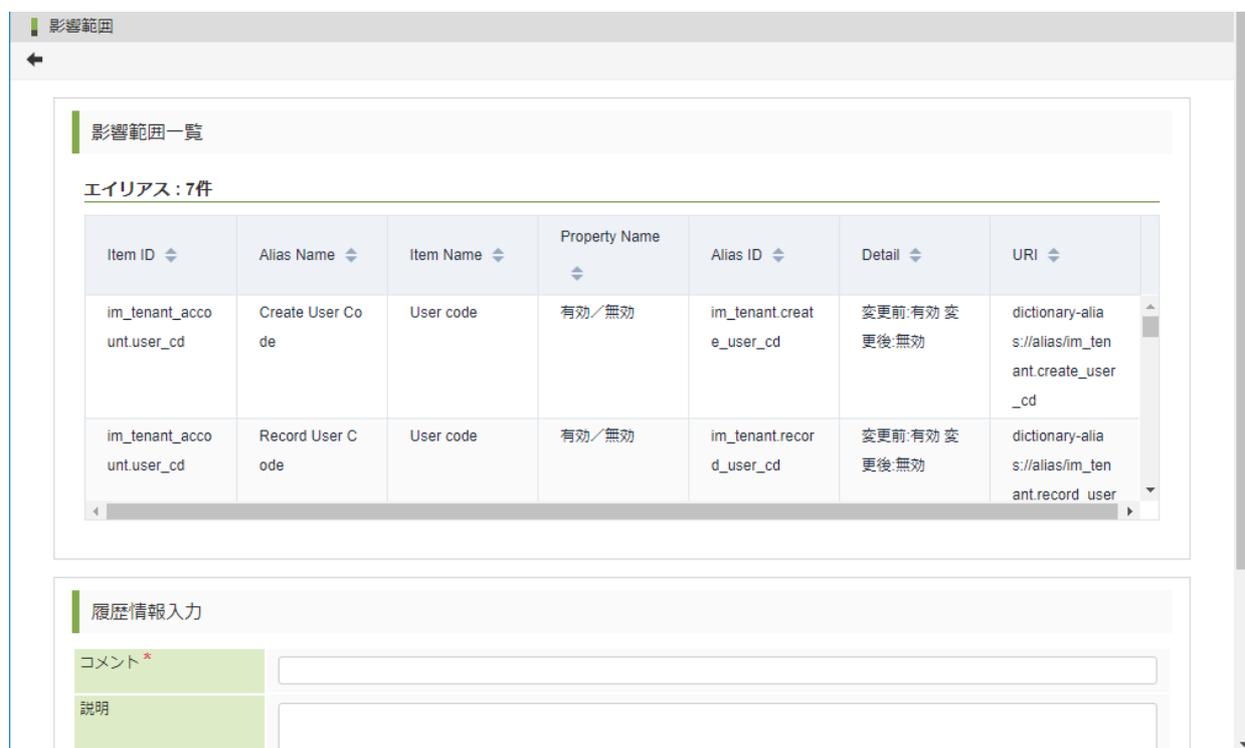
2. 項目一覧ツリーで新規作成、更新、または、削除を実行します。



3. 「影響範囲確認」ボタンをクリックします。

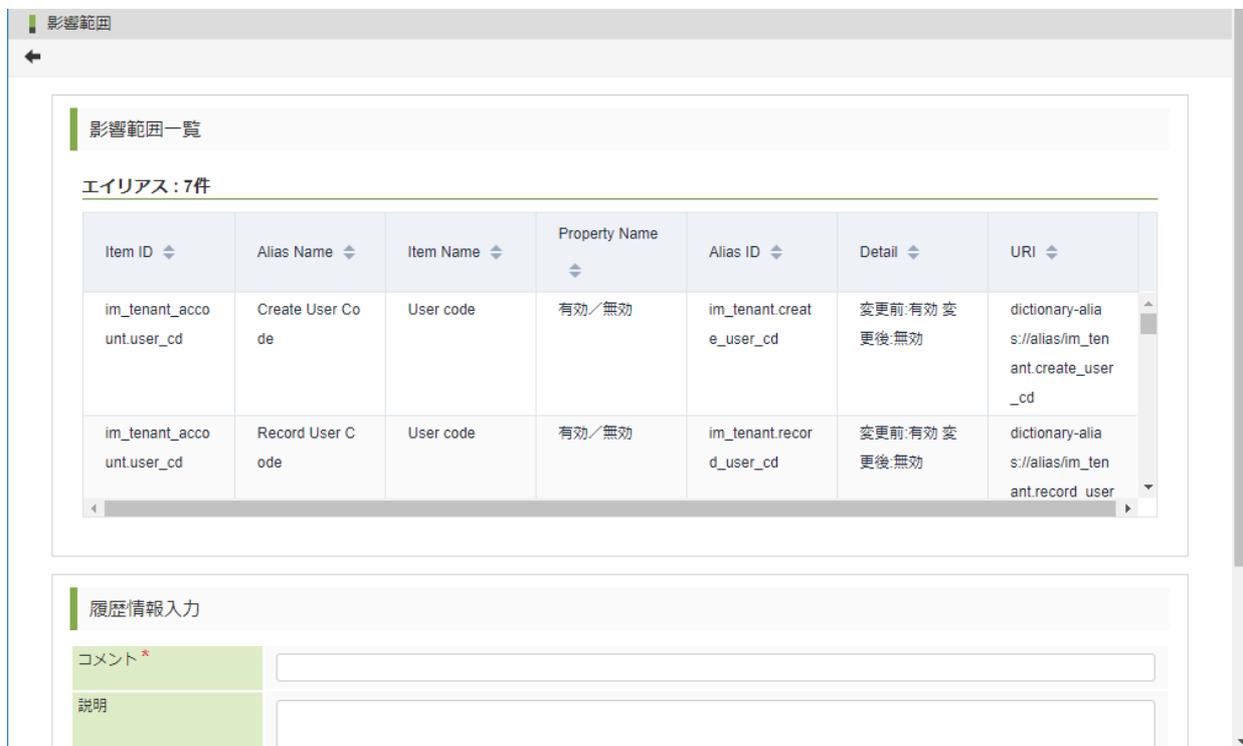


4. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。



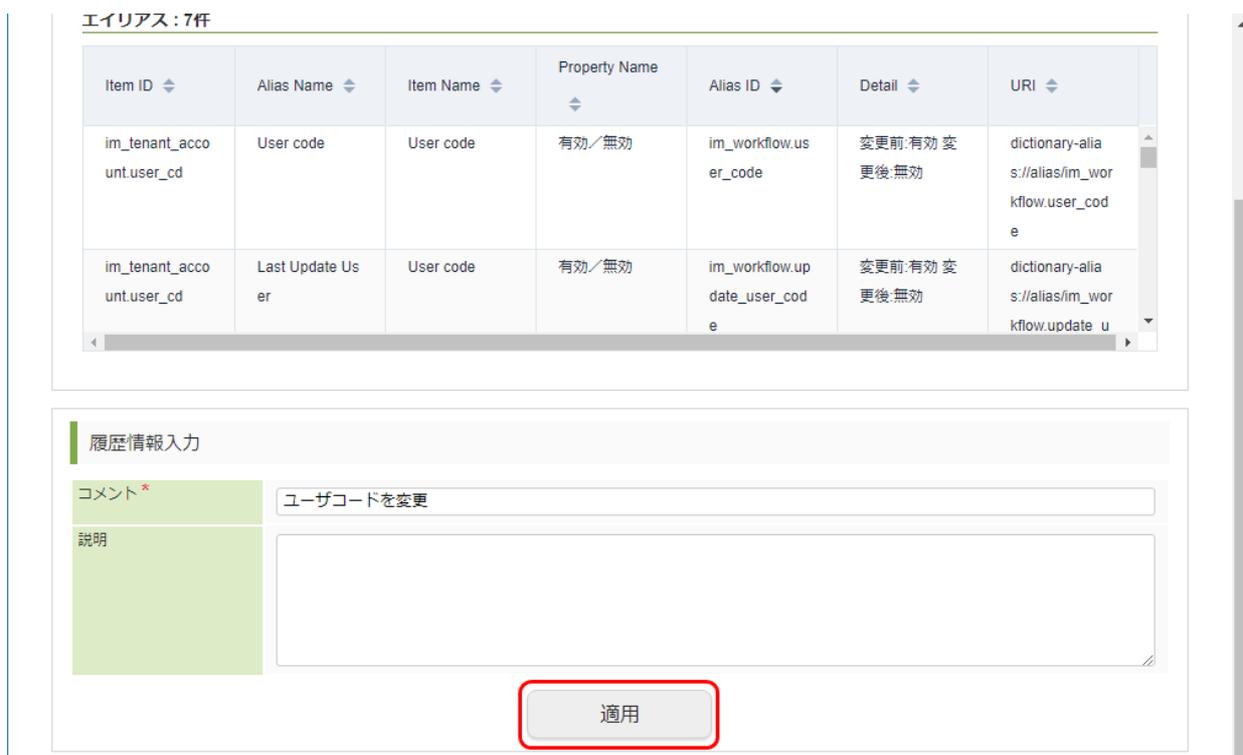
影響範囲の適用

1. 「影響範囲一覧の確認」の手順、または、辞書項目の各操作をもとに、「影響範囲一覧」画面を表示します。
2. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。



項目	説明
影響範囲一覧	辞書項目の変更による他の機能への影響を表示します。
コメント	辞書項目の変更に対するコメントを入力します。 この項目は必須項目です。
説明	辞書項目の変更に対する説明を入力します。
「適用」ボタン	影響範囲の適用を行う

3. 必要項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。



4. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

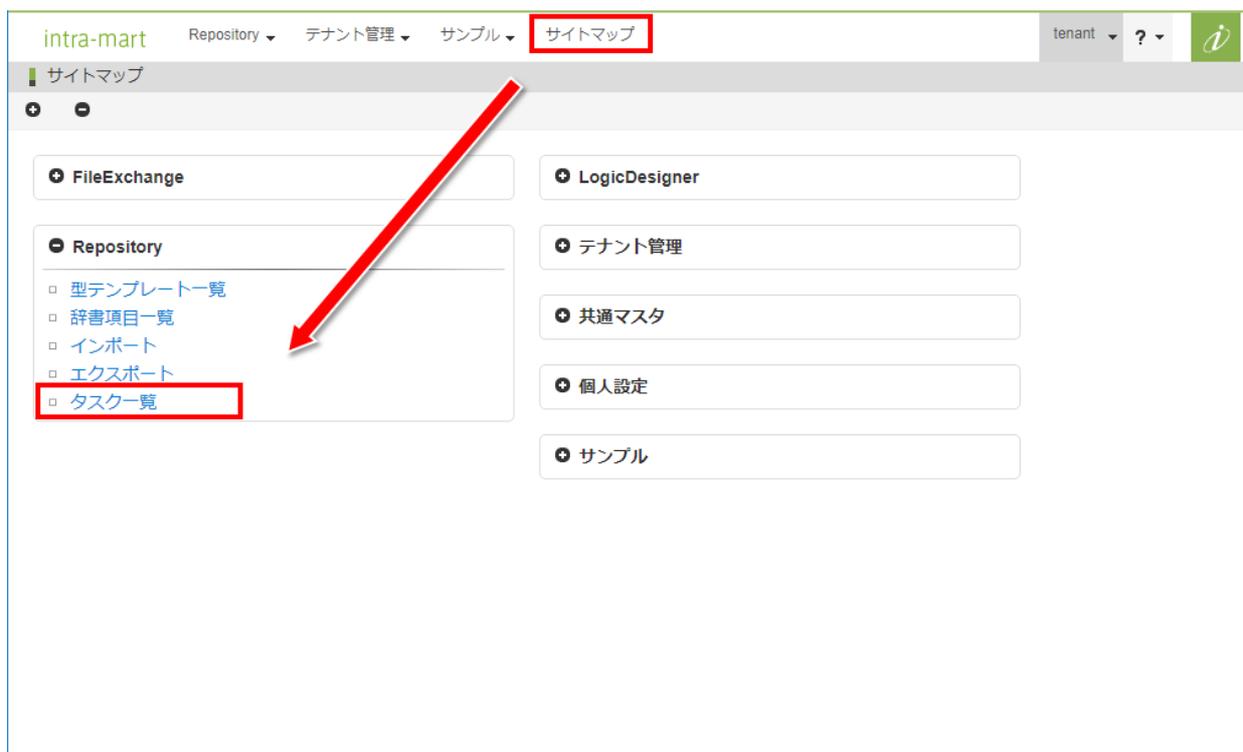
ここではIM-Repositoryでタスクを扱う画面の機能について説明します。

タスクを確認する

- タスク一覧を確認する
- タスクを検索する

タスク一覧を確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「タスク一覧」をクリックし、「タスク一覧」画面を表示します。

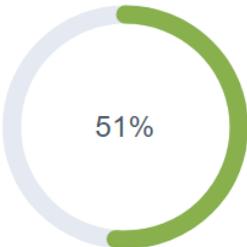


2. 登録されているタスクの一覧が確認できます。

タスク一覧

検索条件

タスク処理状況



進捗度	タスク数				作成日時	作成者
	未処理	処理済	無視済	合計		
27%	8	3	0	11	2017/10/26 ...	aoyagi
75%	3	9	0	12	2017/10/26 ...	aoyagi
0%	2	0	0	2	2017/10/26 ...	aoyagi
合計	13	12	0	25		

Task Group 001

概要

進捗度	27%
コメント	This is description of Task Group 001.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi

i コラム

タスクの種類

タスクアプリケーション側が作成したサービスタスクとユーザが作成したユーザタスクがあります。

- サービスタスク
アプリケーション側で変更内容に対する設定変更等の反映が可能なタスクです。
- ユーザタスク
スクラッチ開発により作成されたアプリケーション等、アプリケーション側が動的に変更内容を反映することが出来ない場合に利用するタスクです。

タスクを検索する

1. ツールバーの「検索条件」をクリックします。

The screenshot shows the 'Task Overview' page. At the top left, there is a search icon and the text '検索条件' (Search Conditions). Below this, the 'Task Processing Status' section features a donut chart showing 51% completion. To the right of the chart is a table of task counts.

進捗度	タスク数				作成日時	作成者
	未処理	処理済	無視済	合計		
27%	8	3	0	11	2017/10/26 ...	aoyagi
75%	3	9	0	12	2017/10/26 ...	aoyagi
0%	2	0	0	2	2017/10/26 ...	aoyagi
合計	13	12	0	25		

Below the table is a section for 'Task Group 001' with a summary table:

概要	
進捗度	27%
コメント	This is description of Task Group 001.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi

2. 検索条件ダイアログが表示されます。

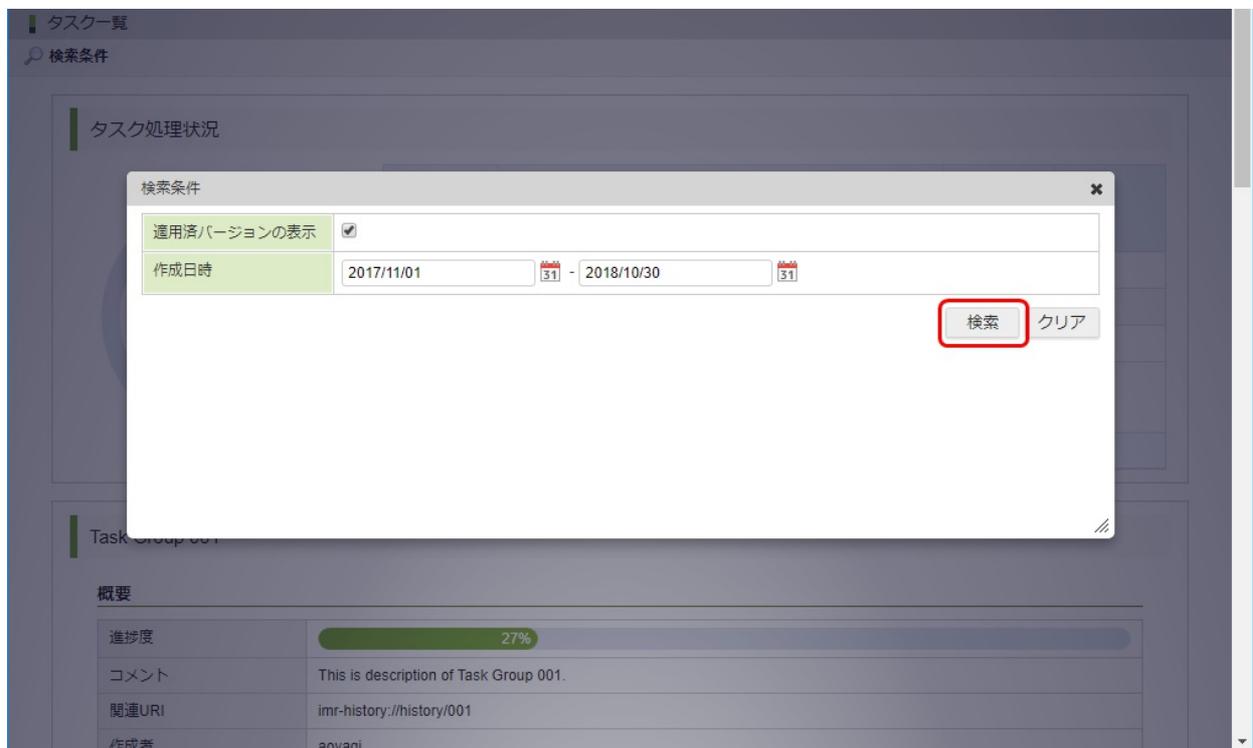
The screenshot shows the search condition dialog box overlaid on the task overview page. The dialog has a title '検索条件' and a close button. It contains the following fields and controls:

- 適用済バージョンの表示
- 作成日時: [] [] - [] [] (with calendar icons)
- 検索ボタン
- クリアボタン

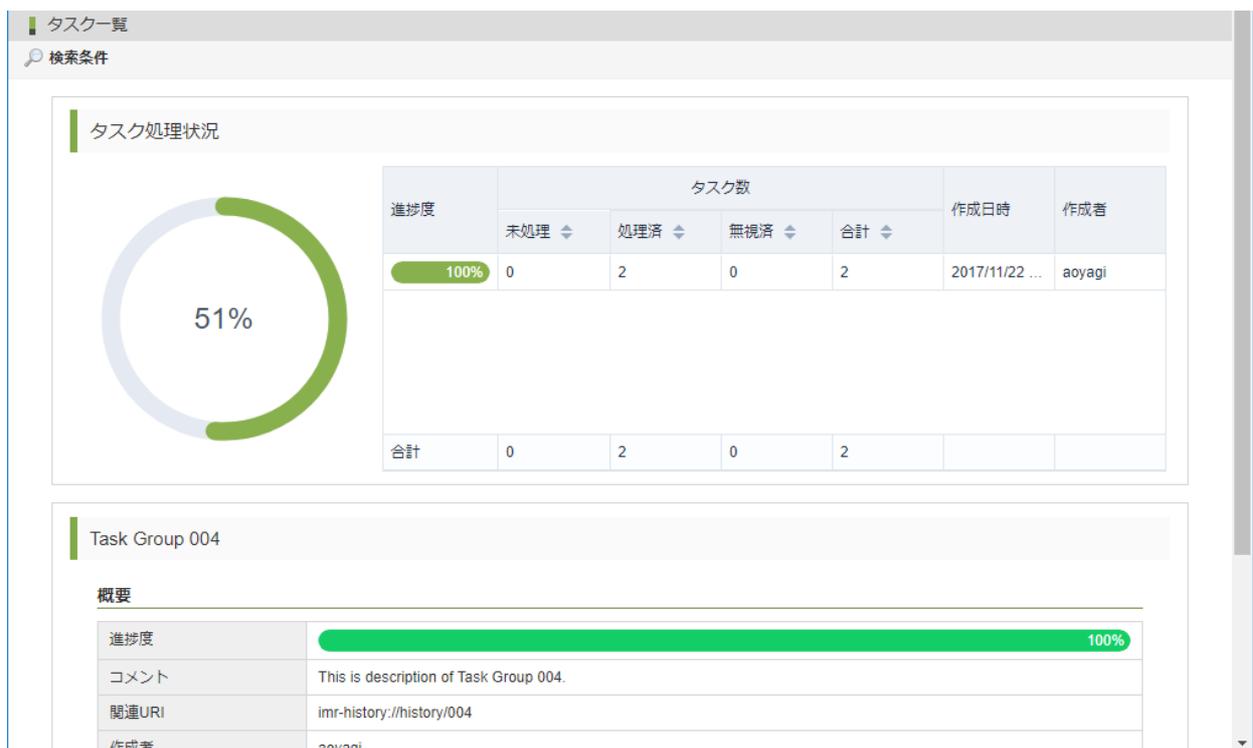
<画面項目>

項目	説明
適用済バージョンの表示	適用済みのタスクを表示するかを設定します。
作成日時	検索するタスクの作成日時の期間を入力します。
「検索」ボタン	タスクを検索します。
「クリア」ボタン	入力された検索条件をクリアします。

3. 検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

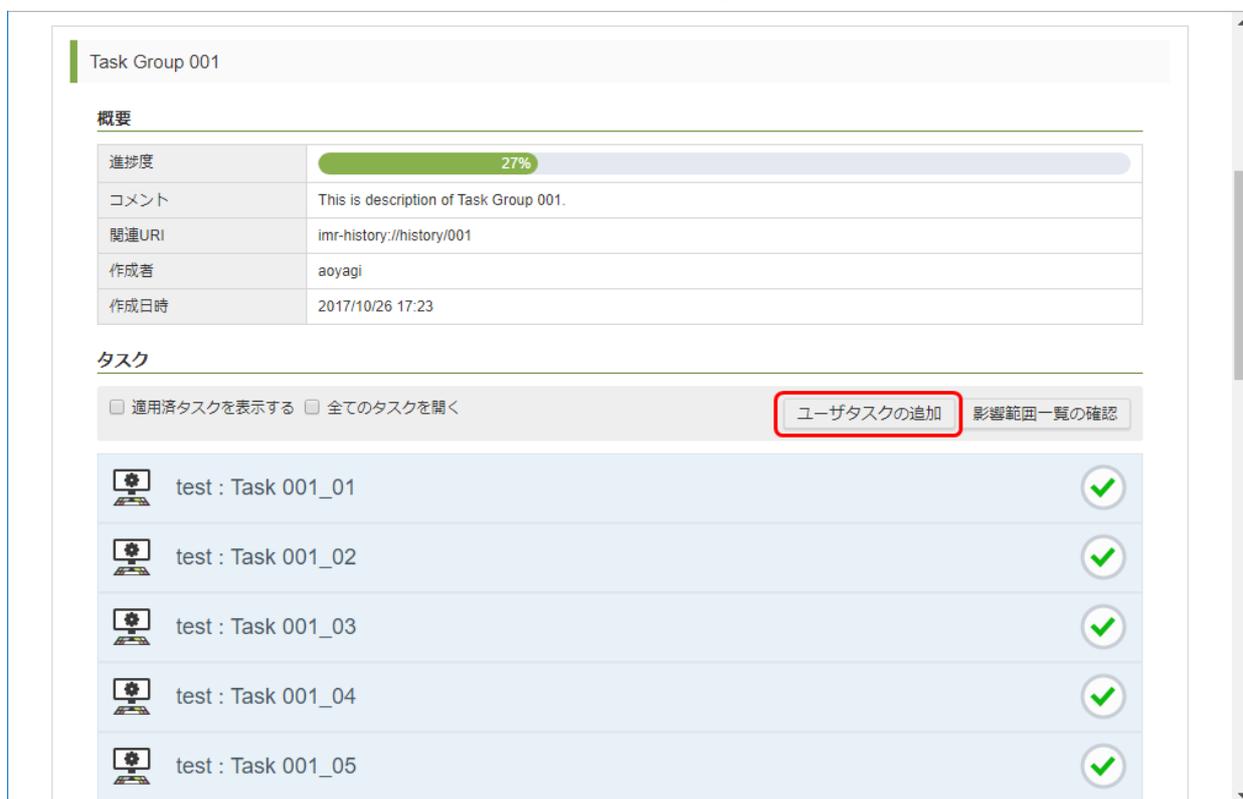


4. 検索結果が表示されます。

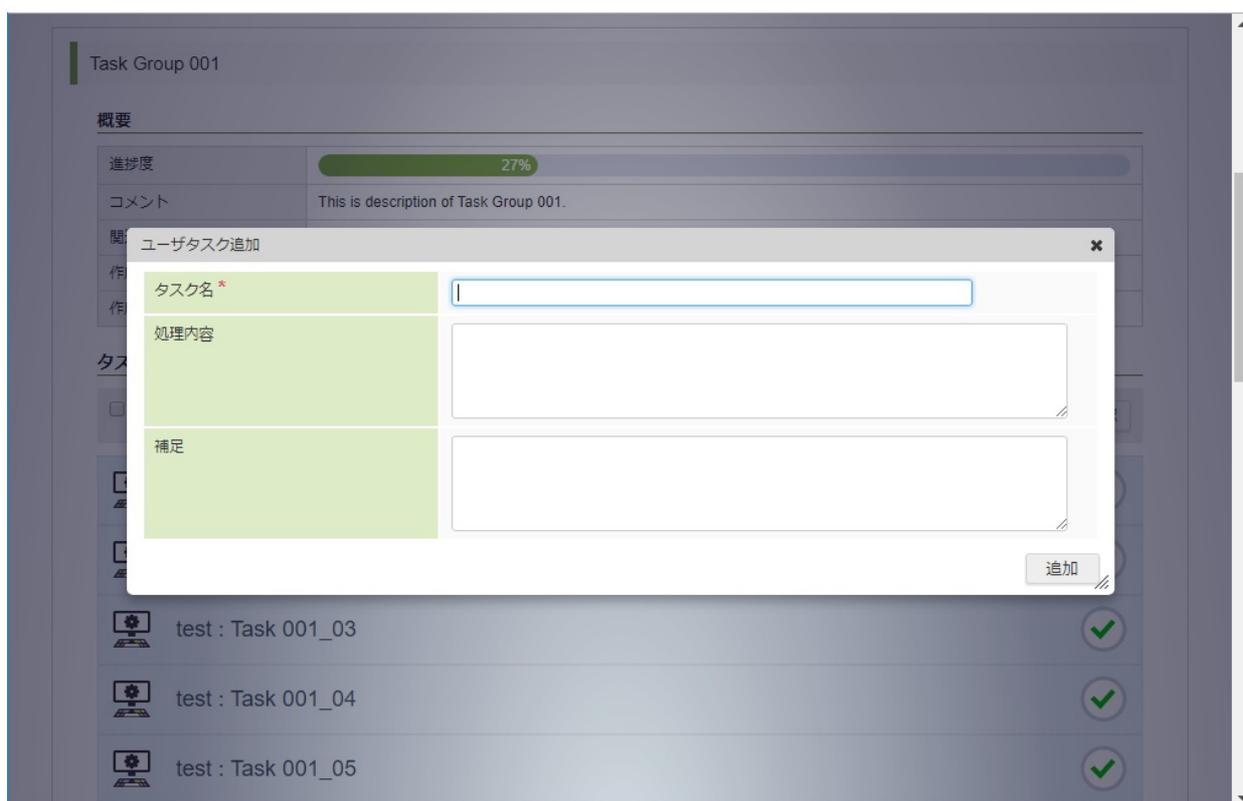


タスクを新規追加する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. 登録されているタスクグループの「ユーザタスクの追加」ボタンをクリックします。



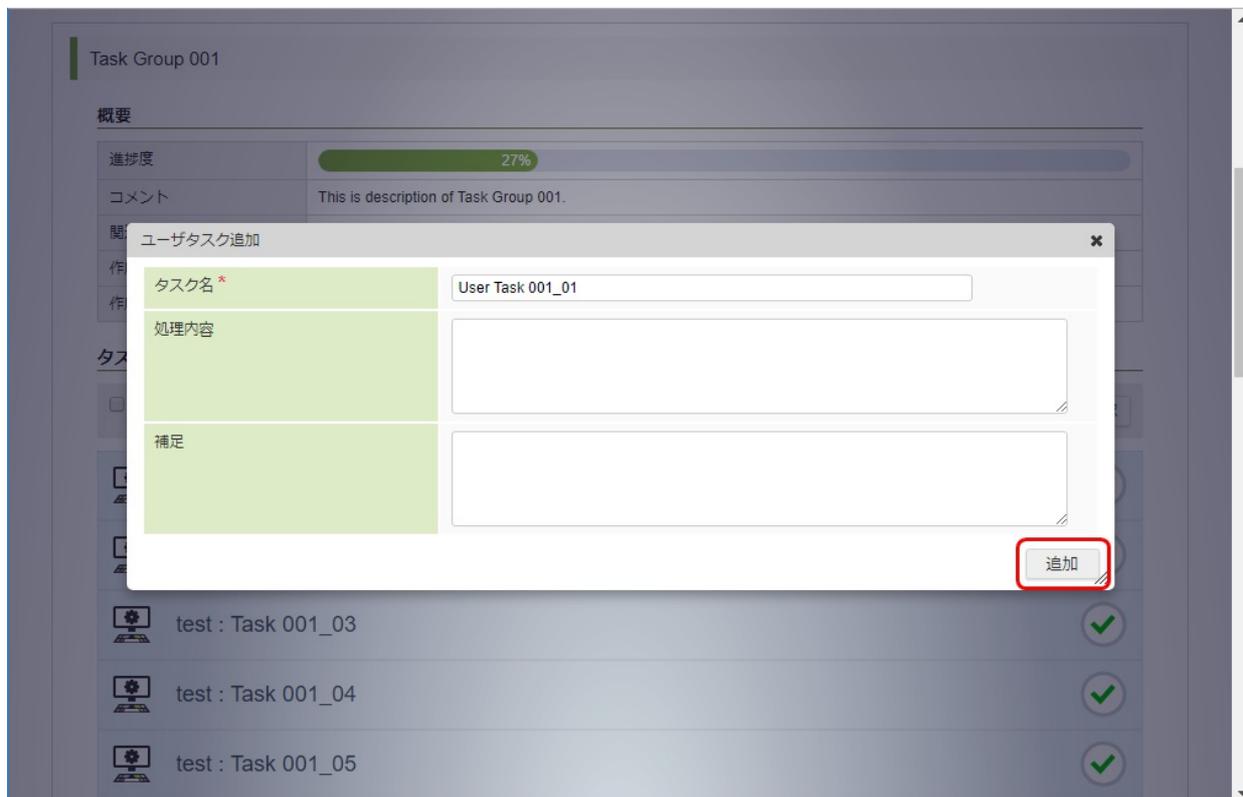
3. ユーザタスク追加ダイアログが表示されます。



<画面項目>

項目	説明
タスク名	タスクを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。
処理内容	タスクの処理内容を入力します。
補足	タスクの補足を入力します。
「追加」ボタン	タスクを追加します。

4. 必要項目を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを処理する

- タスクを適用する
- タスクを無視する
- タスクを削除する

タスクを適用する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から適用を行うタスクの「適用」アイコンをクリックします。

Task Group 001

概要

進捗度	<div style="width: 27%;"></div> 27%
コメント	This is description of Task Group 001.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 001_01	
 test : Task 001_02	
 test : Task 001_03	
 test : Task 001_04	
 test : Task 001_05	

3. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを無視する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から無視を行うタスクをクリックします。

Task Group 002

概要

進捗度	<div style="width: 75%;"></div> 75%
コメント	This is description of Task Group 002.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 002_01	
 test : Task 002_02	
 User Task 002_10	

Task Group 003

概要

3. タスク情報が表示されます。

関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

 test : Task 002_01 ✔

処理内容	This is content of Task 002_01.
補足	Item001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23
更新者	aoyagi
更新日時	2017/10/26 17:23

無視

 test : Task 002_02 ✔

 User Task 002_10 ✔

4. 「無視」ボタンをクリックします。

関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

 test : Task 002_01 ✔

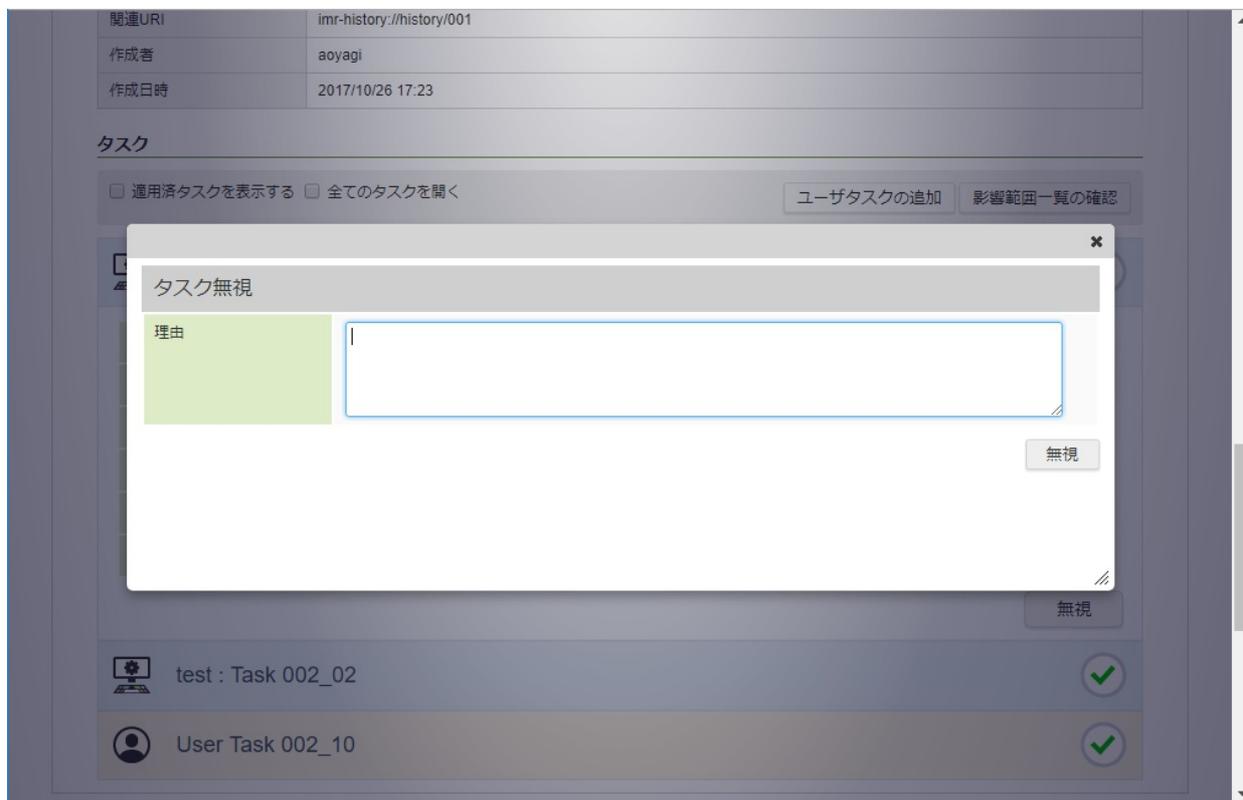
処理内容	This is content of Task 002_01.
補足	Item001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23
更新者	aoyagi
更新日時	2017/10/26 17:23

無視

 test : Task 002_02 ✔

 User Task 002_10 ✔

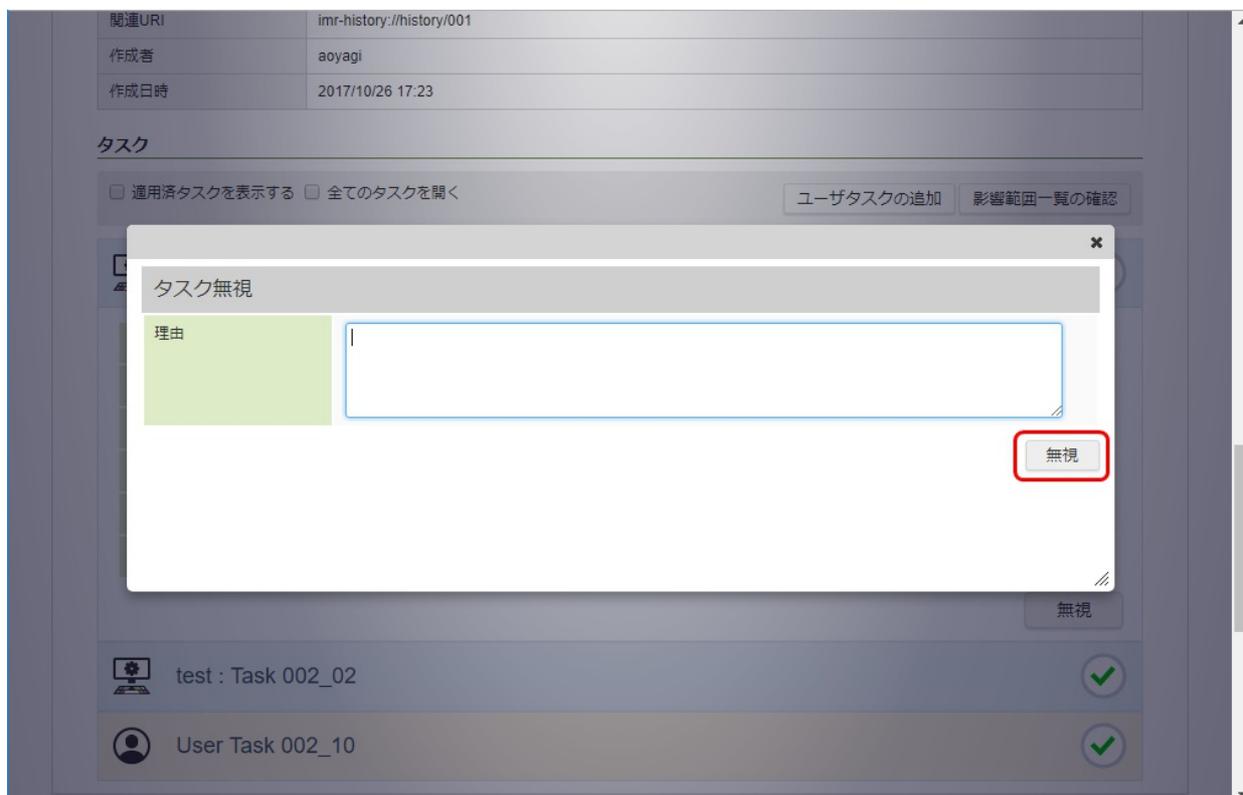
5. タスク無視ダイアログが表示されます。



<画面項目>

項目	説明
理由	タスクを無視する理由を入力します。
「無視」ボタン	タスクを無視で処理します。

6. 必要項目を入力し、「無視」をクリックします。





コラム

ユーザが登録したタスクのみ削除できます。

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から削除を行うタスクをクリックします。

User Task 002_10

Task Group 003

概要

進捗度	0%
コメント	This is description of Task Group 003.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

	test : Task 003_01	
	test : Task 003_02	
	User Task 003_01	

3. タスク情報が表示されます。

作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

	test : Task 003_01	
	test : Task 003_02	
	User Task 003_01	

処理内容	
補足	
作成者	tenant
作成日時	2017/11/27 11:39
更新者	tenant
更新日時	2017/11/27 11:39

削除 無視

4. 「削除」ボタンをクリックします。

作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 003_01	
 test : Task 003_02	
 User Task 003_01	

処理内容	
補足	
作成者	tenant
作成日時	2017/11/27 11:39
更新者	tenant
更新日時	2017/11/27 11:39

[削除](#) [無視](#)

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

履歴

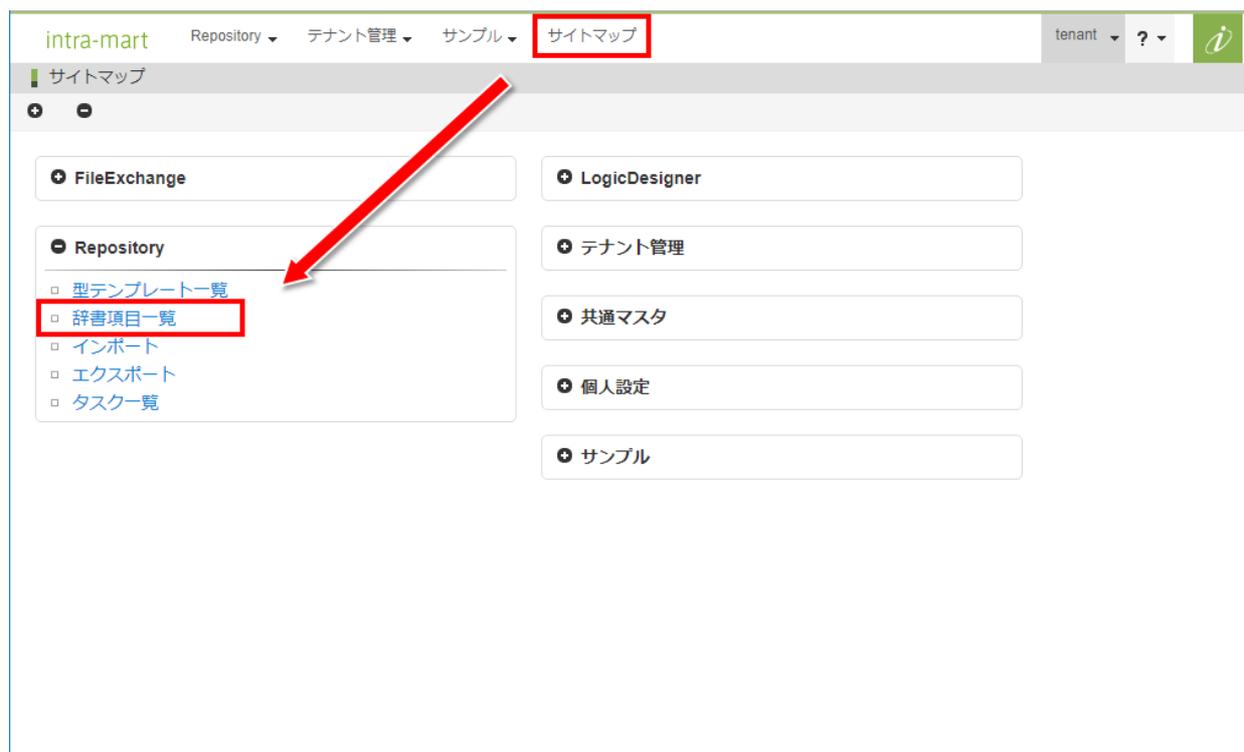
ここではIM-Repositoryで履歴を扱う画面の機能について説明します。

履歴一覧

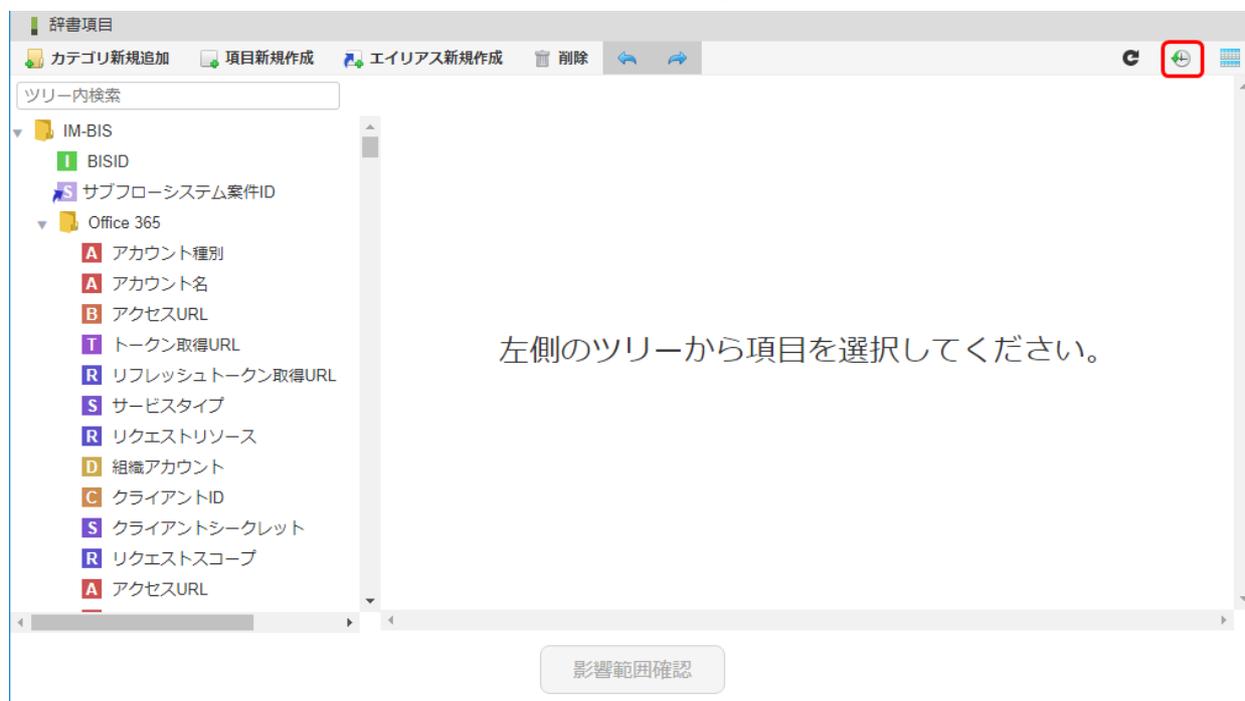
- 履歴詳細をツリー形式で表示する
- 履歴詳細をリスト形式で表示する

履歴詳細をツリー形式で表示する

- 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



- ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の詳細を確認したい履歴をクリックします。



4. 履歴詳細の「ツリー形式で表示」リンクをクリックします。

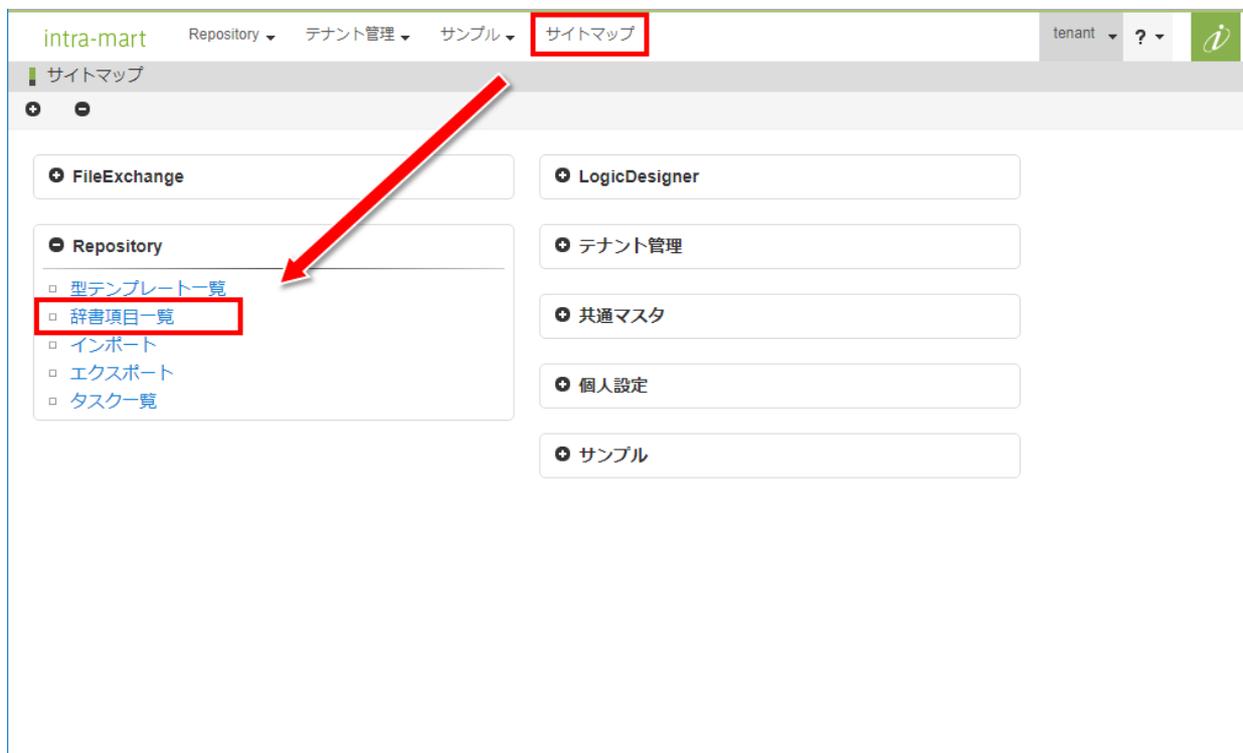
保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

5. ツリー形式の履歴詳細が表示されます。

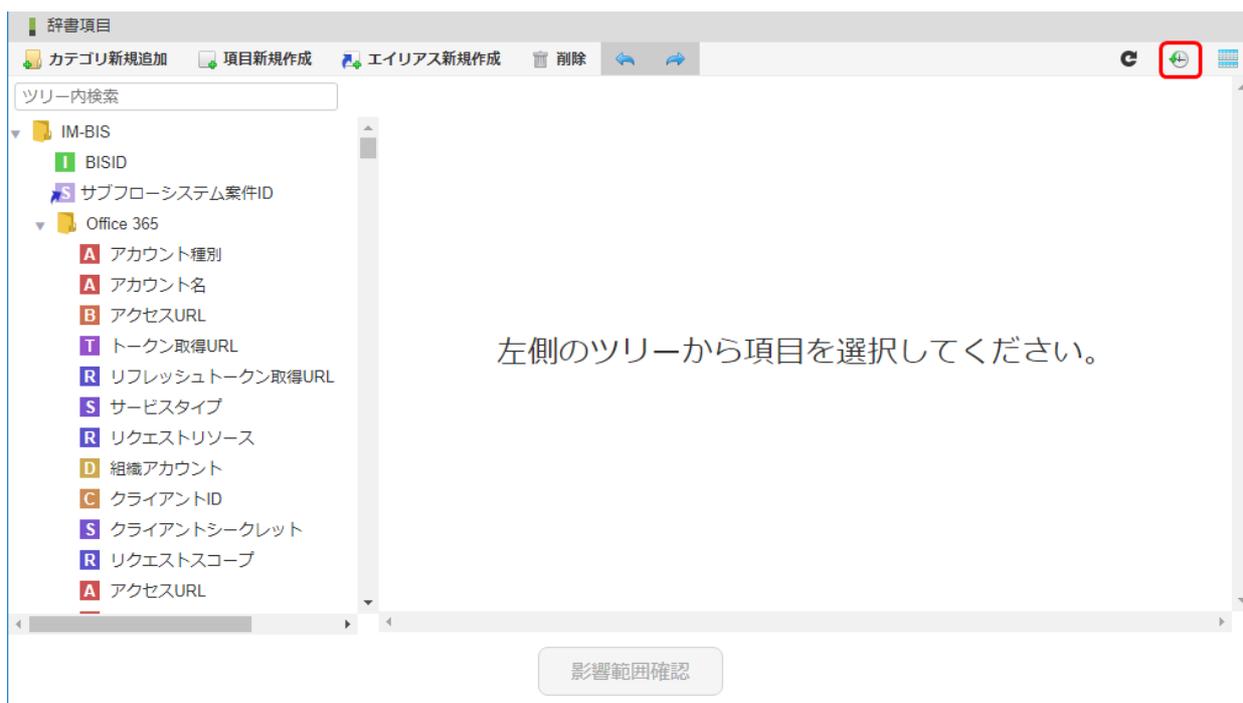
左側のツリーから項目を選択してください。

履歴詳細をリスト形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の詳細を確認したい履歴をクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page. On the left, there is a table titled '履歴一覧' (History List) with columns for '保存日付' (Save Date), 'コメント' (Comment), and '保存ユーザ' (Save User). The second row is highlighted with a red box: 2017/11/27 13:15, 辞書項目追加, tenant. On the right, there are three sections: '履歴情報' (History Information) with fields for '保存日付', '保存ユーザ', and 'コメント'; '履歴詳細' (History Details) with a '詳細表示' (Detailed Display) section containing 'ツリー形式で表示' (Display in Tree Format) and 'リスト形式で表示' (Display in List Format); and '差分' (Difference) with a '差分表示' (Difference Display) section containing options for displaying differences from the latest, previous, or next history item.

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

4. 履歴詳細の「リスト形式で表示」リンクをクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page with the '履歴詳細' (History Details) section expanded. The '履歴一覧' (History List) table is still visible on the left. In the '履歴情報' (History Information) section, the details for the selected item (2017/11/27 13:15, tenant, 辞書項目追加) are shown. In the '履歴詳細' (History Details) section, the '詳細表示' (Detailed Display) section now shows 'ツリー形式で表示' (Display in Tree Format) and 'リスト形式で表示' (Display in List Format), with the latter link highlighted by a red box. The '差分' (Difference) section remains the same.

5. リスト形式の履歴詳細が表示されます。

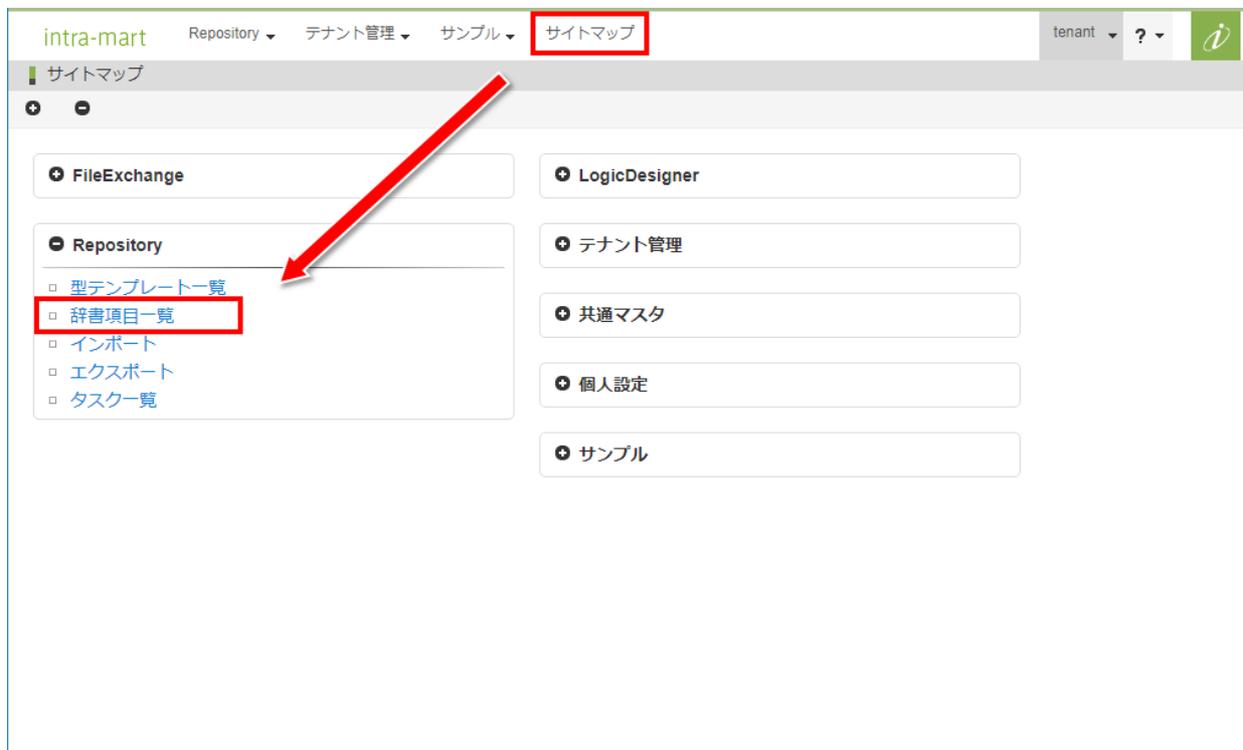
カテゴリID	カテゴリ名	説明
im_bis	IM-BIS	
im_bis_o365	Office 365	
im_bis_forma	Forma Connect	
iac	Accel Collaboration	
iac_core	基本機能	
iac_filelibrary	ファイルライブラリ	
iac_message	メッセージ	
iac_addressbook	アドレス帳	
iac_todo	ToDo	
iac_workspace	ワークスペース	
iac_announce	アナウンス	
iac_iframe	IFrame	
iac_group	グループ	

差分

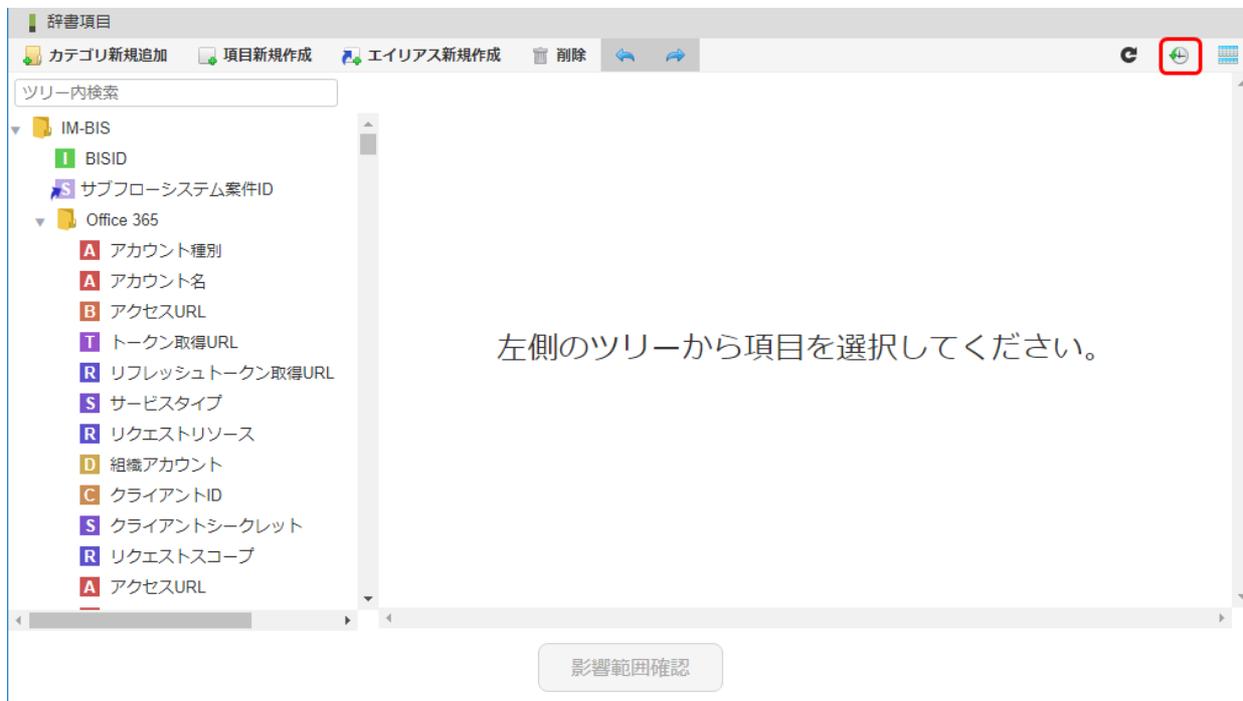
差分を扱う画面の機能について説明します。

最新の履歴との差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。



4. 差分の「最新の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

履歴

←

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付 2017/11/27 13:15

保存ユーザ tenant

コメント 辞書項目追加

履歴詳細

詳細表示 ツリー形式で表示
リスト形式で表示

差分

差分表示 **最新の履歴との差分を表示する**
この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する
この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する

5. 選択した履歴と最新の履歴の差分が表示されます。

差分表示

←

変更点一覧

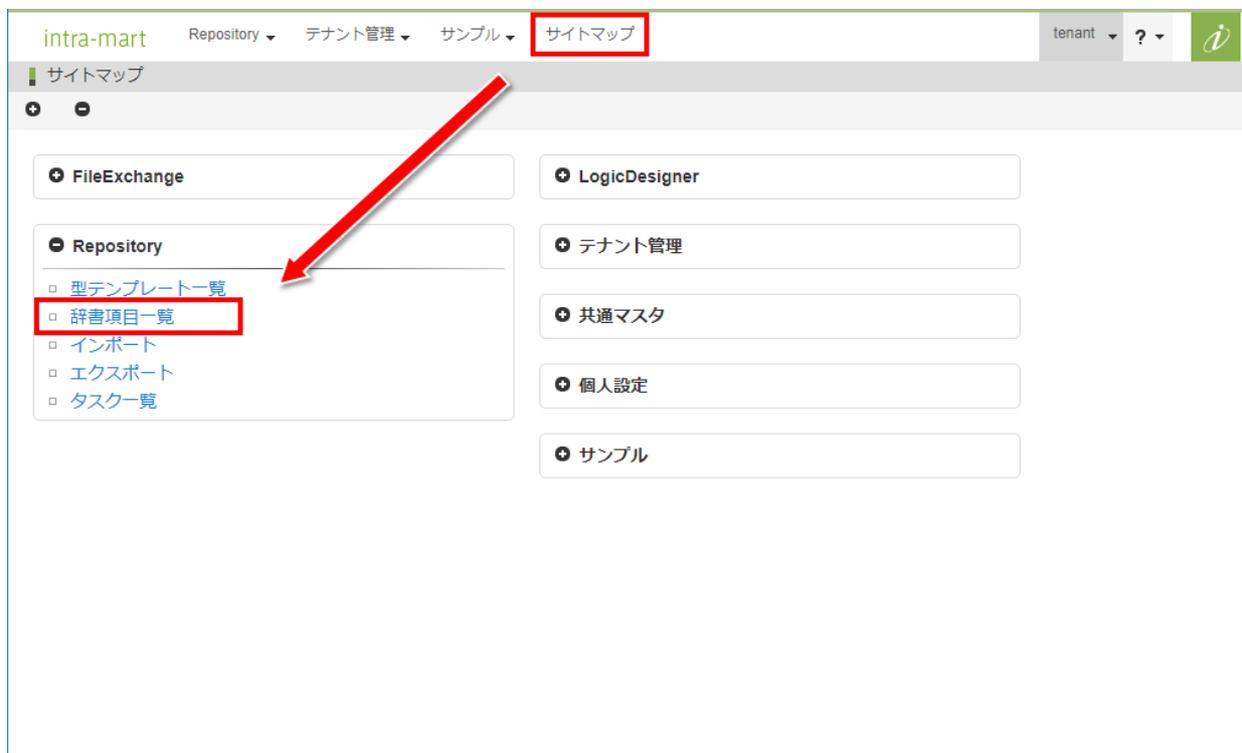
項目名	型	ステータス
新しいカテゴリー	カテゴリ	UPDATE
IM-FormaDesigner	カテゴリ	UPDATE
IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE
Alias of	エイリアス	ADD

変更前 2017/11/27 13:15

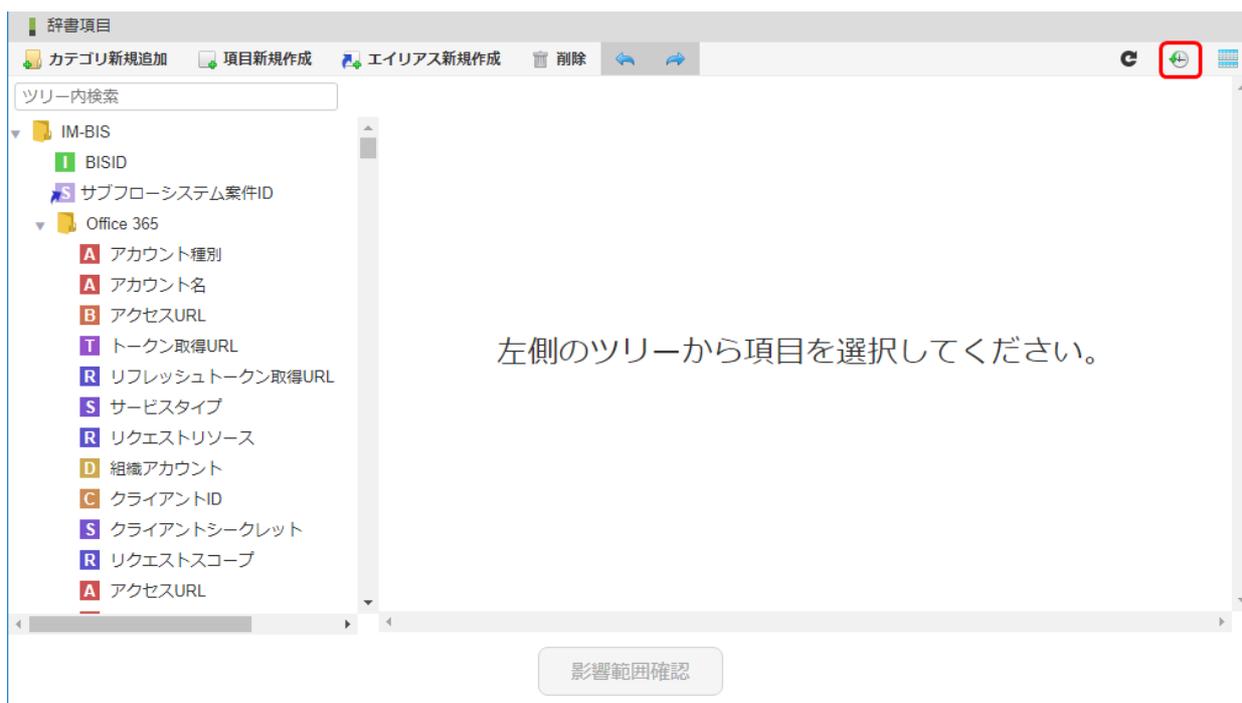
変更後 2017/11/27 13:17

選択した履歴と一つ前の履歴との差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page. On the left, there is a table titled '履歴一覧' (History List) with columns for '保存日付' (Save Date), 'コメント' (Comment), and '保存ユーザ' (Save User). The second row is highlighted with a red box: 2017/11/27 13:15, 辞書項目追加, tenant. On the right, there is a '履歴情報' (History Information) section with fields for '保存日付', '保存ユーザ', and 'コメント'. Below that is a '履歴詳細' (History Detail) section with a '詳細表示' (Detailed Display) section containing two radio buttons: 'ツリー形式で表示' (Display in Tree Format) and 'リスト形式で表示' (Display in List Format). At the bottom right is a '差分' (Difference) section with a '差分表示' (Difference Display) section containing three links: '最新の履歴との差分を表示する' (Display difference from latest history), 'この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する' (Display difference from previous history), and 'この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する' (Display difference from next history).

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

4. 差分の「この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

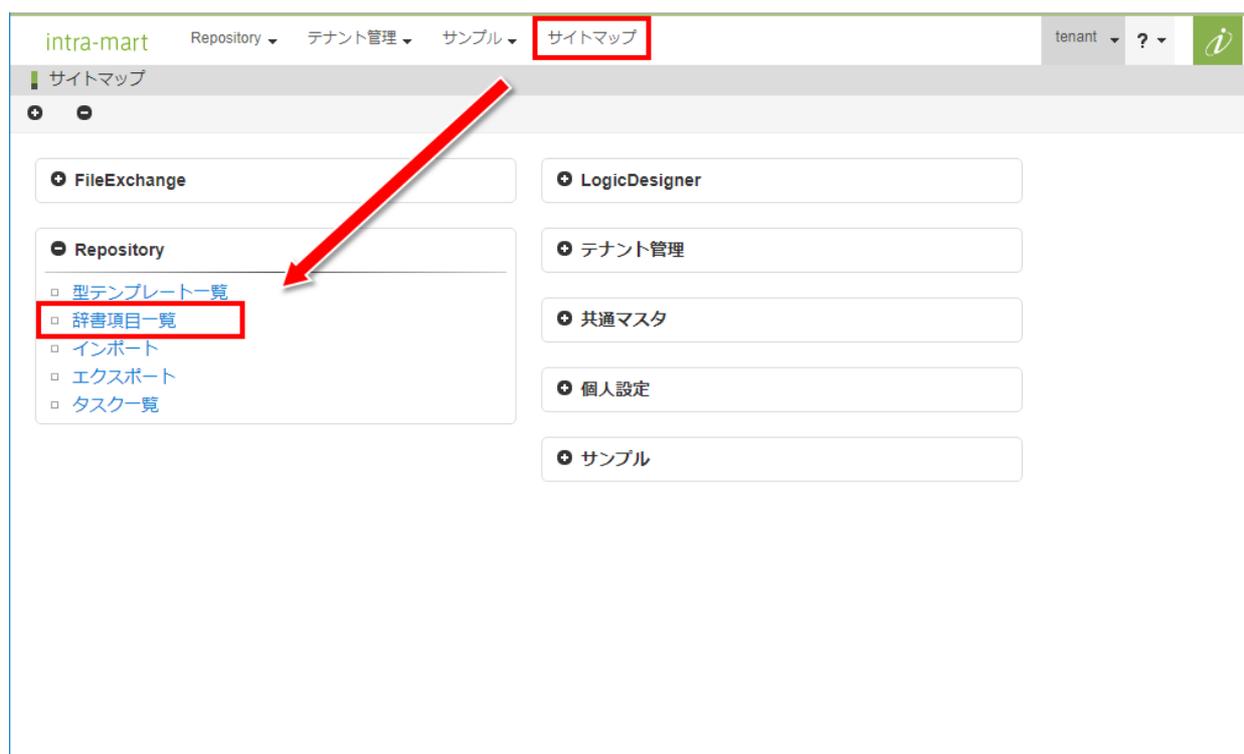
The screenshot shows the '履歴' (History) page with the second row from the previous screenshot now highlighted in blue. The '履歴情報' (History Information) section on the right now displays the details for the selected item: '保存日付' 2017/11/27 13:15, '保存ユーザ' tenant, and 'コメント' 辞書項目追加. The '差分表示' (Difference Display) section in the '差分' (Difference) section now has the link 'この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する' (Display difference from previous history) highlighted with a red box.

5. 選択した履歴と一つ前の履歴の差分が表示されます。

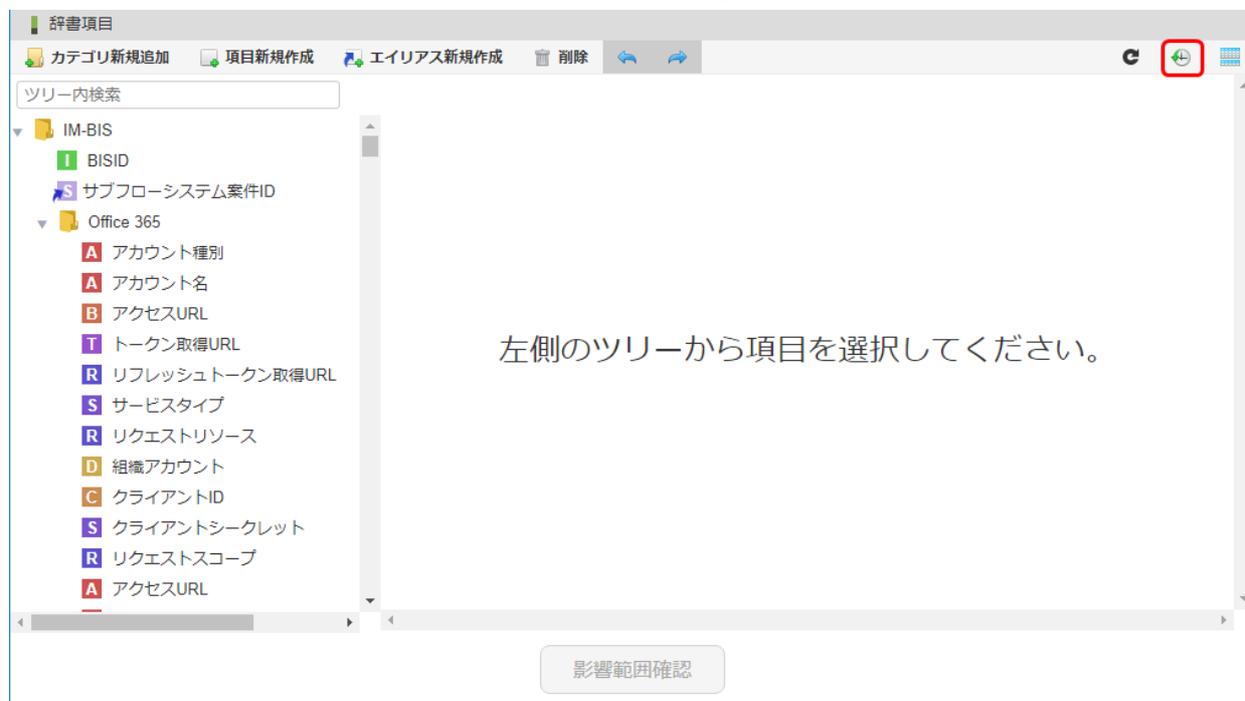


選択した履歴と一つ後の履歴との差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。



4. 差分の「この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付: 2017/11/27 13:11
 保存ユーザ: tenant
 コメント: カテゴリ追加

履歴詳細

詳細表示: ツリー形式で表示
 リスト形式で表示

差分

差分表示: 最新の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する

5. 選択した履歴と一つ後の履歴の差分が表示されます。

差分表示

変更点一覧

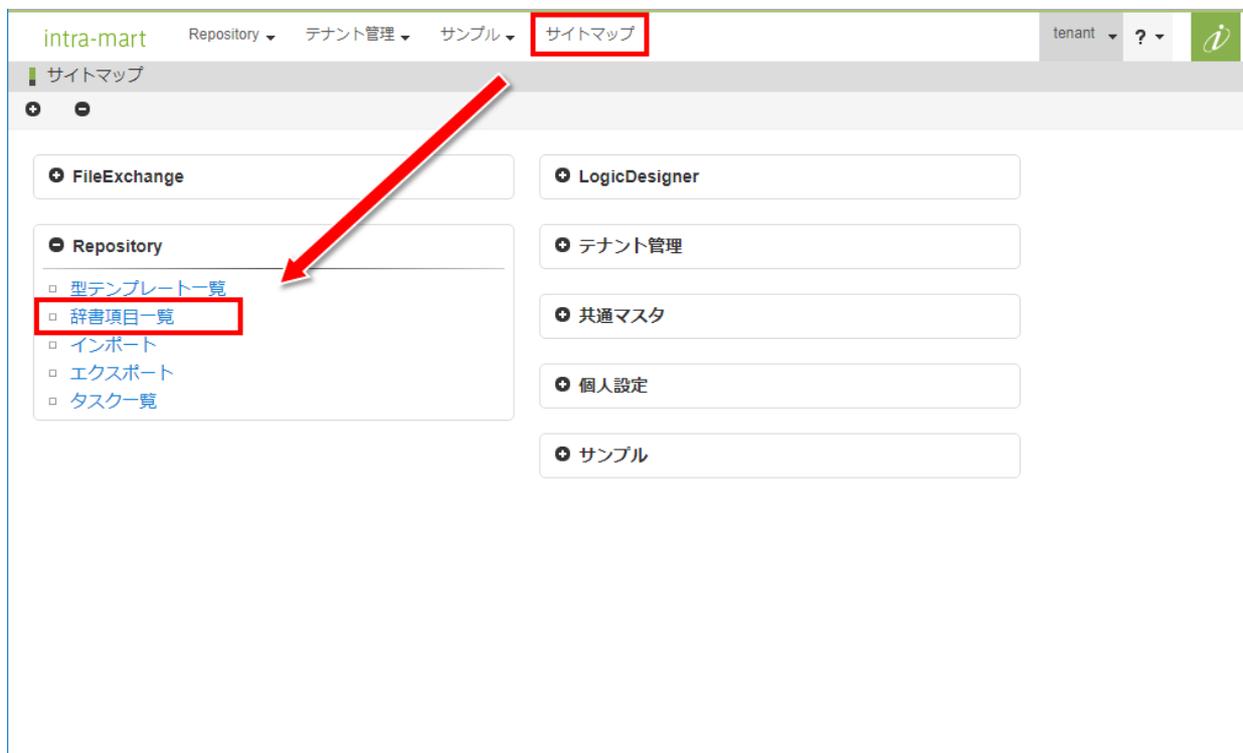
項目名	型	ステータス
新しいカテゴリ	カテゴリ	UPDATE
IM-FormaDesigner	カテゴリ	UPDATE
IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE
新しい辞書項目	辞書項目	ADD
Alias of	エイリアス	ADD

変更前 2017/11/27 13:11

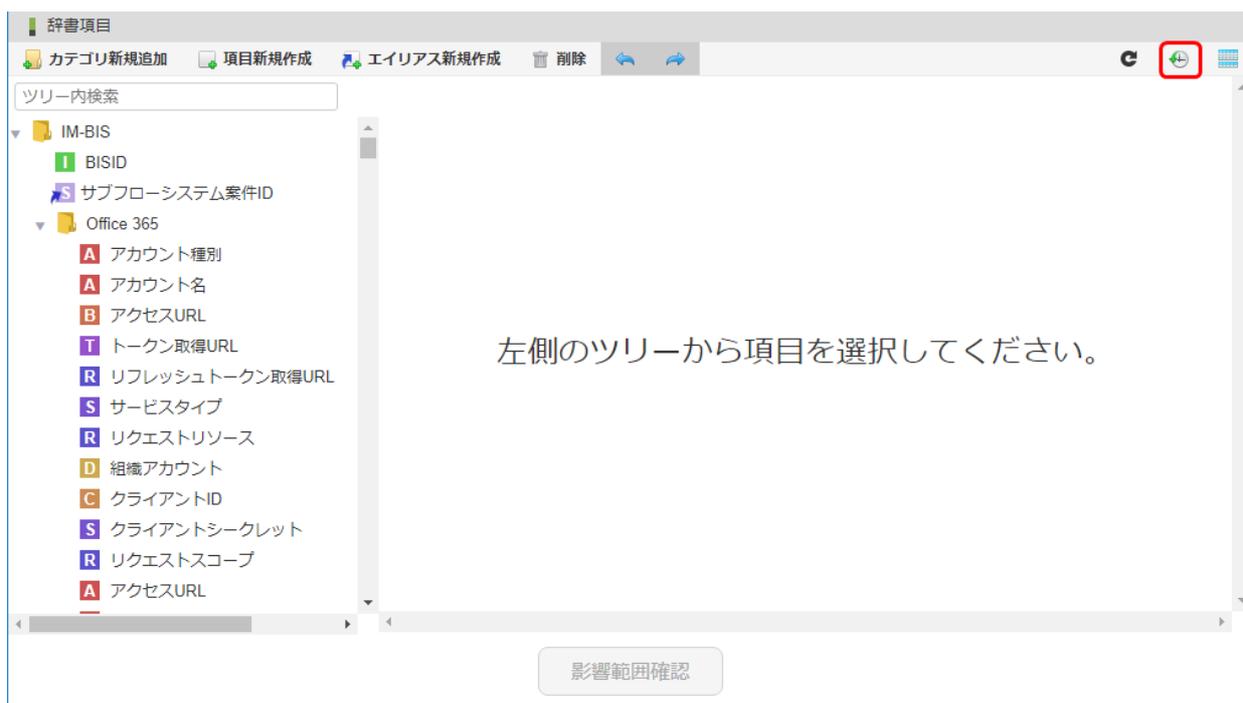
変更後 2017/11/27 13:17

特定の履歴の差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 「特定の履歴の差分を表示する」リンクをクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page. On the left, there is a table titled '履歴一覧' (History List) with columns for '保存日付' (Save Date), 'コメント' (Comment), and '保存ユーザ' (Save User). The table contains 9 rows of data. On the right, there is a sidebar with sections for '保存日付' (Save Date), '保存ユーザ' (Save User), 'コメント' (Comment), '履歴詳細' (History Details), and '差分' (Difference). The '差分表示' (Difference Display) section has four radio button options, with the last one, '特定の履歴の差分を表示する' (Display the difference of a specific history), highlighted with a red box.

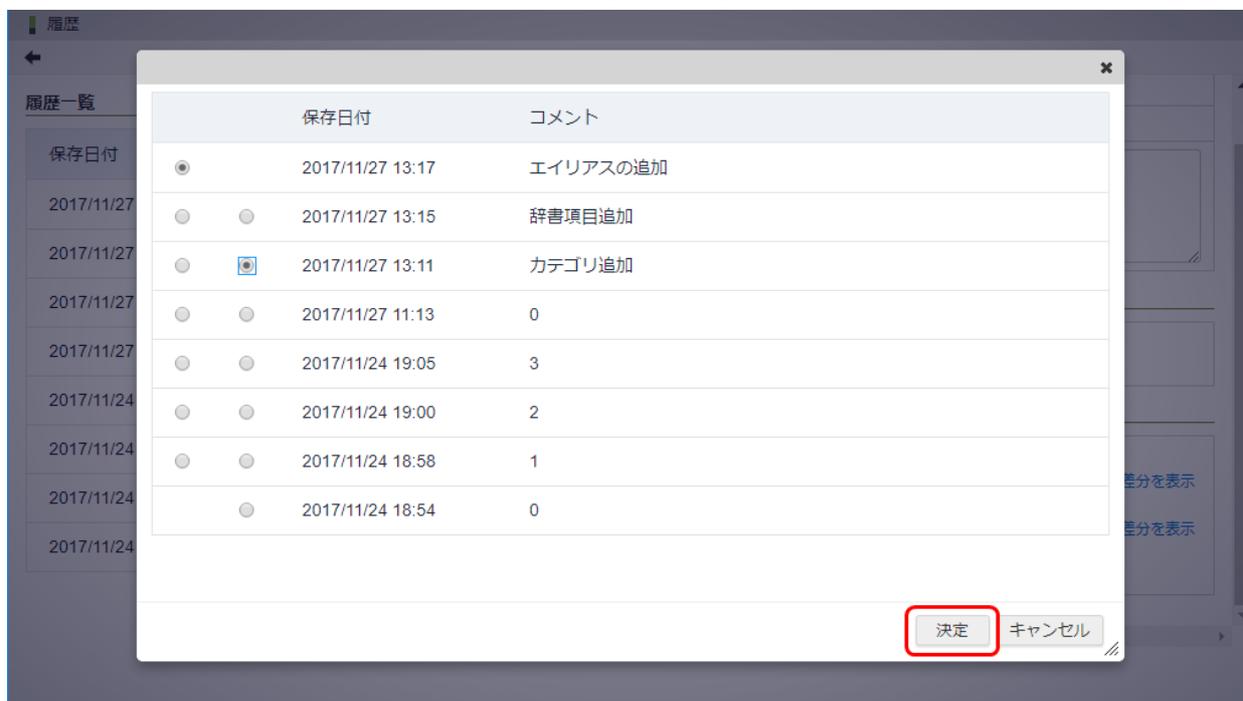
保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

4. 履歴選択ダイアログが表示されます。

The screenshot shows the '履歴' (History) page with a '履歴選択' (History Selection) dialog box open. The dialog box has a table with columns for '保存日付' (Save Date) and 'コメント' (Comment). The table contains 9 rows of data. The first row is selected, indicated by a blue square and a radio button. At the bottom of the dialog box, there are two buttons: '決定' (OK) and 'キャンセル' (Cancel).

保存日付	コメント
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加
2017/11/27 13:15	辞書項目追加
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加
2017/11/27 11:13	0
2017/11/24 19:05	3
2017/11/24 19:00	2
2017/11/24 18:58	1
2017/11/24 18:54	0

5. 差分を表示する二つの履歴を選択し、「決定」ボタンをクリックします。



6. 選択した二つの履歴の差分が表示されます。



ここではIM-Repositoryでインポート/エクスポートを扱う画面の機能について説明します。

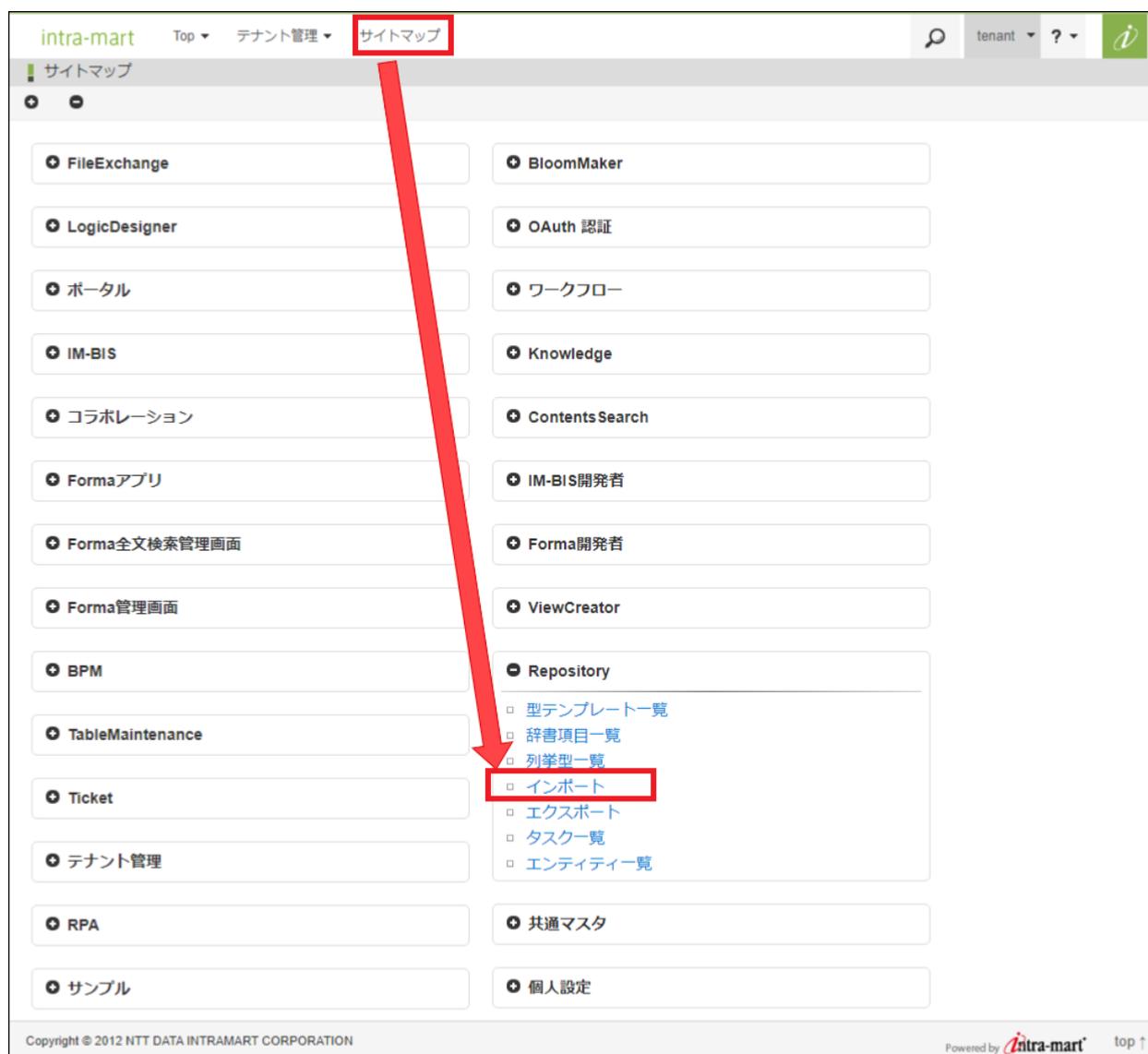
インポートを行う

この画面では辞書と列挙のインポートを行うことができます。

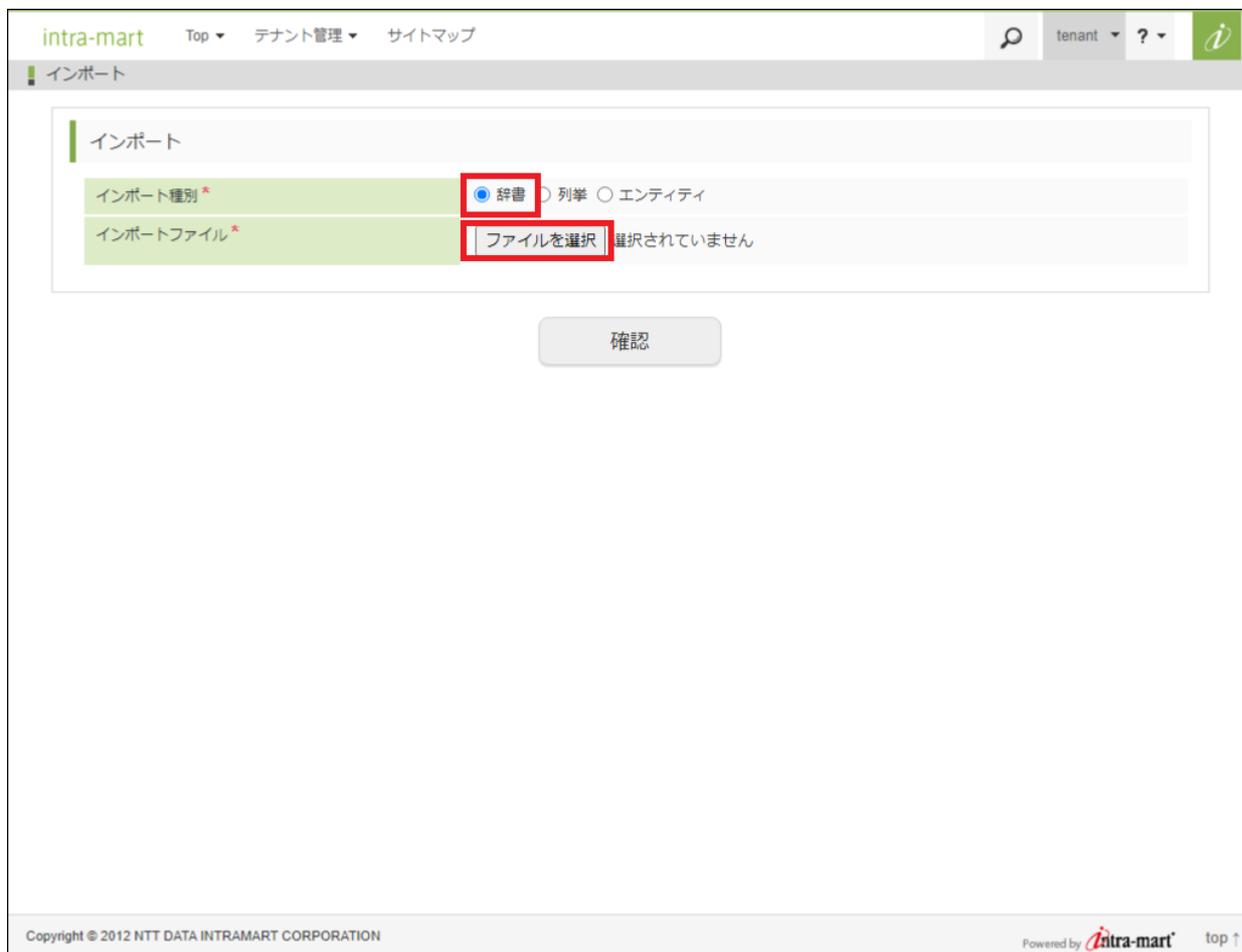
- 辞書のインポートを行う
- 列挙のインポートを行う
- エンティティのインポートを行う

辞書のインポートを行う

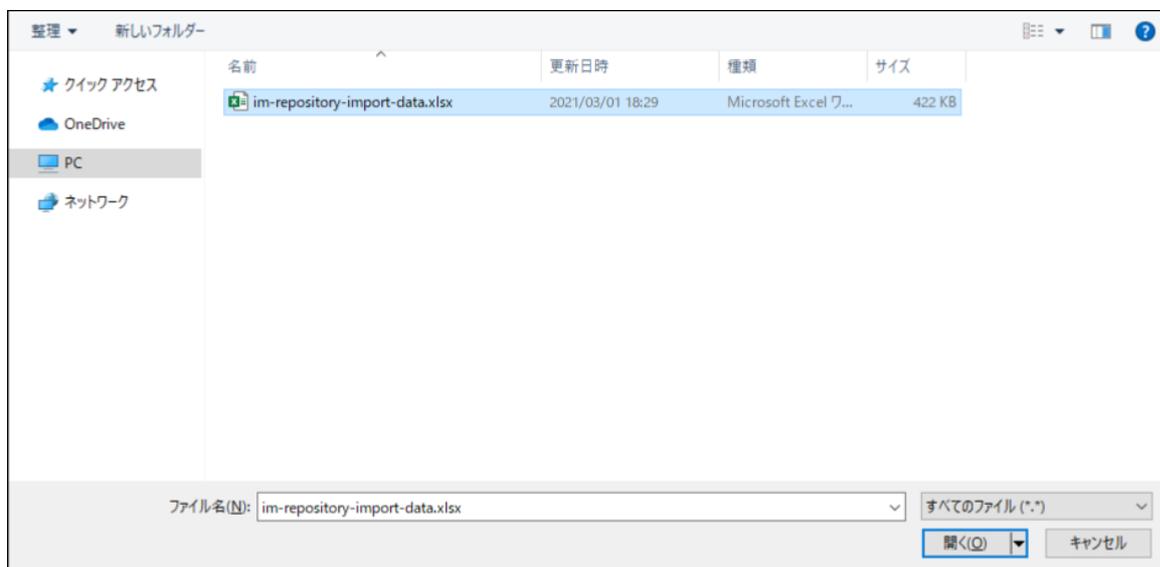
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



2. インポート種別で「辞書」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。



3. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4. 「確認」ボタンをクリックし、「インポート確認」画面を開きます。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ ⓘ

インポート

インポート種別* 辞書 列挙 エンティティ

インポートファイル* im-repository-import-data.xlsx

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by **intra-mart** top ↑

5. 「実行」ボタンをクリックし、インポート内容が反映された「辞書項目一覧」画面が表示されます。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ ⓘ

インポート確認

インポートファイル形式 全項目

エラーメッセージ エラーメッセージはありません。

ワーニングメッセージ ワーニングメッセージはありません。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by **intra-mart** top ↑

i コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

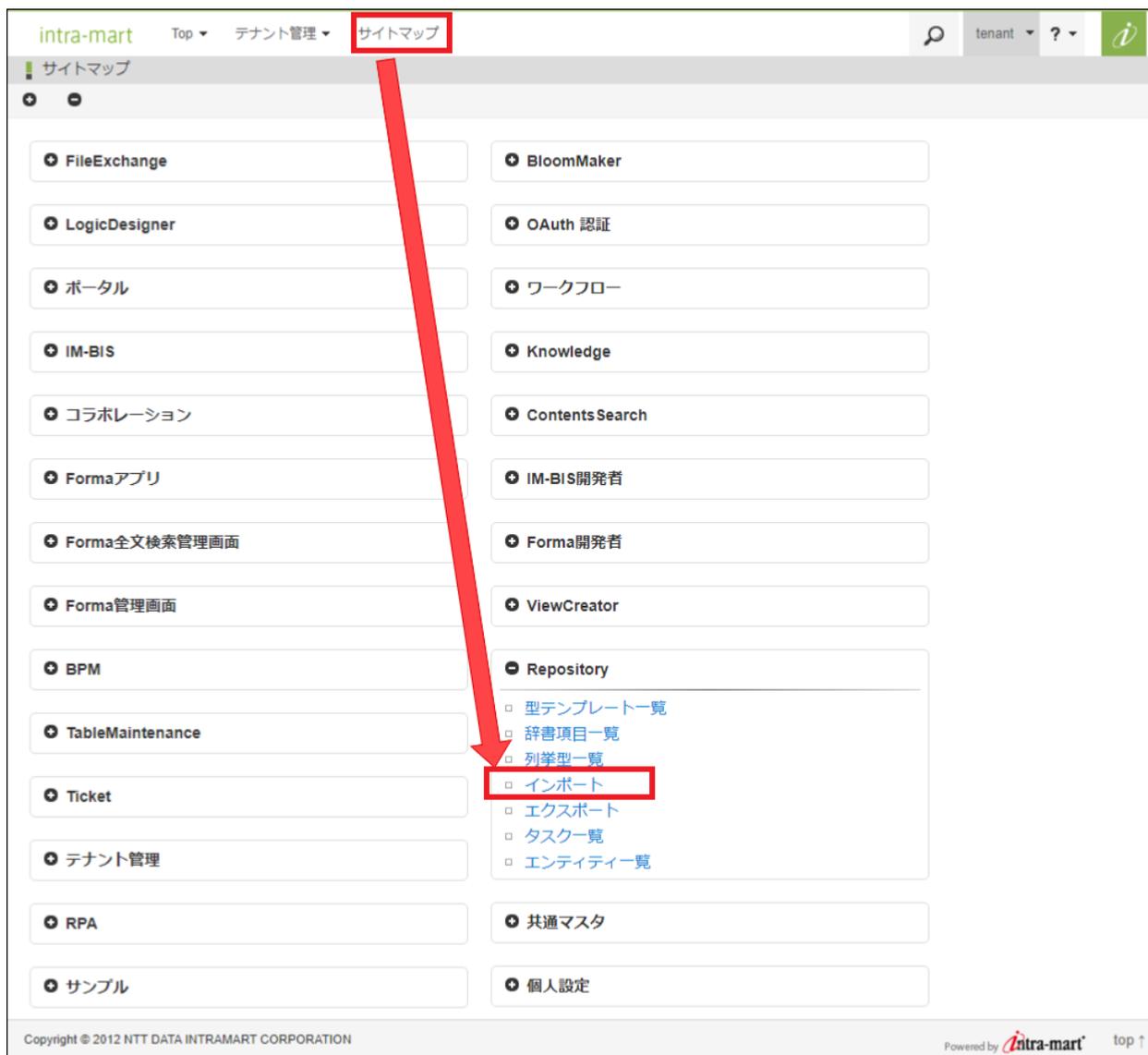
<https://www.intra-mart.jp/download/library/>

i コラム

インポート内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

列挙のインポートを行う

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



2. インポート種別で「列挙」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ ⓘ

インポート

インポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

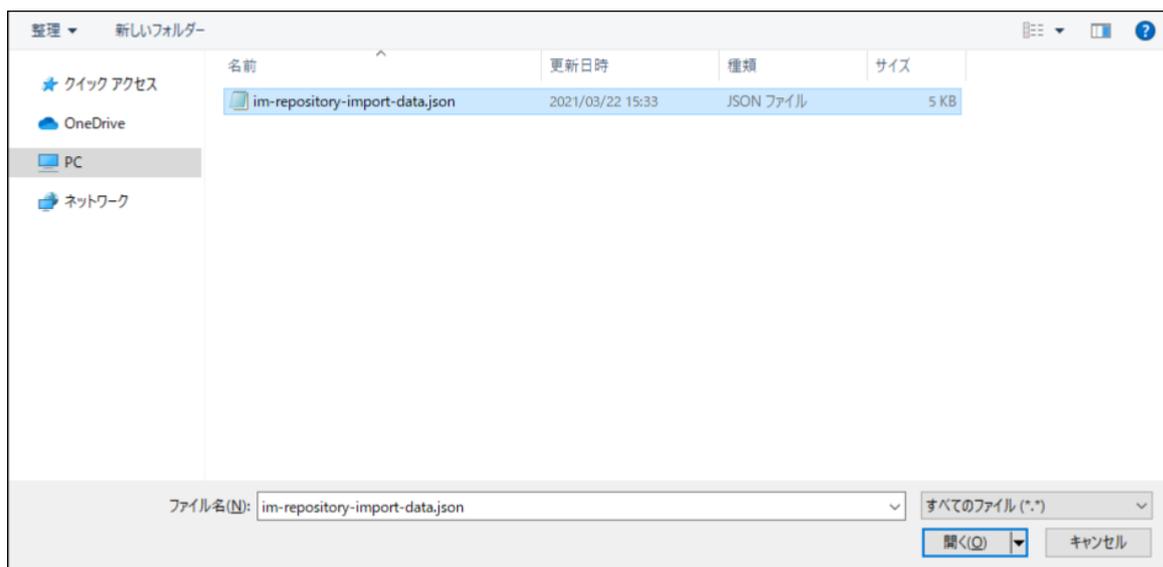
インポートファイル * 選択されていません

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by **intra-mart** top ↑

コラム

選択できるのは JSON 形式のファイルだけです。フォーマットの詳細は [ファイルフォーマット \(列挙\)](#) を参照してください。

1. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



2. 「確認」ボタンをクリックし、「影響範囲」画面を開きます。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ i

インポート

インポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

インポートファイル * ファイルを選択 im-repository-import-data.json

確認

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by **intra-mart** top ↑

3. コメントと、必要であれば説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。「適用確認」ダイアログで「決定」ボタンをクリックし、「タスク一覧」画面が表示されます。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ i

影響範囲

←

影響範囲一覧

影響範囲はありません

履歴情報入力

コメント *

説明

適用

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by **intra-mart** top ↑

4. エラーなく「タスク一覧」画面が表示されれば列挙のインポートは成功です。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ i

タスク一覧 🔍 検索条件

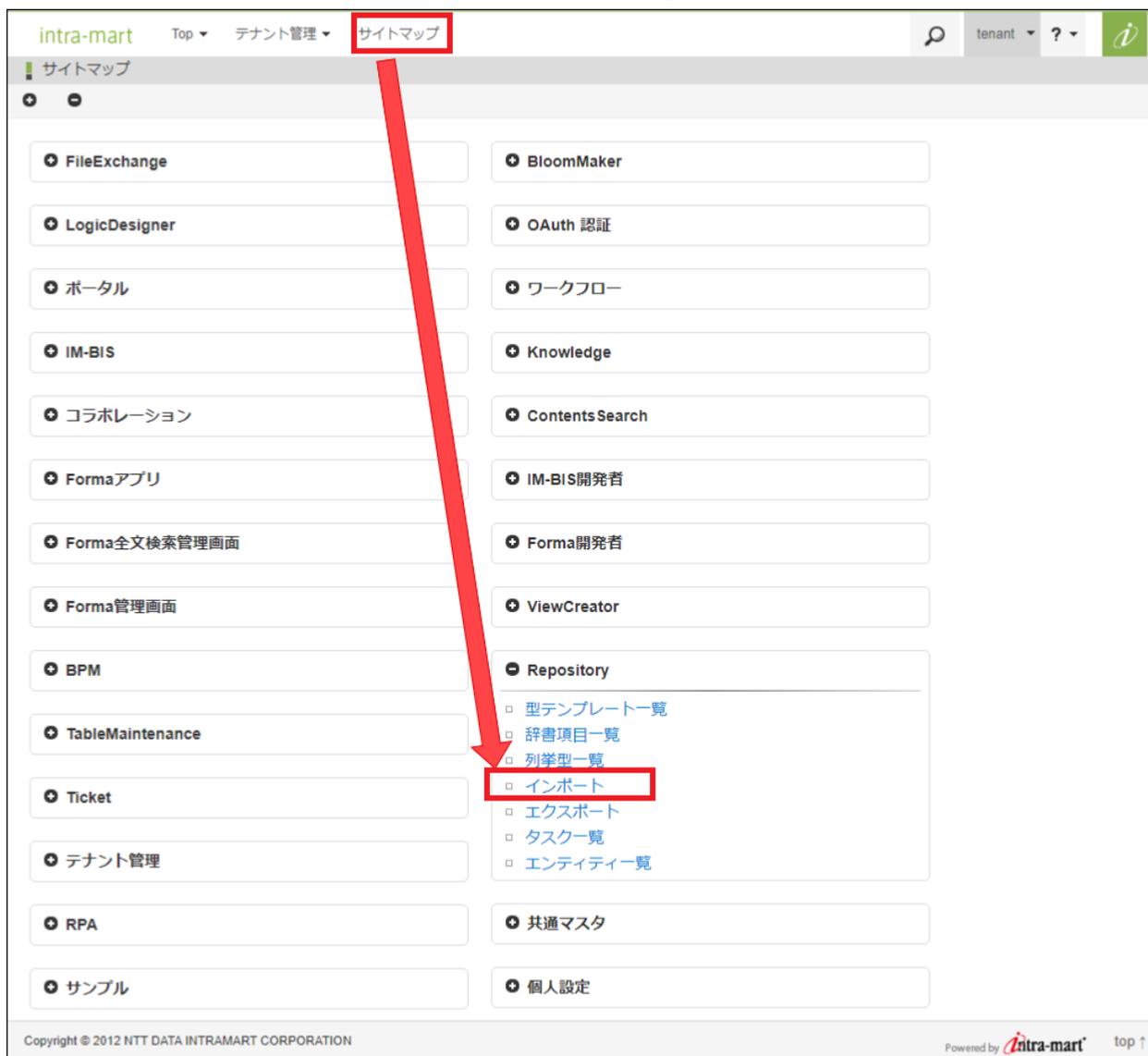
タスク処理状況

進捗度	タスク数				作成日時	作成者
	未処理 ▾	処理済 ▾	無視済 ▾	合計 ▾		
未処理状態のタスクはありません						

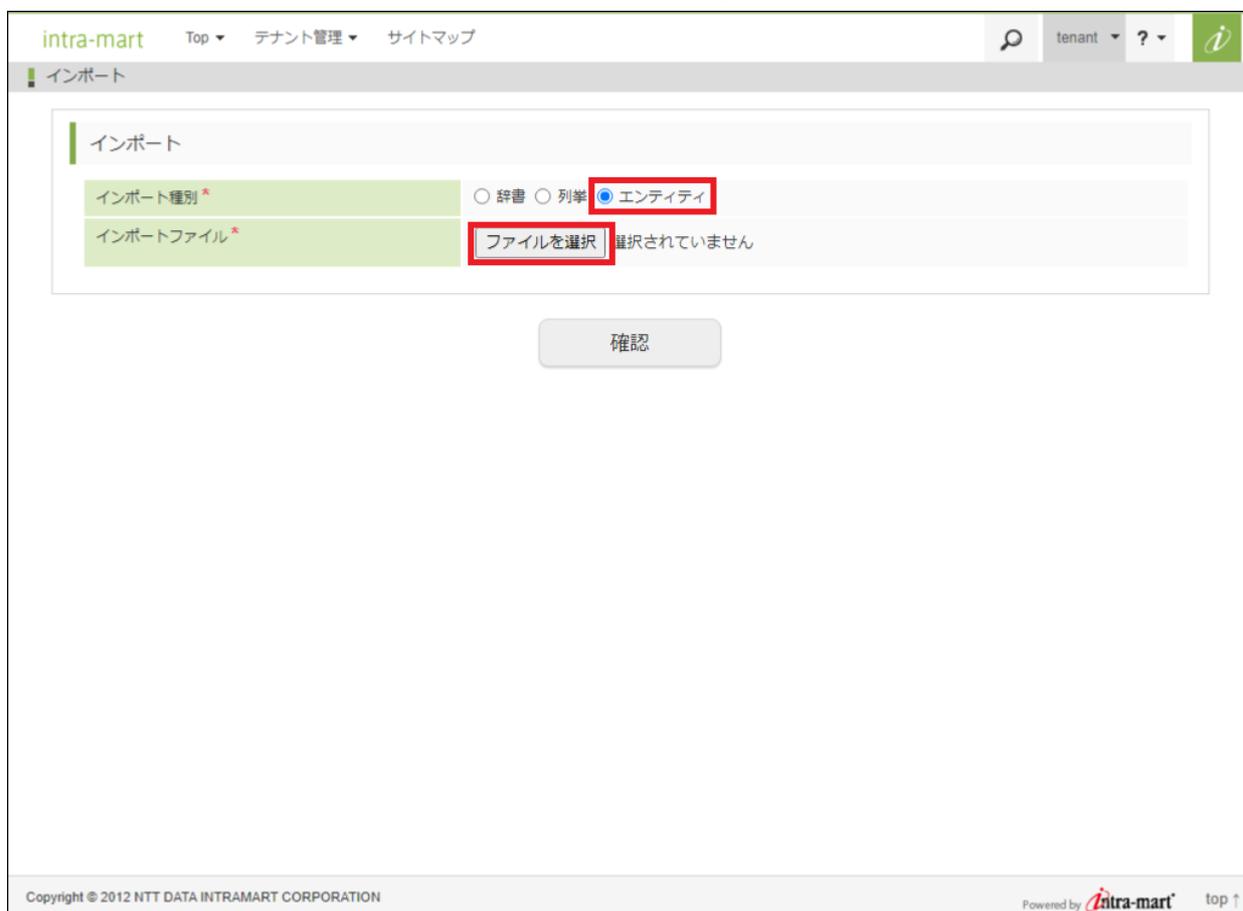
Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by top ↑

エンティティのインポートを行う

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



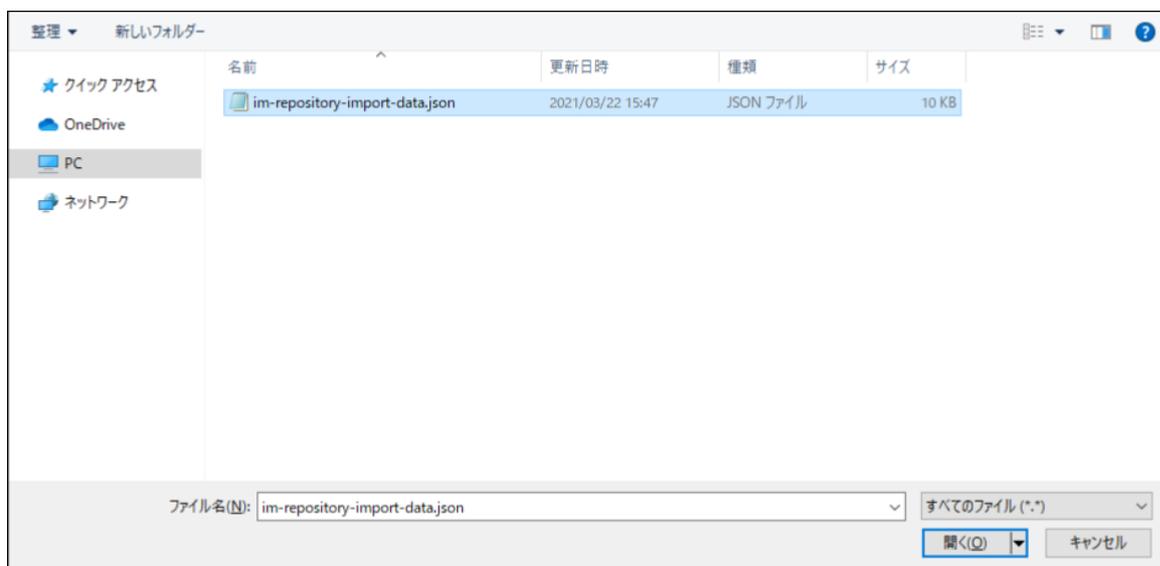
2. インポート種別で「エンティティ」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。



コラム

選択できるのは JSON 形式のファイルだけです。フォーマットの詳細は [ファイルフォーマット \(エンティティ\)](#) を参照してください。

1. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



2. 「確認」ボタンをクリックし、「影響範囲」画面を開きます。

3. コメントと、必要であれば説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。「適用確認」ダイアログで「決定」ボタンをクリックし、「タスク一覧」画面が表示されます。

4. エラーなく「タスク一覧」画面が表示されればエンティティのインポートは成功です。

intra-mart Top ▾ テナント管理 ▾ サイトマップ 🔍 tenant ▾ ? ▾ i

タスク一覧 🔍 検索条件

タスク処理状況

進捗度	タスク数				作成日時	作成者
	未処理 ▾	処理済 ▾	無視済 ▾	合計 ▾		
未処理状態のタスクはありません						

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by top ↑

エクスポートを行う

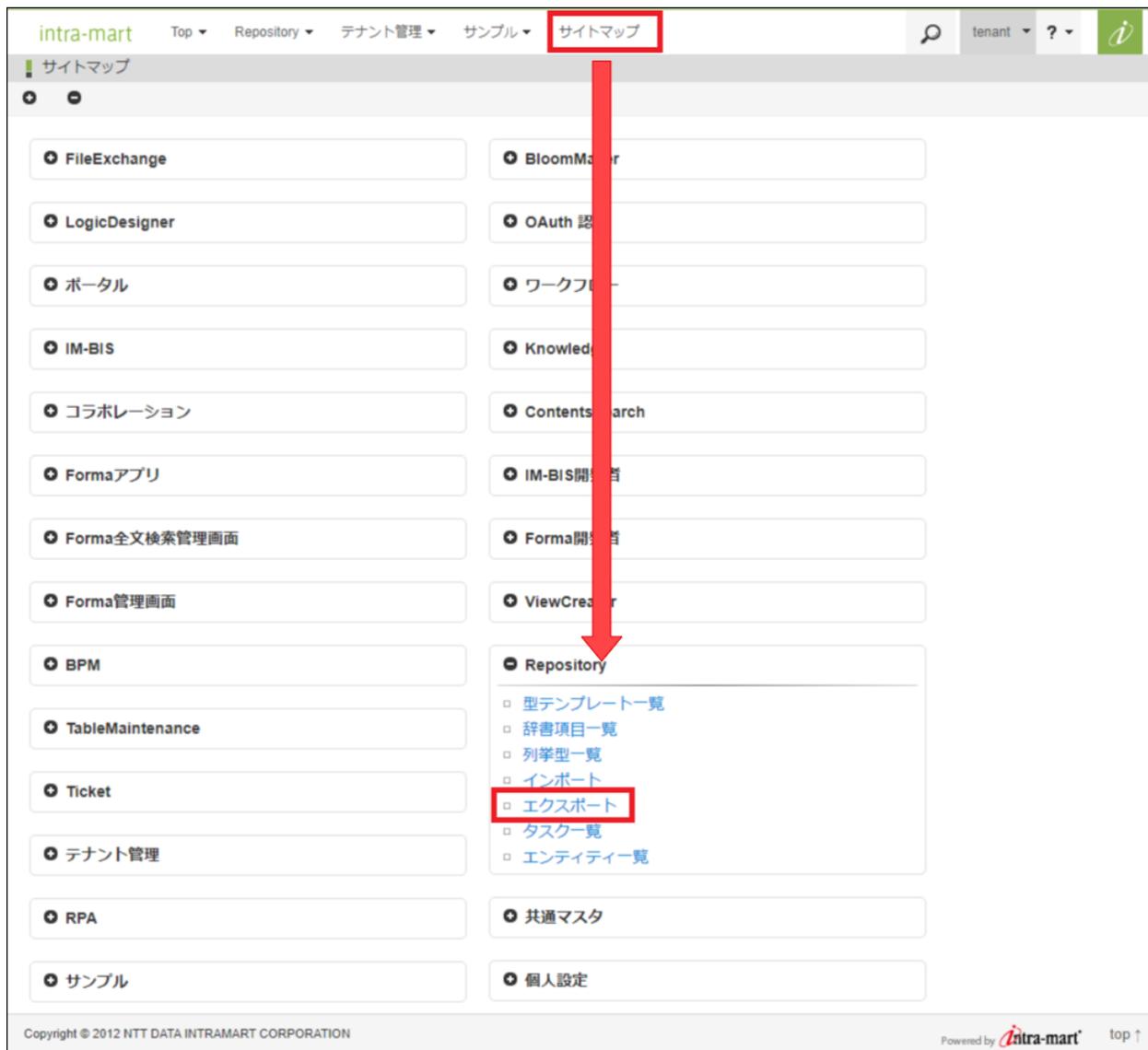
この画面では辞書と列挙のエクスポートを行うことができます。

- 辞書のエクスポートを行う
 - 現バージョンの全項目をエクスポートする
 - 履歴番号を指定してエクスポートする
- 列挙のエクスポートを行う
- エンティティのエクスポートを行う

辞書のエクスポートを行う

現バージョンの全項目をエクスポートする

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エクスポート」をクリックし、「エクスポート」画面を表示します。



2. エクスポート種別のラジオボタン「辞書」と、エクスポートタイプのラジオボタン「現バージョンの全項目」にチェックが入っていることを確認します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ? i

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart top ↑

3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ? i

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

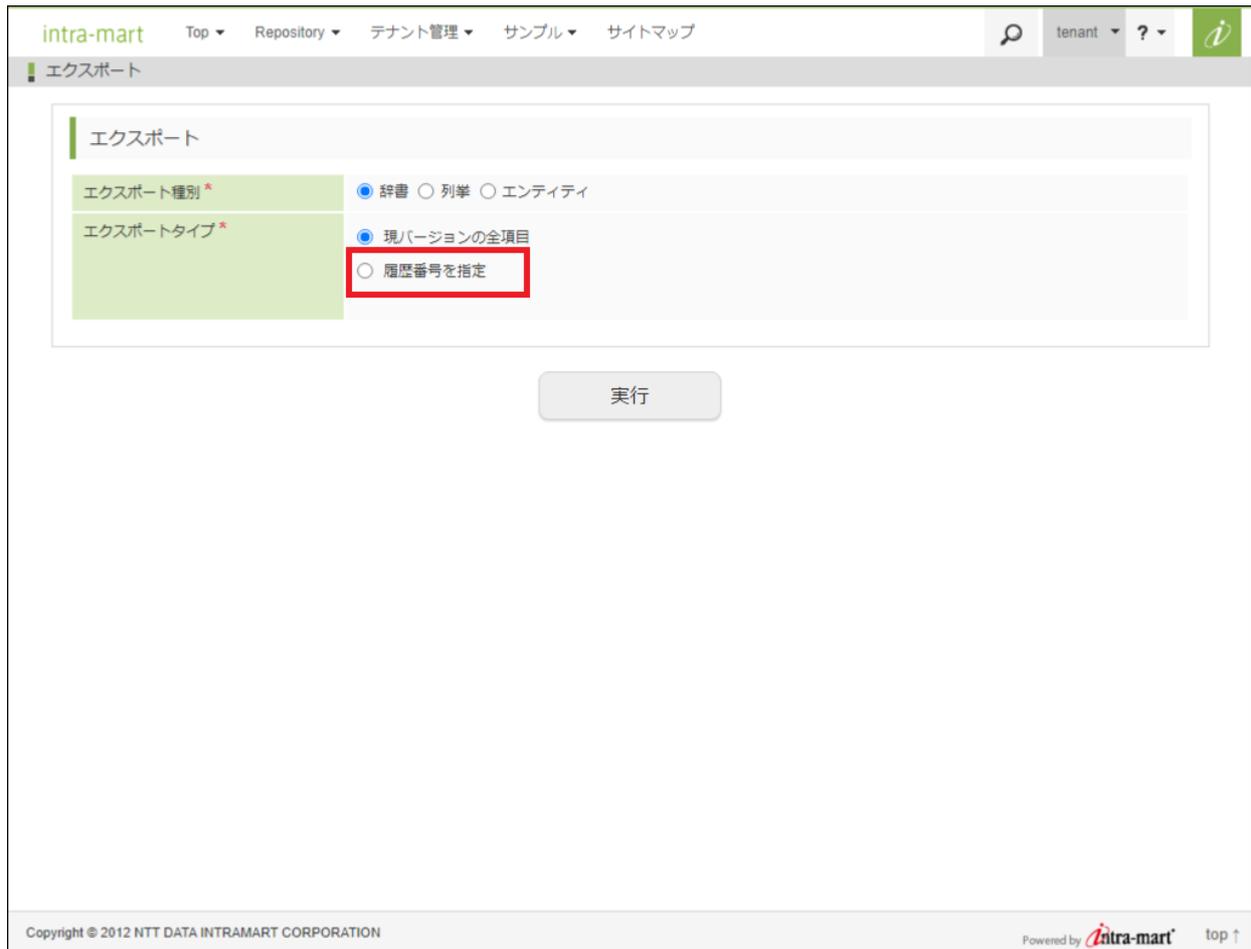
実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart top ↑

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。

履歴番号を指定してエクスポートする

1. エクスポート種別のラジオボタン「辞書」と、エクスポートタイプのラジオボタン「履歴番号を指定」をクリックし、履歴番号の入力欄を表示します。



The screenshot shows the 'intra-mart' interface with a navigation menu at the top. The main content area is titled 'エクスポート' (Export). It contains two sections: 'エクスポート種別*' (Export Category*) and 'エクスポートタイプ*' (Export Type*). Under 'エクスポート種別*', the radio button for '辞書' (Dictionary) is selected. Under 'エクスポートタイプ*', the radio button for '履歴番号を指定' (Specify History Number) is selected and highlighted with a red rectangular box. Below these sections is a button labeled '実行' (Execute). The footer contains copyright information and the 'intra-mart' logo.

2. エクスポートしたい履歴の区間の履歴番号を入力します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ? i

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別* 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ* 現バージョンの全項目

履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart top ↑

3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ? i

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別* 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ* 現バージョンの全項目

履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart top ↑

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。

1. エクスポート種別のラジオボタン「列挙」にチェックが入っていることを確認します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ?

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別* 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ* 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by intra-mart top ↑



コラム

列挙は辞書とは異なりバージョンの概念が存在しません。そのためエクスポートタイプを選択することでエクスポートする列挙のバージョンを指定することはできません。

2. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

intra-mart Top ▾ Repository ▾ テナント管理 ▾ サンプル ▾ サイトマップ

tenant ▾ ? ▾ i

エクスポート

エクスポート

エクスポート種別* 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ* 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by **intra-mart** top ↑

3. 「im-repository-export-enumeration-data.json」ファイルがダウンロードされます。

エンティティのエクスポートを行う

1. エクスポート種別のラジオボタン「エンティティ」にチェックが入っていることを確認します。

intra-mart Top Repository テナント管理 サンプル サイトマップ

tenant ? i

■ エクスポート

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by **intra-mart** top ↑



コラム

エンティティは辞書とは異なりバージョンの概念が存在しません。そのためエクスポートタイプを選択することでエクスポートするエンティティのバージョンを指定することはできません。

2. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

The screenshot shows the 'Export' (エクスポート) page in the intra-mart system. At the top, there are navigation links: 'intra-mart', 'Top', 'Repository', 'テナント管理', 'サンプル', and 'サイトマップ'. Below these are search and user-related icons. The main content area is titled 'エクスポート' and contains two dropdown menus. The first dropdown, 'エクスポート種別 *', has three options: '辞書' (Dictionary), '列挙' (Enumeration), and 'エンティティ' (Entity), with 'エンティティ' selected. The second dropdown, 'エクスポートタイプ *', has two options: '現バージョンの全項目' (All items of current version) and '履歴番号を指定' (Specify history number), with '現バージョンの全項目' selected. A red rectangular box highlights the '実行' (Execute) button located below the dropdowns. At the bottom of the page, there is a copyright notice: 'Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION' and a 'Powered by intra-mart' logo with a 'top ↑' link.

3. 「im-repository-export-entityset-data.json」ファイルがダウンロードされます。

ファイルフォーマット（列挙）

列挙のインポートファイルのファイルフォーマットを説明します。

- 列挙のインポートファイルは JSON 形式です。
- 列挙カテゴリ、列挙を配列の要素として記述します。
- 列挙カテゴリには以下のキーを指定します。
 - type
 - “CATEGORY” を指定します。
 - identify
 - 列挙カテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - name
 - 国際化項目
 - description
 - 国際化項目
 - children
 - 列挙カテゴリ、列挙を配列の要素として記述します。
- 列挙には以下のキーを指定します。
 - type
 - “ENUMERATION” を指定します。
 - identify
 - 列挙IDを指定します。

- parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
- sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- name
 - 国際化項目
- description
 - 国際化項目
- enumerationItems
 - 列挙項目を配列の要素として記述します。
- enabled
 - この列挙が有効か無効化を true または false で指定します。
- 列挙項目には以下のキーを指定します。
 - label
 - 国際化項目
 - value
 - 列挙項目の値を指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- 国際化項目には以下のキーを指定します。
 - default
 - デフォルトの値を指定します。
 - ロケール名
 - ロケール名に該当する値を指定します。

ファイルの例

```
[
{
  "type": "CATEGORY",
  "identify": "c1",
  "sortNumber": 2,
  "name": {
    "default": "bar"
  },
  "description": {
    "default": null
  },
  "children": [
    {
      "type": "ENUMERATION",
      "identify": "e1",
      "parentId": "c1",
      "sortNumber": 0,
      "name": {
        "default": "Sample Enumeration",
        "ja": "サンプル列挙名",
        "en": "Sample Enumeration Name",
        "zh_CN": "Sample Enumeration Name zh_CN"
      },
      "description": {
        "default": "This is a sample enumeration.",
        "ja": "これはサンプルの列挙です。",
        "en": "This is a sample enumeration.",
        "zh_CN": "This is a sample enumeration zh_CN."
      },
      "enumerationItems": [
        {
          "label": {
            "default": "Foo",
            "ja": "ふー",
            "en": "Foo",
            "zh_CN": "fff"
          },
          "value": "foo",
          "sortNumber": 0
        },
        {
          "label": {
            "default": "Bar"
          },
          "value": "bar",
          "sortNumber": 1
        },
        {
          "label": {
            "default": "Baz",
            "ja": "ばず",
            "en": "Baz",
            "zh_CN": "zzz"
          },
          "value": "bar",
          "sortNumber": 2
        }
      ],
      "enabled": true
    }
  ]
}
]
```

エンティティのインポートファイルのファイルフォーマットを説明します。

- エンティティのインポートファイルは JSON 形式です。
- エンティティカテゴリ、エンティティ、関連情報、表示セットを配列の要素として記述します。
- エンティティカテゴリには以下のキーを指定します。
 - parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
 - categoryId
 - エンティティカテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート番号を数値で指定します。
 - defaultName
 - 標準のカテゴリ名称を指定します。
 - defaultDescription
 - 備考（日本語）を指定します。
 - description
 - 標準の備考を指定します。
 - names
 - 国際化項目
 - descriptions
 - 国際化項目
 - reserved
 - 予約状態をtrue または falseで指定します。エンティティでは常に false です。
 - type
 - “entityset-entity-category” を指定します。
- エンティティには以下のキーを指定します。
 - id
 - エンティティIDを指定します。
 - parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - defaultName
 - エンティティ名（標準）を指定します。
 - defaultDescription
 - 備考（標準）を指定します。
 - name
 - エンティティ名（日本語）のを指定します。
 - description
 - 備考（日本語）を指定します。
 - names
 - 国際化項目
 - descriptions
 - 国際化項目
 - items
 - エンティティ項目を配列の要素として記述します。
 - enabled

- このエンティティが有効が無効化を true または false で指定します。
- type
 - “entityset-entity-entity” を指定します。
- エンティティ項目には以下のキーを指定します。
 - id
 - エンティティ項目IDを指定します。
 - type
 - エンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は “dictionary-item” を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は “dictionary-alias” を指定します。
 - primaryKey
 - このエンティティ項目がPK項目かどうかを true または false で指定します。
 - required
 - このエンティティ項目が必須項目かどうかを true または false で指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- 関連情報には以下のキーを指定します。
 - relationId
 - 関連IDを指定します。
 - sourceEntityId
 - 関連元エンティティIDを指定します。
 - targetEntityId
 - 関連先エンティティIDを指定します。
 - multiplicity
 - この関連情報の多重度を指定します。
 - 多重度が 1 : 1 の場合は “one-to-one” を指定します。
 - 多重度が 1 : n の場合は “one-to-many” を指定します。
 - 多重度が n : 1 の場合は “many-to-one” を指定します。
 - 多重度が n : n の場合は “many-to-many” を指定します。
 - comments
 - コメントを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - items
 - 関連項目を配列の要素として記述します。
- 関連項目には以下のキーを指定します。
 - relationId
 - 関連IDを指定します。
 - sourceId
 - 関連元エンティティ項目IDを指定します。
 - sourceType
 - 関連元エンティティ項目の種別を指定します。
 - 関連元エンティティ項目が辞書項目の場合は “dictionary-item” を指定します。
 - 関連元エンティティ項目がエイリアスの場合は “dictionary-alias” を指定します。
 - targetId
 - 関連先エンティティ項目IDを指定します。
 - targetType
 - 関連先エンティティ項目の種別を指定します。


```

"enabled": true,
"items": [
  {
    "id": "entity-item1",
    "type": "dictionary-item",
    "sortNumber": 0,
    "primaryKey": true,
    "required": true
  },
  {
    "id": "entity-item2",
    "type": "dictionary-alias",
    "sortNumber": 1,
    "primaryKey": false,
    "required": true
  }
],
"defaultName": "エンティティ",
"description": "備考",
"name": "エンティティ",
"type": "entityset-entity",
"defaultDescription": "備考"
}
],
"relations": [
  {
    "relationId": "relation1",
    "sourceEntityId": "entity",
    "targetEntityId": "entity",
    "multiplicity": "one-to-many",
    "comments": "関連情報のコメント",
    "sortNumber": 0,
    "items": [
      {
        "relationId": "relation1",
        "sourceId": "entity-item1",
        "sortNumber": 0,
        "sourceType": "dictionary-item",
        "targetId": "entity-item1",
        "targetType": "dictionary-alias"
      }
    ]
  }
],
"displaysets": [
  {
    "displaysetId": "displayset1",
    "name": "表示セット",
    "sortNumber": 0,
    "entities": ["entity"]
  }
]
}

```

